

長崎歴史文化博物館

年報

令和2年度（2020年度）



長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

長崎歴史文化博物館 年報

令和2年度（2020年度）

目次

ごあいさつ

1. 沿革	4
2. 基本理念	6
3. 事業方針	7
4. 展示企画事業	
(1) 企画展	9
(2) 常設展	19
5. 調査研究事業	
(1) 調査研究	37
(2) 調査研究活動	39
(3) 資料修理修復事業	40
(4) 資料の管理	44
(5) 資料公開事業	46
6. 長崎学・生涯学習支援事業	
(1) 事業概要	48
(2) 一般向け事業	48
(3) 学校向け事業	50
(4) こども向け事業	53
(5) レファレンス事業	55
(6) 博物館実習	56
(7) 研修の受け入れ	57
(8) 伝統工芸体験工房	58
7. 地域連携事業	
(1) 事業概要	59
(2) イベント実施	59
(3) ボランティア活動	62
(4) 開館15周年記念事業	64
8. 広報マーケティング	
(1) 広報ツール	65
(2) 営業活動	77
9. 利用状況	
(1) 来館者統計	78
(2) 主な出来事と来館者	79
(3) 貸館・貸室	80
10. 収支	81
11. 組織	
(1) 職員	83
(2) 友の会	85
12. 施設概要	
(1) 長崎歴史文化博物館	86
(2) 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム	88
13. 関連法規	89
14. 利用案内	129

ごあいさつ

令和2年度(2020年度)年報にあたって



令和2年度はパンデミックが続いていたために、博物館運営にとっては大変苦戦をしいられました。文化施設のみならず、観光業、飲食業をはじめとする日本の産業界は大打撃をうけ、博物館も臨時休館を強いられたり、博物館の華である特別展も延期・中止を余儀なくされました。自粛・自粛の連続で、「自粛疲れ」という用語も生まれるなど、社会変化は日常生活まで及びました。「不要不急の外出は控えるように」と、あちらこちらで自粛が叫ばれると、反対に、博物館・美術館などの「文化活動は不要なのか」という反発も出てきました。文化とは何か、博物館とは誰のために、何のために存在するのか、という本質を考える機会にもなりました。

そうしたコロナ災害の動きは、日本の価値観を変えた大きな社会変革、すなわち、明治維新、終戦に次ぐ、第3の出来事だ、とある評論家は言っていました、まさにその通りだと思います。そのような中であっても、当館は収蔵品展や特集展示室の更新を行ってまいりました。運営側の努力としては当たり前のことですが、多くの制限下では、なかなか思うようには進まない現実と直面しなければなりません。

ところで、昨年は長崎歴史文化博物館にとって開館15周年の節目に当たる年でした。11月には、九州国立博物館館長、長崎県美術館館長をお迎えして記念講演・シンポジウムを開催し、15年を振り返り、15年先を展望しました。こういう時だからこそ、地域が連携し、博物館のポテンシャルを高めていく必要があると感じた次第です。昨年度、実施してきた地域連携活動をはじめ、調査研究、公開講座、教育普及活動、特別展覧会、文化体験、広報マーケティングなど、どれをとっても、地域にとって、また博物館にとっても欠かせない事業です。コロナに負けないよう更に奮闘しなければなりません。

今は、我慢強く耐え忍び、心を動揺させることなく「堅忍不拔」の精神で乗りきらなければならないと職員一同肝に銘じております。こういう時だからこそ、「御意見五両、堪忍十両」。人さまからのアドバイスは5両の値打ちがあるけれども、つらいことをじっとこらえることは10両の値打ちがあると言います。困難にぶつかっても、逃げ腰にならず、真正面から立ち向かっていこうではありませんか。「負けるな」と皆様から頂いたご支援とエールを胸に刻みながら、コロナにめげず、博物館活動をさらに進めて参ります。昨年度のご厚情に感謝し、引き続き関係者の皆様からご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

長崎歴史文化博物館
館長 水嶋 英治

沿革

平成10年(1998)

11月18日 政策創造会議「諏訪の森部会」設置

平成11年(1999)

12月15日 「諏訪の森部会」最終提言

平成12年(2000)

11月30日 諏訪の森の再整備について(基本方針)公表

平成13年(2001)

1月15日 歴史文化博物館(仮称)基本構想専門家会議設置(3月報告書提出)

11月14日 県・市間で建設・管理運営等に関する覚書締結

11月16日 歴史文化博物館(仮称)基本構想(案)公表

12月27日 歴史文化博物館(仮称)基本構想策定

平成14年(2002)

2月22日 (株)乃村工藝社と展示設計業務委託契約締結

2月28日 黒川紀章建築都市設計事務所と建設工事設計業務委託締結

平成15年(2003)

7月19日 起工式

平成16年(2004)

10月15日 長崎歴史文化博物館条例公布

平成17年(2005)

4月1日 (株)乃村工藝社を指定管理者として指定

5月 博物館仮事務所開設

7月1日 大堀哲(日本ミュージアム・マネージメント学会会長)初代館長に就任

7月5日 長崎歴史文化博物館事業発表会

8月30~31日 建設工事、展示工事竣工

9月1日 博物館事務所開設式

11月3日 開館記念式典
開館記念特別展「長崎大万華鏡」開催(11月3日~1月9日)

12月12日 入場者数10万人突破

平成18年(2006)

8月14日 入場者数50万人達成

10月20日 開館1周年記念式典

10月21日 開館1周年記念特別展「ローマを夢みた美少年」開催(~12月13日)

平成19年(2007)

6月23日 入場者数100万人達成

平成20年(2008)

8月7日 入場者数150万人達成

10月31日 開館3周年記念式典

11月1日 列福式関連特別企画展「バチカンの名宝とキリシタン文化」開催(~1月12日)

平成21年(2009)

7月8日 指定管理者選定委員会

8月14日 入場者数200万人達成

10月5日 行啓 皇太子殿下

平成22年(2010)

5月2日 入場者数250万人達成

10月11日 入場者数300万人達成

11月3日 開館5周年

11月15日 中国福建博物院と友好館協定締結

11月18日 開館5周年記念式典

11月19日 開館5周年記念特別展「岩崎彌太郎」開催(~1月10日)

平成23年(2011)

7月8日 入場者数350万人達成

10月1日 「孫文・梅屋庄吉と長崎」第1回館長サミット in 長崎開催(会場:出島交流会館)

日中国交正常化40周年、長崎県・上海市友好交流関係樹立15周年記念特別展「孫文・梅屋庄吉と長崎」開催(~3月25日)

平成24年(2012)

4月1日 常設展示リニューアルオープン

9月12日 入館者数400万人達成

10月6日 日中国交正常化40周年 長崎県・福建省友好県省締結30周年記念「中国福建博物院展」開催(~11月30日)

平成25年(2013)

3月22日 中国湖北省3館(辛亥革命武昌起義記念館、辛亥革命博物館、中山艦博物館)との友好交流協定締結

3月30日 長崎外国語大学・長崎歴史文化博物館 社会連携協定締結

7月31日 御成 秋篠宮殿下・眞子内親王殿下

10月17日 入場者数450万人達成

平成26年(2014)

3月21日 東日本大震災復興祈念 福島の花「絆千年桜」植樹

3月25日 韓国釜山博物館との交流協定締結

- 4月26日 長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館/長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム開館
- 11月3日 長崎大学・長崎歴史文化博物館 包括連携協定締結
- 12月10日 入館者数500万人達成

平成27年(2015)

- 2月19日 「信徒発見」150周年記念事業・世界遺産推薦記念特別展「聖母が見守った奇跡」開幕(～4月15日)
- 9月18日 開館10周年記念式典
- 11月3日 開館10周年
- 12月2日 武漢博物館(辛亥革命武昌起義記念館・中山艦博物館・辛亥革命博物館)との交流事業研修の受け入れ
- 12月12日 長崎大学・長崎歴史文化博物館包括連携協定締結1周年記念「幕末長崎古写真館～ボードインコレクションから～」展開催(～1月24日)

平成28年(2016)

- 2月27日 入館者数550万人達成
- 3月12日 中国湖北省武漢3館による武漢紹介パネル設置記念式
- 7月22日 「新発見!天正遣欧少年使節伊東マンショの肖像」展開催(2階美術展示室)(～8月31日)
- 9月5日 武漢博物館(辛亥革命武昌起義記念館・中山艦博物館・辛亥革命博物館)との交流事業(職員の派遣)
- 10月21日 孫文生誕150周年記念写真展「孫文中国民主革命の偉大なる先駆者」開催(～10月28日)
- 11月3日 大堀館長瑞宝小綬章受章
- 12月6日 御成 秋篠宮同妃両殿下並びに悠仁親王殿下

平成29年(2017)

- 4月24日 入館者数600万人達成
- 8月4日 大堀哲館長 死去
- 9月19日 故・大堀哲館長を偲ぶ会開催
- 10月23日 武漢博物館(辛亥革命武昌起義記念館・中山艦博物館・辛亥革命博物館)との交流事業研修の受け入れ
- 11月16日 長崎県・福建省友好県省締結35周年記念 福建省泉州海外交通史博物館所蔵品展「海のシルクロードーザイトン(刺桐)の帆影ー」開催(2階美術展示室)(～1月14日) 記念講演会「連綿と続く長崎と中国の絆」開催
- 11月23日 オランダ大使館主催レセプション
- 12月28日 入館者数650万人達成

平成30年(2018)

- 4月1日 水嶋英治(日本ミュージアム・マネジメント学会会長)2代目館長に就任
- 5月22日 明治150年記念特別展「写真発祥地の原風景 長崎 ～写真で振り返る幕末・明治の長崎～」開催(～6月24日)
- 10月6日 梅屋庄吉生誕150年記念「映画界の風雲児 梅屋庄吉」開催(～11月25日)
- 12月3日 武漢博物館(辛亥革命武昌起義記念館・中山艦博物館・辛亥革命博物館)との交流事業(職員の派遣)

平成31年、令和元年(2019)

- 1月23日 朝鮮通信使に関する記録 ユネスコ「世界の記憶」登録1周年記念特集展示「世界の記憶ー朝鮮通信使ー」開催(～3月17日)
- 4月30日 入館者数700万人達成
- 9月17日 「収蔵品展 学芸員のイチ推し!」(～11月17日)、「くんち三八五年展」(～10月20日)開催
- 11月9日 ローマ法王来県、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」特別企画「日本の聖母マリア像」展ー東京国立博物館所蔵キリシタン関係遺品を中心にー開催(～12月7日)
- 12月2日 武漢博物館(辛亥革命武昌起義記念館・中山艦博物館・辛亥革命博物館)との交流事業研修の受け入れ

令和2年(2020)

- 3月 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種行事の中止、ボランティア活動の休止
- 4月10日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館(～5月24日) 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムも併せて臨時休館(～5月31日)
- 7月18日 収蔵品展「大変身!!れきぶんビフォーアフター」開催(～8月30日)
- 9月2日 「くんち三八六年展」開催(～10月11日)
- 10月1日 キャンパスメンバーズ認定式
- 10月14日 収蔵品展「あれもこれも黄檗!展」開催(～11月23日)
- 11月3日 開館15周年
- 11月14日 開館15周年記念講演・シンポジウム開催

2

基本理念

(1) 長崎歴史文化博物館の基本方針

1) 海外交流史の博物館

海外との貿易を通して繁栄し、多彩な文化を誇った、近世長崎に関する海外交流史を中心とする博物館活動を推進する。

2) 長崎学調査研究の拠点となる博物館

県内をはじめ国内はもとより、海外に散在する長崎学に関する資料や情報の収集・保存・研究・活用を図るため、拠点組織の設置を検討し、調査研究の深化と、地域・学会等での発信還元をめざす。また県や市と連携し講習や講師派遣等、地域との協同学習を推進する。そのほか、世界遺産をテーマにした研究・講座を実施し、調査研究とその成果の情報発信を行う。

3) 開かれた博物館

子供から高齢者まで、県民・市民の誰もが気軽に利用でき、長崎の歴史や文化に触れることのできる開かれた施設とする。また、多くの県民・市民やボランティアなどが参加できる開かれた運営を実践する。

4) 連携する博物館

長崎県や長崎市との連携のほか、県内はもとより国内および海外の博物館・資料館、学校や大学、研究機関、歴史団体、地域自治会、教育文化団体、博物館関連学会との連携を推進する。とりわけ中国の福建博物院、湖北省武漢市辛亥革命博物館、武漢市武昌起義記念館、武漢市中山艦博物館との交流の充実を継続する。

5) 体験と発見の博物館

生涯学習の場として、利用者の要望にあわせて知識・教養を深めることができる、常に新たな発見のある事業や参加体験を通して楽しく長崎の歴史発見ができる事業を推進する。

6) 地域づくりに貢献する博物館

地域の個性や特色を生かした、地域づくりに貢献できる博物館活動を推進する。また、県民・市民や観光客などが県内の史跡等の情報を一覧できて、長崎の歴史と文化を知る出発点となり、観光的魅力を併せ持つとともに、長崎の歴史に育まれた伝統工芸の紹介と振興にも寄与する博物館活動を行う。

(2) 行動指針

1) これまでの実績を基に、①高い専門能力を活かし長崎学の研究を進め、その成果を具体的に地域に還元することによる地域文化の振興、②多くの方々への鑑賞・学習・体験の機会の提供、外国人向けサービスや観光情報の発信を強化することによる交流人口の拡大に資する運営に努め、さらに、③日々変化する運営に関する課題や行政・地域のニーズを捉え、新たな客層の獲得に向けた対策を検討し、地域課題の解決に向けた運営に反映させる。また、開館15周年となる今年度、記念事業を行う。

2) 調査研究活動の充実強化を図るため、研究グループを中心とした研究体制の充実・発展を図る。このことを通して資料の収集整理、文化財保存学、そのマネジメント等について客員研究員の指導・助言を得るとともに、県・市学芸員、教員、外来研究員と当館研究員との共同研究を実施し成果を挙げる。

3) 魅力ある展覧会の開催、教育普及事業、大学や他の博物館との連携事業の推進はもちろんのこと、積極的な営業活動の推進、効率的な組織運営など、総合的視点からのマネジメントを行う。また友の会個人会員、賛助会員の特典の拡充を図り、会員増強を積極的に進める。

4) 博物館施設の有効活用やミュージアムショップ・レストラン銀嶺等の附帯施設への誘客の工夫を図り、安定的な利用者の確保に伴う収益力向上を図る。

3

事業方針

(1) 進化する博物館のための多彩なプログラムの計画と実施

1) 展示事業の創意工夫とその広報、普及の徹底

常設展示の展示替えや、タイムリーで地域のニーズをおさえつつ、魅力ある企画展示、長崎ゆかりの展覧会を実施するとともに、研究員による長崎学講座等の多彩な教育普及プログラムを充実し、広報を早期に実施することにより、リピーターの増加を図る。

2) 施設の有効活用と新規プログラムの開発

親子で楽しめるワークショップやコンサート等の多彩なイベント実施によるホールや立山亭等の施設について、館主催による行事の工夫も含めた積極的な有効活用を図る。また、学校や福祉施設等対象の移動博物館のさらなる充実した企画運営を行う。

3) 調査研究体制の強化と研究成果の創出・情報発信

長崎学の調査研究の充実を図るため、当館研究員、県市学芸員、共同研究員等との柔軟でかつ機能的な共同研究体制の充実を図り、長崎の歴史文化に関わる学術的研究成果の創出とその情報発信に努める。

4) 長崎大学との包括協定及び、長崎外国語大学、長崎純心大学との連携協定に基づく、教育研究事業の具体的な計画・実施を図る。

(2) 博物館の目的・使命に沿った取組みの推進

1) 学校教育利用の推進

学校教育の博物館活用に資するため、ティーチャーズルームの活性化、パートナーズプログラム、研修会などを通して、教師の博物館理解を深め、児童生徒の博物館利用リテラシーの向上を図ることに努める。また、収蔵資料の複製品等の教育利用貸出しなどを通じて、学校教育の充実に寄与する。とくに県内児童生徒に対する長崎の歴史・文化への理解を深めるため、学校等への出前授業の計画や遠隔授業について充実を図る。さらに出版社等との連携により、教材や観光ツールとして使用可能な教育的なガイドブックの刊行に取り組む。

2) 地域活性化への貢献

県・市の文化政策との連携を図りながら、地域の観光、経済及び文化の活性化に寄与すべく、集客の増加に努める。また、さらに「祭」行事などに関する地域住民とのリレーションシップ、信頼関係を構築し、地域の人々の生涯学習支援を強化するとともに、地域文化力の向上に寄与する。

(3) 博物館職員としての実力の養成

博物館の管理運営（マネジメント）については効果的・効率的に、また教育研究については実践的で実績の伴う活動を、さらにその情報発信を広報・営業活動を通じて行うべく、職員の研修を強化し、知識技術の習得並びに職員の規律ある行動の遵守に努める。ボランティアに対しては、ボランティア自身の生涯学習につながる環境づくりに努めるとともに、何よりも利用者に対する“サービス”が中心であることを理解した活動の定着化に努める。

(4) 県内の中核博物館としての取組み

会長、事務局館を務める長崎県博物館協会のほか、九州博物館協議会、日本ミュージアムマネジメント学会、日本博物館協会等との連携、ネットワークを活用し情報交換や職員研修を推進するとともに、県内の中核博物館として、県内博物館のレベルアップに努める。さらに、県内の世界遺産と関係の深い博物館等との交流の可能性について検討する。

(5) 指定管理者制度における博物館運営のモデルづくり

全国注視の中でスタートした指定管理者制度下の博物館として本年度も、その運営の在り方、事業内容、組織としての効率的な取り組み方等を含め、課題、問題を明確にし、その解決方策を探りつつ、全ての面について実践的、かつ研究的にさらなるモデル構築に努める。さらにこれまでの運営の在り方を絶えずチェックしつつ、意欲的に取り組む。

(6) コンプライアンスの徹底

職員へのコンプライアンスおよびリスクマネジメント研修を実施するとともに、事業計画に基づいたモニタリングを四半期ごとに実施し、また年1回の内部監査を実施することで内部牽制システムを導入し、期限厳守と適切な管理体制を構築する。

(7) 集客目標

今年度はこれまで含まれていた定期観光バスのルートから外れることとなり、常設展示への誘客が厳しくなる状況の中、県内外の修学旅行や学校団体、その他団体旅行、クルーズ客等の取り込みで集客を図り、38万人を目標と設定する。来館数の目標内訳は、常設展示室への入館者9万人、展覧会・企画展への入館者10万人、生涯学習支援事業への参加者は3万人、その他利用者は16万人とし、有料率の向上を図っていくことで、収益性を高める。

(8) 経営評価

利用者分析やアンケート、目安箱などを参考に、事業ごとの評価を行ない、県市の政策評価の指標となる事業報告書の作成を実施する。また経営全般の改善に資するため、将来構想委員会を設置し、従来の自己点検・評価、県の政策評価を一步進めた外部評価の可能性について検討する。

4 展示企画事業

1 企画展

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度に予定されていた以下の企画展は全て中止となった。

(1) 光ミュージアム所蔵 「美を競う 肉筆浮世絵の世界」

会期：4月25日(土)～6月14日(日)(延期)

主催：長崎歴史文化博物館

共催：KTNテレビ長崎

特別協力：光ミュージアム

企画協力：アートシステム

内容：江戸時代に人気を博した「肉筆浮世絵」。絵師が直接筆で描いているのが特徴で、歌舞伎絵、風景画、武者絵、美人画などのジャンルに分けられる。本展覧会ではこれまで大々的に公開されたことのない光ミュージアム（岐阜県飛騨高山）が所蔵する肉筆浮世絵コレクション約420点の中から、美人画を中心に厳選した111点の作品を、「肉筆浮世絵の展開」、「百花繚乱・多彩な作品群」、「上方と地方で描かれた肉筆浮世絵の展開」の3つのテーマに分けて紹介する。

(2) 特別展「博覧会の世紀」

会期：7月18日(土)～8月30日(日)(延期)

主催：長崎歴史文化博物館

協力：株式会社乃村工藝社

内容：長崎は江戸時代から異国文化を受け入れる窓口であり、長崎にもたらされた様々な舶来動物や異文化は「見世物」の興行としても人気を博した。それらの見世物文化の要素を引きずりながら、明治になると、殖産興業や近代国家建設を目的として博覧会がさかんに開かれるようになった。本展覧会では、江戸時代の見世物から明治、大正、昭和の約1世紀にわたる国内外の博覧会の歴史について、乃村工藝社所蔵の博覧会関係資料を中心に紹介する。また長崎と博覧会の関わりについても時代ごとに紹介していく。

(3) 興福寺開創400年記念「長崎の黄檗－隠元禅師と唐寺をめぐる物語－」

会期：9月26日(土)～11月23日(月祝)(延期)

主催：長崎県、長崎市、長崎歴史文化博物館

内容：二千年以上に及ぶ長い日中交流の歴史の中で、日本は中国から様々な面で多くの影響を受けてきた。その中でも承応3年(1654)の隠元禅師の来日はとりわけ大きな意味を持ち、日本に新たな禅風である黄檗宗を伝えただけでなく、明末清初の中国文化をもたらした。本展覧会では江戸時代の文化に多大な影響を与えた黄檗文化の源流を紐解くとともに、近年の調査によって明らかになった唐寺の寺宝を中心に長崎の黄檗文化について紹介する。

(4) 「大恐竜展」

会期：12月29日(土)～令和3年1月末日(中止)

主催：長崎歴史文化博物館、KTNテレビ長崎

企画：福井県立恐竜博物館

内容：恐竜たちの1億6000万年にわたる物語が長崎にやってくる。全長10mの恐竜骨格や3mのティラノサウルスの頭骨など貴重な標本や化石など「恐竜の聖地」福井から長崎にタイムスリップする展覧会である。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館や企画展中止を受けて予定を変更し、以下の展覧会を代替として新たに企画・開催した。

(1) 収蔵品展 大変身!! れきぶん ビフォーアフター

1. 展示概要

開館以来、毎年行っている資料修復事業について紹介した。実際に修復を行った資料と、修復前の画像などを並べ、修復工程をまとめたパネルで解説し、修復技術とその重要性について理解を深めようという試みであった。

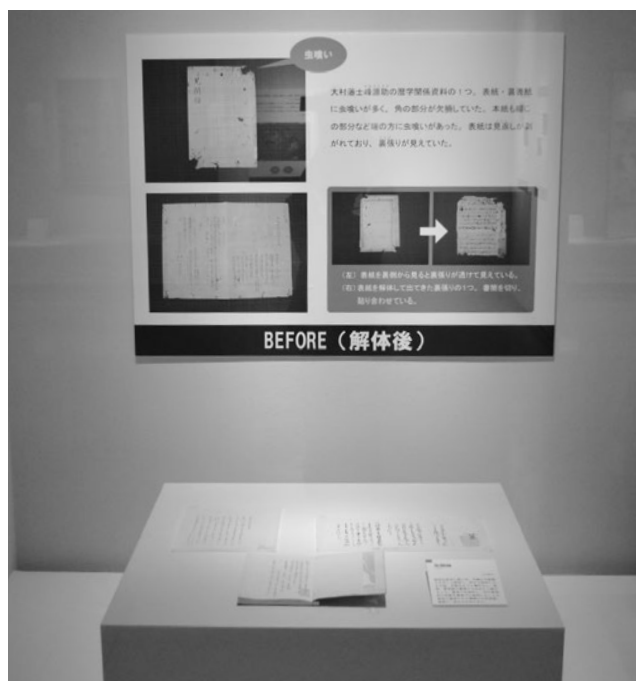
開催期間：令和2年7月18日(土)～8月30日(日)

休館日：7月20日(月)、8月17日(月) 42日間

観覧料金：常設展示室入館料

主催：長崎歴史文化博物館

総入館者数：1,440人(1日平均34人)



2. 展示リスト

No	資料名	作者等	制作年代	資料番号	修復年度
1	開祖林公琰一官絵像	画家不詳	江戸時代前期	市博 画像(長崎)37	令和元年度(2019)
2	桃園	大友月湖	江戸時代後期	県美博 A1イ0201	平成25年度(2013)
3	群鶴図屏風	大友月湖	江戸時代後期	県美博 A1イ0206	平成28・29年度(2017・18)
4	創設当初ノ唐人屋敷図		江戸時代	県書 テ3 52 1	平成16年度(2004)
5	VIEWS OF JAPAN	内田九一	明治時代	市博 A6	平成23年度(2011)
6	アルバム風景写真		明治時代	市博 A7	平成23年度(2011)
7	蛮語箋 改正増補/安政4年/1	箕作阮甫/著	安政4年(1857)	県書 ミ3 2 3 1	平成24年(2012)
8	御書上 [御用書籍改方之儀一件]	(向井元仲他宛)	江戸時代	市博 聖堂370-3	平成21年(2009)
9	見聞録		江戸時代	市博 峰440-18	平成26年(2014)
10	戴曼公痘疹秘訣 全		江戸時代	県書 ミ15 50	平成19年(2007)

(2) くんち三八六年展

1. 展示概要

令和2年で386年を迎えた長崎に秋の訪れを告げる諏訪神社の大祭・長崎くんち。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため奉納踊と御神幸が中止となったことを受けて、くんちの様子を描く屏風や絵巻、衣裳、写真などの関連資料だけでなく、過去に延期となったくんちの事例も古文書や新聞記事から紹介した。

※本展は、2階常設展特集展示室での開催予定から会場、期間を変更して実施した。

開催期間：令和2年9月2日(水)～10月11日(日)

休館日：9月14日(月) 38日間

観覧料金：常設展示室入館料

主催：長崎歴史文化博物館

総入館者数：4,200人(1日平均110人)



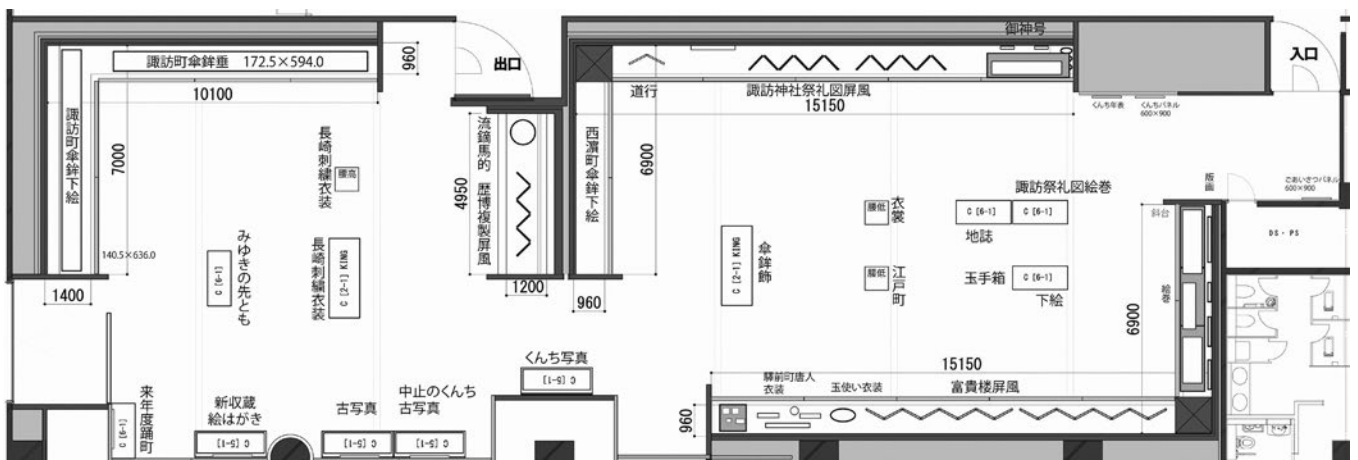
2. 展示リスト

No	資料名	作者等	制作年代	資料番号
1	諏訪神社御神号	吉田兼敬	享保年間(1716~36)頃	市博 神道7
2	諏訪三社二門御額本書			市博 神道18
3	諏訪祭礼図絵巻		江戸時代	市博 くんち12
4	長崎諏訪神社祭礼図屏風		江戸時代後期	市博 絵(長崎)525 1,2
5	長崎諏訪神社大祭式行列の図	長谷川勲之助	明治12年(1879年)	県美博 A3口0108
6	諏訪神事御供町道行之図		享保年間(1716~36)頃	県美博 A1イ0156
7	西浜町傘鉾下絵「姑蘇十八景図」	荒木千洲・津田南竹	江戸時代	市博 絵(長崎)263-1~17
8	書(西浜町傘鉾題字)	徐雨亭	19世紀	市博 書(中国)62
9	書(西浜町題字)	王鉞	19世紀	市博 書(中国)63
10	書(西浜町傘鉾題字)	ノルデン・シュケウルト	明治12年(1879)	市博 書(外国)18
11	絵葉書集・長崎諏訪神事絵葉書 西浜町傘鉾		昭和11年(1936)印	県書 18 264 4
12	銅座町総代ヨリ傘鉾寄贈礼状		大正14年(1925)	市博 くんち1
13	絵葉書・長崎諏訪神事 銅座町奉納 傘鉾		大正14年(1925年)印	市博 絵葉書(長崎)78
14	諏訪祭礼図		江戸時代中期	市博 絵(長崎)135
15	絵葉書・長崎諏訪神事の光景		戦前	市博 絵葉書(長崎)77
16	絵葉書・【長崎諏訪神社大祭記念 明治四十三年十月】長崎諏訪神社大祭御下りの光景		明治43年(1910)印	県美博 Fイ0216-21
17	絵葉書・【長崎諏訪神社大祭記念 明治四十二年十月】長崎諏訪神社大祭御上りの光景		明治42年(1909)印	県美博 Fイ0216-22
18	長崎くんち絵葉書	鎮西大社諏訪神社社務所編	戦前	県書 18 1408
19	長崎古今集覧名勝圖繪稿本	石崎融思	天保12年(1841)序	市博 絵(長崎)142-1
20	長崎名勝圖繪稿本 貳			市博 絵(長崎)259-2
21	御神事町順		嘉永5年(1852)	市博 171-49
22	長崎聞見録 卷之1 / (寛政12年)	広川獬	寛政12年(1800)	県書 13 332-2 1
23	長崎土産	磯野信春	弘化4年(1847)	県書 テ13 51
24	祭礼踊図			市博 くんち4-1
25	祭礼踊図			市博 くんち4-2
26	波図黒漆塗箱			市博 くんち49
27	東濱町くんち絵巻	阪東宗治良	明治15年(1882)頃	県美博 Fイ0244
28	麴屋町奉納踊御茶献上大名行列図			市博 くんち49
29	くんち奉納踊下絵集	岡月洲	万延2年(1861)	市博 絵(長崎)304
30	唐人蛇踊		江戸時代後期	県美博 A3ハ0022
31	蛇踊囃方	文錦堂版	江戸時代後期	県美博 A3ハ0021
32	阿蘭陀人順見之図			県美博 A3ハ0055
33	長崎祭礼紺屋町引物図		明治30年(1897)	市博 版(長崎)32
34	諏訪祭礼図屏風(富貴楼旧蔵)		江戸時代	市博 絵(長崎)526 1,2
35	玉使衣裳			市博 くんち21-1
36	玉使衣裳			市博 くんち21-2
37	駅前町唐人船船頭衣装		昭和28年(1953)	市博 くんち56
38	駅前町唐人船唐楽衣装		昭和28年(1953)	市博 くんち57
39	駅前町唐人船世話役衣装		昭和28年(1953)	市博 くんち58
40	駅前町唐人船 写真		昭和28年(1953)	市博 G65 3-1~3
41	青ビロード・金モール付軍服(上下)			市博 くんち28
42	江戸町くんち奉納踊用軍服			市博 くんち26-1
43	江戸町くんち奉納踊用軍服・ズボン			市博 くんち26-2
44	榎津町傘鉾飾			市博 くんち17
45	磨屋町傘鉾飾			市博 くんち15-2
46	勝山町 薩摩踊写真	実村写真館	明治44年(1911)	市博 D190
47	丸山町踊子写真	宮本写真館	大正8年(1919)	県書 3 67-2
48	本古川町 集合写真	みやこ写真館 (長崎・本古川町)	大正7年(1918)	県書 3 38-1
49	コッコデシヨ奉納写真		戦前	市博 D154
50	寛宝日記		寛永~宝永年間 (1624~1710)	県書 13 34
50	御神事諸書付		弘化4年(1847)~	県書 ト11 135

No	資料名	作者等	制作年代	資料番号
51	萬記帳		安政2年(1855)	県書 テ14 134-2
52	要録		文久2年(1862)	県書 17 44-1
53	日記		慶応元・2年 (1865・66)	県書 ヘ14 223 5,6
54	東洋日の出新聞		明治35年(1902)	県書 19 19 3
55	諏訪神社祭礼図屏風(複製) 原本国立歴史民俗博物館蔵			複製
56	鎮西大社諏訪神社流鏑馬奉納的		平成28年(2016)	市博 くんち60
57	諏訪町傘鉾写真	清河写真館	明治26年(1893)か	市博 H29
58	諏訪町傘鉾写真		昭和40年(1965)	県書 18 313-1 2
59	みゆきの先とも	本多鉄太郎画	明治14年(1881)	市博 くんち3
60	長崎市踊惣町諏訪神事笠録 明治14年～同20年	米倉利三郎著	明治14年(1881)～	県書 チ11 34
61	中山文孝傘鉾		昭和40年(1965)頃	長崎市蔵
62	諏訪町傘鉾垂			諏訪町蔵
63	諏訪町傘鉾下絵			諏訪町蔵
64	万屋町鯨の潮吹き船頭の衣装			市博 くんち47-1
65	金糸龍刺繍くんち衣裳			市博 くんち32-1,2
66	くんち衣装 前垂・後垂			市博 くんち22
67	刺繍入獅子舞唐子衣裳			市博 くんち23
68	絵葉書・長崎諏訪神事 第五番 平戸町奉納踊(獅子舞)		大正11年(1922)印	県書 18K 1647
69	絵葉書・長崎諏訪神事 第十一番 諏訪町奉納踊(蛇踊)		大正11年(1922)印	県書 18K 1648
70	絵葉書・長崎諏訪神事 第三番 本博多町奉納踊(結縁富士吾妻絵)		大正11年(1922)印	県書 18K 1649
71	絵葉書・長崎諏訪神事 第六番 八幡町奉納踊(山伏行列と剣舞)		大正11年(1922)印	県書 18K 1650
72	絵葉書・長崎諏訪神事 第二番 船津町奉納曳物(川船)		大正11年(1922)印	県書 18K 1651
73	絵葉書・長崎諏訪神事 第七番 麴屋町奉納踊(濱砂譽仙石)		大正11年(1922)印	県書 18K 1652
74	絵葉書・長崎諏訪神事 [西濱町奉納踊]		大正11年(1922)印	県書 18K 1653
75	絵葉書・長崎諏訪神社大祭奉納踊 諏訪町・蛇踊		昭和4年(1926)印	県書 18K 1697
76	絵葉書・長崎諏訪神社大祭奉納踊・今魚町・川船		昭和2年(1927)印	県書 18K 1698 1
77	絵葉書・長崎諏訪神社大祭奉納踊・上筑後町・越後獅子		昭和2年(1927)印	県書 18K 1698 2
78	絵葉書・長崎諏訪神社大祭奉納踊・本紺屋町・春の駒		昭和2年(1927)印	県書 18K 1698 3
79	絵葉書・長崎諏訪神社大祭奉納踊・丸山町・四季の詠		昭和2年(1927)印	県書 18K 1698 4
80	絵葉書・長崎諏訪神社大祭奉納踊・今博多町・松竹梅		昭和2年(1927)印	県書 18K 1698 5
81	絵葉書・長崎諏訪神社大祭奉納踊・本大工町・段尻		昭和2年(1927)印	県書 18K 1698 6
82	絵葉書・長崎諏訪神社大祭奉納踊・古町・大原女		昭和2年(1927)印	県書 18K 1698 7
83	絵葉書・長崎諏訪神社大祭奉納踊・材木町・春秋		昭和2年(1927)印	県書 18K 1698 8
84	絵葉書・長崎諏訪神社大祭奉納踊・本興善町・君が代舞曲		昭和2年(1927)印	県書 18K 1698 9
85	絵葉書・長崎諏訪神社大祭奉納踊・本籠町・蛇踊		昭和2年(1927)印	県書 18K 1698 10
86	絵葉書・長崎諏訪神社大祭奉納踊・江戸町・兵式教練		昭和2年(1927)印	県書 18K 1698 11
87	玉江町 傘鉾/本踊		大正5年(1916)	個人蔵
88	引地町 傘鉾/本踊		大正10年(1921)	個人蔵
89	台場町 薩摩棒踊		大正15年(1926)印	個人蔵
90	出島町 傘鉾/おらんだ船		昭和28年(1953)	個人蔵
91	興善町 奉納踊		明治40年印	県美博 F口0042-68
92	寄合町 傘鉾		大正15年(1926)印	市博 絵葉書(長崎)80
93	台場町 傘鉾		大正15年(1926)印	市博 絵葉書(長崎)110
94	絵馬・丸山町傘鉾図	小波魚青		市博 絵馬118
95	絵葉書・【長崎諏訪神社大祭紀念 明治四十元年】丸山町踊		明治41年(1908)印	県美博 Fイ0216-9

No	資料名	作者等	制作年代	資料番号
96	有田焼 三ツ組鉢	有田焼	大正11年(1922)	市博 陶(日本)4-1~3
97	御神事踊笠鉾番組	田川老人	明治26年(1893)	市博 くんち2
98	桶屋町 傘鉾/本踊		明治39年(1906)頃/大正10年(1921)印/昭和3年(1928)印	個人蔵
99	船大工町 傘鉾/川舟		大正10年(1921)印	個人蔵
100	絵葉書・長崎諏訪神事 本石灰町奉納 傘鉾		明治42年(1909)印	市博 絵葉書(長崎)94
101	絵葉書・長崎諏訪大祭(酒屋町)傘鉾		昭和10年(1935)印	市博 絵葉書(長崎)93
102	絵葉書・長崎諏訪神事 袋町奉納踊		戦前	市博 絵葉書(長崎)70
103	絵葉書・長崎諏訪神事 本紺屋町奉納 傘鉾		昭和2年(1927)印	市博 絵葉書(長崎)121
104	絵葉書・長崎諏訪神事 出来大工町奉納 傘鉾		昭和10年(1935)印	市博 絵葉書(長崎)109
105	絵葉書・長崎諏訪神事 出来大工町奉納踊		大正10年(1921)	個人蔵
106	絵葉書・長崎諏訪神事より 大井手町獅子舞		明治39年(1906)印	県書 18 264 3

3. 展示図面



(3) 収蔵品展 あれもこれも黄檗!展

1. 展示概要

収蔵品の中から、黄檗関係の資料を取り上げた。黄檗が伝来して以降、唐寺を中心に独自に発展していった長崎独特の文化について3つのコーナーに分けて展示を行った。

開催期間：令和2年10月14日(水)～11月23日(月祝)

休館日：10月19日(月)、11月16日(月) 39日間

観覧料金：常設展示室入館料

主催：長崎歴史文化博物館

総入館者数：7,300人(1日平均187人)

2. 展示構成

- ・これ、私がかきました
- ・華麗・怪奇・唐絵の世界
- ・大鵬正鯤と継承者たち

3. 関連行事

(1) 講座

【れきぶん長崎学講座エキスパート】

「たどるとわかる黄檗美術—黄檗来鳳とは誰か?—」

日時：10月24日(土) 10:30～12:00

場所：1階ホール

講師：長岡枝里(当館研究員)

参加者：18名

【アクロス文化学び塾】

「長崎の黄檗—「黄檗ショック」はここから始まった—」

日時：10月31日(土) 14:00～15:30

場所：アクロス福岡4階 国際会議場

講師：長岡枝里(当館研究員)

参加者：68名

【れきぶん長崎学講座スタンダード】

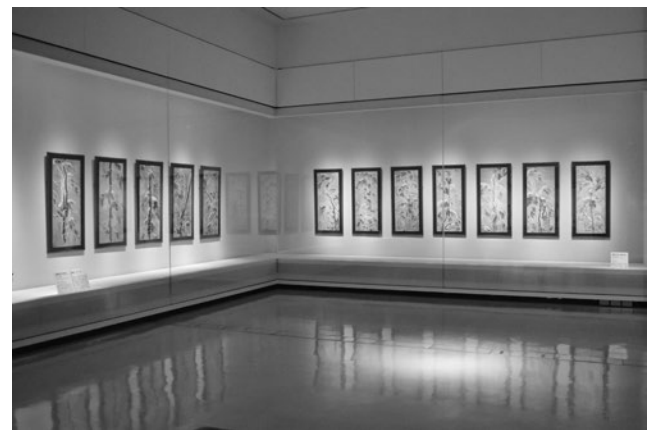
「地域文化財と博物館—唐寺調査の事例から—」

日時：11月22日(日) 14:00～15:30

場所：1階ホール

講師：長岡枝里(当館研究員)

参加者：25名



4. 展示リスト

No	資料名	作者等	制作年代	資料番号/備考
これ、私がかきました				
1	隠元騎獅像	喜多道矩画・隠元隆琦自題	江戸時代前期	市博 画像(黄檗)11
2	隠元隆琦像	喜多元規画・蒲庵浄英賛	江戸時代中期	市博 画像(黄檗)9
3	隠元書幅「慧日耀禅林」	隠元隆琦筆	江戸時代前期	県美博 C10051
4	木庵性瑠像	喜多道矩画・木庵性瑠自題	明暦3年(1657)頃	市博 画像(黄檗)7 令和元年度(2019)修復
5	松竹梅図(歳寒三友図)	木庵性瑠筆	江戸時代前期	市博 絵(黄檗)9
6	千呆性佞像	画家不詳・千呆性佞賛	江戸時代中期	画像(黄檗)12
7	大衡海権像	永井元真画・大衡海権自題	宝永3年(1706)	県美博 A110088
8	林道栄像	画家不詳・道本寂伝賛	江戸時代中期	画像(長崎)39
9	道本書幅「床上書連屋」	道本寂伝筆	江戸時代中期	県美博 C10094
10	長崎名勝図絵 稿本 五	饒田喩義編・打橋竹雲画	江戸時代後期	市博 210-59-5
11	聖寿山図詩卷	永井元真画・大衡海権題詩・林道栄書	宝永5年(1708)	市博 絵(黄檗)16
12	独立性易像	喜多元規画・独立性易自題	寛文7年(1667)賛	画像(黄檗)13
13	戴曼公自用印影	中井敬所編	明治23年(1890)	県書 へ18 166
14	富士山聯句有引	独立性易筆・高玄岱識	万治2年(1659)	書(黄檗)41
15	花卉図詩卷	狩野益信画・独立性易書	万治元年(1658)画 寛文9年(1669)賛	絵(黄檗)14
華麗・怪奇・唐絵の世界				
16	普賢菩薩・文殊菩薩図	逸然性融筆・隠元隆琦賛	江戸時代前期	絵(長崎)104-1,2
17	寿老人図	渡辺秀石筆	江戸時代前期	絵(長崎)194
18	布袋渡河図	蘭溪若芝筆	貞享3年(1686)	絵(長崎)69
19	布袋図	上野若元筆	江戸時代中期	絵(長崎)56
20	水呑虎図	山本若麟筆	江戸時代中期	A110138
21	婦人絵像	山本若麟筆	江戸時代中期	画像(長崎)24
22	黄檗僧像	上野若瑞画・妙庵普最賛	江戸時代後期	画像(黄檗)4
23	恵燈像	上野若龍画・恒善普長賛	江戸時代後期	画像(黄檗)3
24	諸天菩薩図	兪仲烈筆	嘉慶7年(1802)奉納	興福寺所蔵
25	群仙之図	渡辺秀実(鶴洲)筆	江戸時代後期	県美博 A110256
26	閻聖帝君覚世真経	史致儼書・周徳昭鑄	清時代・17-18世紀	県書 へ11 265
27	閻夫子経	林義弼書・俞直俊刊	享保3年(1718)刊	県書 11 109-2
28	清俗紀聞	中川忠英編・石崎融思ほか画	寛政11年(1799)刊	市博 380-13-6
29	桐鳳凰図	小原慶山筆	江戸時代前期	市博 絵(長崎)235-1~5
30	絵葉書「福濟寺 書院」		大正時代	市博 絵葉書(長崎)284
31	絵葉書「福濟寺 布袋像」		大正時代	市博 絵葉書(長崎)283
32	山水図鐔	若芝喜左衛門	江戸時代中期	県美博 D10025-1,2
33	山水図鐔	若芝是幸	江戸時代後期	県美博 D10003
34	雲龍図鐔	若芝是高	江戸時代後期	金工(日本)31
35	唐伝若芝鐔細工系図(写本)	原本：永見和三郎(若芝是高)編、荒木千洲写	嘉永4年(1851)	県書 へ18 53(渡辺文庫)
36	若芝細工之儀ニ付御銀拝借願 文政8年酉4 永見達左衛門	永見達左衛門(若芝是幸)	文政8年(1825)	県書 ト14 496(藤文庫)
大鵬正鯤と継承者たち				
37	黄檗諸僧書卷	大鵬 画・隠元、木庵、獨湛、無上、雪機、弼玄、高泉、千呆、悦山、道本、竺庵、月潭、南源、獨吼 書	江戸時代	市博 書(黄檗)10
38	墨竹之図	大鵬正鯤筆	江戸時代中期	県美博 A110002
39	墨竹図(双幅)	弥峰円基筆	江戸時代中期	県美博 A110076
40	海老蟹図(三甲図)	大鵬正鯤筆	江戸時代中期	市博 絵(黄檗)11
41	弥峰円基像	画家不詳・華頂文秀賛	江戸時代後期	興福寺所蔵
42	墨竹図	来鳳山陽筆	江戸時代中期	市博 絵(黄檗)13
43	祖関円密像	画家不詳・華頂文秀賛	江戸時代後期	興福寺所蔵
44	雪中墨竹図(十二面)	祖関円密筆	文政5年(1822)	市博 絵(黄檗)10-1~12

2 常設展

【長崎歴史文化博物館】

常設展示は歴史文化展示ゾーン、長崎奉行所ゾーンからなる。毎月展示替えを行い、季節やテーマに沿った資料展示をおこなった。

○歴史文化展示ゾーン

1. 展示構成

- (1) 西洋との出会い～南蛮貿易とキリスト教～
長崎開港と朱印船貿易、海外交流の制限をテーマに紹介。16世紀後半が対象。
- (2) 朝鮮との交流～朝鮮通信使と対馬～
対馬藩を介して展開された日本と朝鮮との外交・貿易を紹介。17世紀前半～19世紀が対象。
- (3) 長崎貿易～唐船・オランダ船と行き交う商品～
世界中の貿易品が集まった長崎の姿を紹介。17世紀中頃が対象。
- (4) 中国との交流～唐寺と唐人屋敷～
唐寺や唐人屋敷でおこなわれた中国との文化交流を紹介。17世紀後半が対象。
- (5) 長崎の暮らし～長崎の賑わいと町の仕組み～
「寛文長崎図屏風」「長崎惣町絵図」「長崎くんち」を中心に、長崎の町を紹介。18世紀が対象。

- (6) 長崎の美術・工芸～交流が生んだ異国趣味～
流行の発信地長崎、あふれる異国趣味をテーマに、長崎の美術工芸の逸品を紹介。
- (7) オランダとの交流～出島と蘭学～
長崎出島を窓口として行われた海外との豊かな交流、多方面への影響をテーマに紹介。19世紀が対象。
- (8) 近代化の魁・長崎～長崎発、西洋の知と技～
近代技術の移入、近代日本の魁をテーマに、海外の窓口として最新の学問や技術、情報が集まった幕末・明治の長崎を紹介。19世紀中頃が対象。

2. 主な展示資料

「南蛮人来朝之図」、「寛永長崎港図」、「狂言袴茶碗」、「唐館図絵巻 石崎融思筆」、「上野彦馬使用 写真機」

美術展示室（特集展示室）

長崎の浮世絵

【展示概要】

長崎・鍛冶屋町出身の浮世絵師柳斎(山口)重春の作品を中心に、長崎とゆかりのある浮世絵作品を展示した。また、丸山の料亭花月の所蔵する作品を3点、特別に公開した。

開催期間：令和2年3月18日(水)～5月17日(日)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
4月10日(金)～5月24日(日)まで臨時休館。

総入場者数：364人



No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	藤原時平 中村歌右衛門	柳斎重春 画	文政11年(1828)正月	県美博 A3口0005
2	金井谷五郎 嵐璃寛	丸丈斎国広 画	文政12年(1829)7月	市博 版(日本)1
3	宇治常悦 中村歌右衛門	柳斎重春 画	文政12年(1829)7月	市博 版(長崎)30
4	武智光秀 中村歌右衛門 真柴久吉 嵐璃寛 (重春版画帖のうち)	柳斎重春 画	文政12年(1829)9月	市博 版(長崎)17

No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
5	松下嘉平治連歌評判 上	金沢龍玉 著・柳斎重春 画	文政12年(1829)成立、 文政13年(1830)刊	県書 へ18 164 1
6	のさきノ久作 中村歌右衛門 でっち久松 市川團蔵	柳斎重春 画	文政13年(1830)9月	市博 版(長崎)12
7	三二ノ五郎七 中村歌右衛門 高木治郎太夫 嵐璃寛 けいせいつかさ 中村松江	柳斎重春 画	文政13年(1830)正月	市博 版(長崎)25-1~3
8	碁盤忠信 市川白猿	柳斎重春 画	文政12年(1829)頃	県美博 A3口0007
9	嵐璃寛	柳斎重春 画	文政13年(1830)頃	県美博 A3口0008
10	中村歌右衛門	柳斎重春 画	文政13年(1830)頃	県美博 A3口0006
11	尾上梅幸長崎諏訪神社参拝之図	柳斎重春 画	天保元年(1830)頃	市博 版(長崎)18
12	花魁の道行図	国重 款	江戸時代後期	市博 絵(日本)47-1,2
13	百千鳥鳴門白浪 卷一	柳斎重春 画	文政12年(1829)刊	県書 へ18 159 1
14	役者風俗三国志 上	花笠文京(外史) 著・柳斎重春 画	天保2年(1831)刊	県書 へ18 161 1
15	桜花花魁図	柳斎重春 画	江戸時代後期	市博 絵(長崎)215
16	常盤御前雪行図	柳斎重春 画	江戸時代後期	花月所蔵
17	袖笑図	画家不詳・江芸閣賛	江戸時代後期	花月所蔵
18	長崎花魁図	西湖峯 画	江戸時代後期	市博 絵(長崎)87
19	江口君図	風柳庵時成 画	江戸時代後期	花月所蔵
20	越後獅子 中村歌右衛門	柳斎重春 画	天保9年(1838)正月	県美博 A3口0001
21	しやうき 中村歌右衛門	柳斎重春 画	天保9年(1838)正月	県美博 A3口0002
22	座頭 中村歌右衛門	柳斎重春 画	天保9年(1838)正月	県美博 A3口0004
23	仕丁 中村歌右衛門	柳斎重春 画	天保9年(1838)正月	県美博 A3口0003
24	大坂北新地ねり物 孟宗 伊勢島 八重	柳斎重春 画	天保8年(1837)	県美博 A3口0009
25	大坂北新地ねり物 鶯宿梅 明石屋 小とま	柳斎重春 画	天保8年(1837)	県美博 A3口0010
26	源より朝公 仁田ノ四郎 御所ノ五郎丸	柳斎重春 画	弘化・嘉永年間(1844~1852)頃	市博 版(長崎)13-1~3
27	けいせい素袍珞 卷一	奈河亀助 作・柳斎重春 画	天保13年(1842)成立、天保14年刊	県書 へ18 160 1
28	諸画帖	柳斎重春、田中華、岸連山、藪長水、 中島来章、上田公長、逸見塘雨、 林蘭雅 ほか	天保15年(1844)	市博 絵(日本)62
29	御絵像	柳斎重春 画	江戸時代後期	県書 3 217-2
30	唐館部屋之図	大和屋版	江戸時代後期	県美博 A3口0049
31	婦人相思相愛図	画家不詳	江戸時代後期	市博 絵(長崎)237
32	行燈美人図	梅香堂可敬 画	江戸時代後期	市博 絵(長崎)221
33	美人図	真村蘆江 画	江戸時代後期	市博 絵(長崎)230
34	ガラス絵 美人図	作者不詳・ガラス絵	江戸時代後期~明治時代	市博 ガラス絵1
35	ガラス絵 猫に美人図	作者不詳・ガラス絵	江戸時代後期~明治時代	市博 ガラス絵13

浦上一番崩れを読む

【展示概要】

寛政2年(1790)の浦上一番崩れについて、当館収蔵の「長崎奉行所関係資料」(重要文化財)の中から関連史料を解説し、その実像を紹介した。

開催期間：令和2年5月20日(水)~7月19日(日)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
4月10日(金)~5月24日(日)まで臨時休館。

総入場者数：634人



No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	犯科帳 第56冊 (40.浦上村異宗信仰の疑、山王寺石仏無届建立一件)		寛政2年(1790)	県書 B)14 1-1 56
2	叶(浦上村山里之百姓宗門ニ付而入牢之人別帳)		寛政2年(1790)	県書 B)11 171-1 232
3	乍恐奉願口上之覚(入牢中の十九人の者の恠共の歎願書)		寛政2年(1790)	県書 B)11 171-1 213
4	乍恐奉願口上書(浦上村山里百姓十九人の者の出牢願)		寛政2年(1790)	県書 B)11 171-1 7
5	異宗徒信仰之もの改心証文		慶応3年(1867)	県書 B)11 25-2 2
6	一札之事(弥左衛門外十八人出牢に付密事せぬための誓約書)		寛政2年(1790)	県書 B)11 171-1 58
7	覚(異宗徒内偵報告書)		寛政3年(1791)	県書 B)11 171-1 146
8	起請文之事 写		寛政4年(1792)	県書 B)11 171-1 144
9	四人之者共吟味年月覚(大村領浦上村吉兵衛外)		寛政5年(1793)	県書 B)11 171-1 55
10	一札之事(家野郷深堀安左衛門家財預り証文)		寛政4年(1792)	県書 B)11 171-1 169
11	差上申一札之事(浦上村散使深堀安左衛門預り証文)		寛政4年(1792)	県書 B)11 171-1 134
12	肥前国彼杵郡長崎浦上村久米次郎欠込訴一件		寛政5年(1793)	県書 B)11 16-1
13	浦上村山里家野郷久米次郎御札願		寛政5年(1793)	県書 B)11 171-1 79
14	差上申一札之事(浦上村山里久米次郎訴状請取書)		寛政5年(1793)	県書 B)11 171-1 163
15	乍恐口上書(浦上村家野郷久米次郎七人月代狹願)		寛政6年(1794)	県書 B)11 171-1 62
16	申口(浦上村山里利助より松田久吉郎宛)		寛政7年(1795)	県書 B)11 171-1 215
17	覚(利助申口)		寛政7年(1795)	県書 B)11 171-1 113
18	乍恐口上書(墓所検分之節不通例石塔有之ニ付寺方御尋)		寛政6年(1794)	県書 B)11 171-1 16
19	絵図面の墓碑なき旨回答書		寛政6年(1794)	県書 B)11 171-1 18
20	善七口書(墓石一件)		寛政8年(1796)	県書 B)11 171-1 133
21	深堀安左衛門並家族墓碑図		寛政6～8年(1794～6)カ	県書 B)11 171-1 190
22	浦上村家野郷深堀安左衛門並近辺墓所図面		寛政6～8年(1794～6)カ	県書 B)11 171-1 110
23	墓所書付(家野郷兵助・甚七)		寛政6～8年(1794～6)カ	県書 B)11 171-1 220

水・陸・空いきものパビリオン

【展示概要】

水中や陸上、空の「いきものたち」から想像上の「いきもの」までを集めて「パビリオン」とした。また、7月24日の芥川龍之介の命日、河童忌に合わせ「河童図屏風」も紹介した。

開催期間：令和2年7月22日(水)～9月13日(日)

総入場者数：1,952人



No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	魚族図	尾形洞水	江戸時代後期	県美博 A2/a0041
2	鯨組鯨見取図			市博 水産2
3	長崎漂着海獣の図		文政13年(1830)原画・大正9年(1920)模写	市博 絵94
4	白磁鉄彩人魚漏斗置	平戸・三川内焼	19世紀後半	県美博 D/a0974
5	長崎聞見録 寛政12年／巻之5			県書 13 332-2 5
6	長崎聞見録			県書 13 332-2 1
7	有明海魚介図巻		天保12年(1841)	県美博 F/a0038
8	芦蟹之図	孟函九		県美博 A1/a0005
9	柳下鶉図	熊斐		市博 絵(長崎)72

No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
10	扇面柳下鴨図	沈南蘋		県美博 A1イ0154
11	白磁鴨型香炉	平戸・三川内焼	江戸末期	県美博 Dハa0970
12	金紅丹効能書			市博 医学10
13	薬商看板(金紅丹)			市博 医学11
14	縹子白龍刺繍入カバー			市博 布(日本)74
15	染付雲鶴虎文龍巻瓢形瓶	平戸・三川内焼	19世紀前半	県美博 Dハa0981
16	白磁麒麟置物	平戸・三川内焼	19世紀中頃	県美博 Dハa0333
17	亀山焼桐二鳳凰染付大鉢	平戸・三川内焼、棕尾菊蔵	明治7年(1874)	市博 陶(長崎)45
18	銹青磁釉亀形水注			県美博 Dハa0945
19	染付親子獅子置物	平戸・三川内焼	江戸時代後期	県美博 Dハa0040
20	転寝の遊目 安政5年安政筒笥流行記	仮名垣魯文／編	安政5年(1858)	県書 15 74-2
21	阿蘭陀虫目鏡		江戸時代後期	県美博 A3ハ0107
22	紅毛雑話 2, 4	森島中良	天明7年(1787)	県書 テ13 18 2.4
23	象志 享保14年		享保14年(1729)	県書 13 827-1
24	松に象図	渡辺鶴洲	文化10年(1813)	市博 絵(長崎)269
25	長崎湊へ紅毛船二艘入津積来唐物鳥類獸類之覚		文化10年(1813)	県書 ヘ17 152
26	駱駝図		江戸時代後期	県美博 A3ハ0081
27	亀山焼駱駝染付蘭文入盃	亀山焼		市博 陶(長崎)64.85
28	山嵐図	秋岡	天保九戊戌年持渡以降	市博 絵(長崎)160
29	ガラス絵青貝細工猿図		江戸時代後期	ガラス絵
30	長崎古今集覧名勝圖繪 下	石崎融思	天保12年(1841)序	市博 絵(長崎)142-3
31	火喰鳥	文錦堂版		県美博 A3ハ0025
32	柿色鳩図	石崎融思	江戸時代後期	県美博 A1イ0050
33	唐船持渡飼鳥図(珊瑚鳥)			市博 絵(長崎)177-1
34	紅毛渡り名鳥			県美博 A3ロ0357
35	諸書留	楢林控	天保13年(1842)	市博 660-17
36	唐船持渡飼鳥図 (類違碧鳥図 相思鳥図 沈香鳥図 碧鳥図 黄雀図)			市博 絵(長崎)177-16
37	鳥籠	長崎ガラス	江戸時代後期	県美博 Dチ0008
38	河童供養帖九			市博 絵(日本)17
39	尺牘集			市博 書(日本)22-1
40	河童図屏風	芥川龍之介	大正11年(1922)	市博 絵(日本)8
41	菊茂登	永井荷風	昭和10年(1935)	市博 書(日本)34
42	花鳥諷詠	高浜虚子	昭和初期	市博 書(日本)35

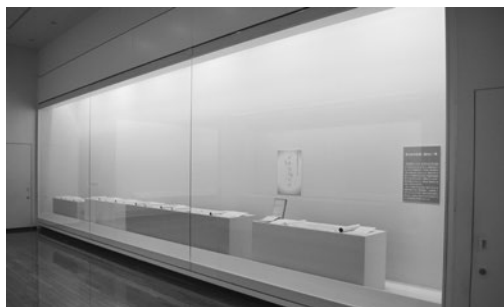
「青方文書」の世界 その2

【展示概要】

当館収蔵の「青方文書」(県有形文化財)を紹介する第2弾として、青方氏ら松浦党の武士たちが、内乱の中で下松浦一揆を結成していく姿を紹介した。

開催期間：令和2年9月16日(水)～11月15日(日)

総入場者数：8,246人



No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	青方高直目安状案		建武4年(1337)	県書 ア14 127 43
2	青方氏家譜 中(写本)	青方運善	天保15年(1844)	県書 ヘ13 286 2

No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
3	積・寺田知連署書状		暦応2年(1339)	県書 ア14 127 45
4	青方閩軍忠状案		暦応3年(1340)	県書 ア14 127 45
5	青方繁軍忠状		貞和6年(1350)	県書 ア14 127 48
6	鎮西管領一色道猷軍勢書下		暦応2年(1339)	県書 ア14 127 44
7	足利直冬所領宛行状		貞和6年(1350)	県書 ア14 127 47
8	征西將軍宮懷良親王令旨		正平17年(1362)	県書 ア14 127 52
9	篤尚・披連署書状		正平9年(1354)カ	県書 ア14 127 49
10	青方重讓状		正平25年(1370)	県書 ア14 127 53
11	今川了俊安堵状		永徳元年(1381)	県書 ア14 127 57
12	青方重軍忠状		永徳2年(1382)	県書 ア14 127 57
13	五島住人等一揆契諾状		応安6年(1373)	県書 ア14 127 55
14	下松浦住人等一揆契諾状		永徳4年(1384)	県書 ア14 127 60
15	下松浦住人等一揆契諾状		嘉慶2年(1388)	県書 ア14 127 62
16	下松浦住人等一揆契諾状		明德3年(1392)	県書 ア14 127 64
17	五島住人等一揆契諾状		応永18年(1411)	県書 ア14 127 70
18	宇久・有河・青方住人等一揆契諾状		応永20年(1413)	県書 ア14 127 72
19	宇久住人等一揆契諾状		応永20年(1413)	県書 ア14 127 72
20	五島住人等一揆契諾状		応永21年(1414)	県書 ア14 127 73

金唐革の世界

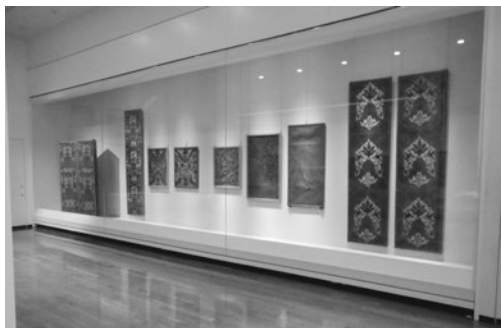
【展示概要】

ヨーロッパでは室内の壁面装飾に用いられ、江戸時代にはオランダ船が持ち渡り、日本で煙草入れなどの小物の素材として人気を博した金唐革を取り上げた。

開催期間：令和2年11月18日(水)～12月20日(日)

総入場者数：4,097人

※本展は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館や展覧会中止に伴い、予定を変更して新たに追加して開催した。



No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	華夷通商考 増補	西川如見	宝永5年(1708)	県書 17 420 4
2	皮類寄 自卯年至未年	永見家	～安政4年(1857)	県書 17 194-1
3	諸書留	楢林	天保7～13年(1836～42)	市博 660-36
4	金唐革(金、茶、水色、ピンク)(窓、花卉、鳥)			県美博 Dチ0031
5	版木(窓、鳥、花卉)			県美博 Dチ0033
6	版木(唐草)			県美博 Dチ0034
7	金唐革(金、水色)(唐草)			県美博 Dチ0018
8	金唐革(金、濃緑)(花卉、天使)			県美博 Dチ0040
9	金唐革(金、白、緑)(人物、天蓋、花籠)			県美博 Dチ0014
10	金唐革(金、水色、赤、緑)(窓、人物、花卉)			県美博 Dチ0045
11	金唐革(金、水色、濃緑、ピンク、赤)(花卉、唐草)			県美博 Dチ0042
12	金唐革(金、緑、赤)(花卉、鳥、アールヌーボー)			県美博 Dチ0025
13	金唐革四曲一隻屏風			県美博 Dチ0067
14	金唐革パネル			県美博 Dチ0049
15	金唐革(屏風)(金、水色、緑、ピンク)(花瓶、天蓋、花卉)			県美博 Dチ0047
16	金唐革(パネル型)(金、緑、水色、ピンク)(花瓶、天蓋、唐草)			県美博 Dチ0043

No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
17	金唐革(金、水色、ターコイス、ピンク)(花卉)			県美博 Dチ0008
18	金唐革(金、白、ピンク、水色)(花卉)			県美博 Dチ0009
19	金唐革(金、白、緑)(花唐草、鳥)			県美博 Dチ0027
20	金唐革(濃緑)(花籠、唐草)			県美博 Dチ0032
21	金唐革(金、赤)(花唐草)			県美博 Dチ0036
22	金唐革(パネル型)(金、濃緑、水色)(鳥、花卉)			県美博 Dチ0044-1 県美博 Dチ0044-2
23	金唐革巾着			県美博 Dチ0062
24	金唐革提げたばこ入れ			県美博 Dチ0074
25	金唐革一つ提げたばこ入れ(赤い花、青い花文)			県美博 Dチ0060
26	金唐革一つ提げたばこ入れ(唐草文)			県美博 Dチ0066
27	金唐革小箱			県美博 Dチ0075
28	金唐革たばこ入れ(キューピッド文)			県美博 Dチ0063
29	金唐革たばこ入れ			市博 生資(日本)5
30	金唐革箱(花籠文)			県美博 Dチ0055
31	金唐革箱(キューピッド、猿、花唐草文)			県美博 Dチ0068
32	擬革紙(黒)(亀甲、菊)			県美博 Dチ0051

つるツル展

【展示概要】

収蔵資料の中から鶴をモチーフにしたもの、鶴が描かれているものを展示。中国で古くから吉祥の象徴とされてきた鶴が、長崎ではどのように親しまれていたのかを紹介した。

開催期間：令和2年12月23日(水)～
令和3年2月14日(日)

総入場者数：661人

※本展は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館や展覧会中止に伴い、予定を変更して新たに追加開催した。



【教育普及活動】

教育普及活動「おうちできふん気分」と広報活動の一環として、本展をモチーフとしたスマートフォン壁紙を作成しホームページやSNS上で配布した。

つるツル展スマホ画像



No	資料名	作者名	制作年代	資料番号/備考
1	松鶴蟠桃図	張嘉筆	明時代頃	市博 絵(中国)91 グラバー園旧蔵
2	松鶴図	蔣延錫筆	康熙55年(1716)	市博 絵(中国)2
3	双鶴捧寿図	沈南蘋款	乾隆3年(1738)	県美博 A1イ0223
4	梅花双鶴図	熊斐筆	江戸時代中期	県美博 A1イ0009
5	松二鶴図(一品当朝図)	宋紫石筆	安永4年(1775)	県美博 A1イ0131
6	双鶴之図(性堅身潔図)	渡辺秀実(鶴洲)筆	文政6年(1823)	県美博 A1イ0025
7	鶴亀図(芝仙祝寿図)	岩井江雲筆	江戸時代中期	県美博 A1イ0114
8	書幅「鶴齡千古久 亀寿萬年長」	悦山道宗筆	江戸時代中期	県美博 Cイ0093

No	資料名	作者名	制作年代	資料番号/備考
9	百寿図	画家不明(渡辺家カ)	江戸時代中期	県美博 A1イ0169
10	松鶴寿老人図(福祿寿三星図)	怡園画・陸品三賛	文政8年(1825)	市博 絵(中国)67
11	三仙人図(三星図)	渡辺秀実(鶴洲)筆	江戸時代後期	県美博 A1イ0204
12	松竹梅双鶴旧知訪友図	木下逸雲筆	天保5年(1834)	市博 絵(長崎)319
13	仙女舟遊図	木下秋塘筆	文化9年(1812)	市博 絵(長崎)423
14	蓬莱山之図	荒木千洲筆	慶応4年(1868)	県美博 A1イ0143
15	青緑山水図(双幅)	費漢源筆	江戸時代中期	市博 絵(中国)52
16	浅葱綸子地鶴丸文松葉模様打掛		大正～昭和時代	市博 布(日本)14 森喜知郎氏寄贈
17	白綸子地鶴亀模様打掛		大正時代	市博 布(日本)35 栗岡なみ氏寄贈
18	衣桁		明治～大正時代	市博 漆(日本)39,40
19	染付梅鶴図酒瓶	三川内焼	江戸時代後期	県美博 Dハa0097
20	百合に鶴図螺鈿手箱	青貝細工	江戸時代後期～明治時代	県美博 Dホ0033
21	松鶴図小箱	青貝細工	江戸時代後期～明治時代	県美博 Dホ0031
22	染付百鶴文甕	亀山焼	江戸時代後期	県美博 Dハa1091
23	染付松鶴図香爐	亀山焼・亀山孝要	文政年間(1818～1829)	県美博 Dハa0204
24	亀山焼色絵立鶴燗瓶	亀山焼・井田吉六作、橘禄画	江戸時代後期	市博 陶(長崎)110
25	神代鍋島家 日記 第五/自寛政九年巳正月朔日至十二月	神代鍋島家著・編	寛政9年(1797)	県書 サ19 3 55

長崎奉行所展

【展示概要】

長崎歴史文化博物館の原点、長崎奉行所立山役所の姿について、当館建設前の発掘調査で発見された出土品や当館収蔵の関係史料から振り返った。

開催期間：令和3年2月17日(水)～5月16日(日)
総入場者数：3,671人



【教育普及活動】

「にゃがさき奉行所たんけんクイズ」

奉行所復元ゾーンに関するクイズのワークシートを配布。クイズの達成者には、令和3年度中に使用できる招待券をプレゼントした。

期 間：令和3年2月17日(水)～5月16日(日)
対 象：希望者

※招待券配布は高校生以下限定

参加無料

参加者(招待券配布)数：126名



No	資料名	作者名・出土遺跡名	制作年代	所蔵／資料番号	備考
1	軒丸瓦(花十字)	長崎奉行所跡		長崎県埋蔵文化財センター	
2	軒丸瓦	長崎奉行所跡		長崎県埋蔵文化財センター	
3	練混火入	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
4	染付煙管	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
5	染付煙管	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
6	鉄絵灰落	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
7	鉄絵灰落	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
8	色絵染付小杯	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
9	色絵染付小杯	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
10	色絵染付小杯	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
11	色絵小杯	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
12	青花小杯	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
13	色絵小杯	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
14	青花皿	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
15	青花罌入	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
16	青花筒形杯	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
17	鉄絵鉢	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
18	褐釉壺	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
19	瓦質茶釜	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
20	青花碗	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
21	青花碗	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
22	焼締杯	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
23	染付小杯	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
24	染付筒形碗	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
25	染付小杯	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
26	刷毛目陶器碗	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
27	刷毛目陶器碗	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
28	緑釉陶器碗	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
29	緑灰釉陶器皿	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
30	織部茶入	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
31	白磁壺	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
32	白磁壺	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
33	焼締瓶	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
34	焼締瓶	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
35	紫泥急須	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
36	焼締瓶	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
37	焼締急須	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
38	涼炉	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
39	染付皿	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
40	染付皿	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
41	青花鉢	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
42	焼締急須	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
43	朱泥蓋	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
44	玉	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
45	装身具	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
46	型吹き菊型ガラス盃	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
47	型吹き菊型ガラス盃	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
48	型吹き菊型ガラス盃	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
49	型吹き七宝つなぎ文蓋物	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
50	脚付ガラス杯か	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
51	脚付ガラス杯	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
52	脚付ガラス杯	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
53	ボトル	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
54	ボトル	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
55	ボトル	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	

No	資料名	作者名・出土遺跡名	制作年代	所蔵／資料番号	備考
56	ボトル	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
57	煙管	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
58	煙管	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
59	煙管	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
60	煙管	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
61	メダイ	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
62	クレーパイプ	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
63	火打石	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
64	軒丸瓦	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
65	軒平瓦	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
66	三彩	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
67	急須	長崎奉行所跡・岩原目付屋敷跡・炉粕町遺跡		長崎県埋蔵文化財センター	
68	軒丸瓦(花十字)	長崎西役所跡		長崎県埋蔵文化財センター	4月20日～
69	軒丸瓦(花十字)	長崎西役所跡		長崎県埋蔵文化財センター	4月20日～
70	青花皿	長崎西役所跡		長崎県埋蔵文化財センター	4月20日～
71	片口	長崎西役所跡		長崎県埋蔵文化財センター	4月20日～
72	コンプラ瓶	長崎西役所跡		長崎県埋蔵文化財センター	4月20日～
73	コンプラ瓶	長崎西役所跡		長崎県埋蔵文化財センター	4月20日～
74	コンプラ瓶	長崎西役所跡		長崎県埋蔵文化財センター	4月20日～
75	軒丸瓦(花十字文)	長崎西役所跡		長崎県埋蔵文化財センター	4月20日～
76	長崎奉行所西役所絵図			鎮西大社 諏訪神社	
77	長崎奉行所立山役所絵図			鎮西大社 諏訪神社	
78	長崎実録大成 巻2	田辺茂啓	宝暦10年(1760)	県書 へ13 211 2	
79	長崎諸御役場絵図			県書 テ3 95 1	～4月18日まで
80	長崎諸御役場絵図			市博 図101	4月20日～
81	長崎風景眼鏡絵 立山御役所之図		江戸時代後期	県美博 A2ハ0049-006	
82	長崎御奉行御名并御在勤之次第		慶応3年(1867)	県書 テ14 100	
83	御用部屋引継日録		嘉永3年(1850)	県書 B)14 55-1	～4月18日まで
84	阿備中守, 酒若狭守, 青下野守ヨリ金沢大蔵少輔, 筒井和泉守へノ書付		文化14年(1817)	県書 14 65-6 15	～4月18日まで
85	先哲遺墨 2			県書 テ19 44	
86	朝鮮唐津徳利	古唐津		県美博 Dハa0249	
87	木下逸雲珍蔵煎茶道具		18世紀後半 江戸後期	県美博 Dチ0081	
88	長崎ガラス重箱			市博 ガラス39	
89	染付竹文竹形煙草盆セット	古伊万里	江戸時代後期	県美博 Dハa0975	
90	ガラス瓶		16世紀後半	市博 ガラス110	

トピック展示

長崎・花の名所

【展示概要】

明治時代、長崎で花の名所として人々に親しまれた万象園、中川カルルスについて関係の資料から取り上げた。

開催期間：令和2年3月17日(火)～5月17日(日)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月10日(金)～5月24日(日)まで臨時休館。

総入場者数：464人



No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	道尾温泉萬象園図	人澤鼓洲		市博 版(長崎)31
2	一大遊園設立に就き御披露	古田吉平	明治25年(1892)	県書 へ17 21
3	長崎繁昌記	長崎新聞社／編		県書 チ13 19
4	絵葉書・長崎道ノ尾万象園ラヂューウム温泉	長崎為政写真館／撮影		県書 18 1124 14
5	絵葉書・長崎中川カルルス桜満開の景	佐藤弘聞堂(長崎)刊		市博 絵葉書(長崎)217

病と闘う

【展示概要】

安政年間のコレラ流行時に描かれた絵画作品や文書史料をとおして、幕末～明治期の長崎における病との戦いに様子について紹介した。

開催期間：令和2年5月25日(月)～7月19日(日)

総入場者数：1,056人



No	資料名	作者名	制作年代	資料番号	備考
1	鍾馗禳魔図	三浦梧門	安政5年(1858)	県美博 A1イ0031	中国との交流コーナー
2	安政簡勞痢流行記 転寝の遊目	仮名垣魯文編	安政5年(1858)	県書 15 74-2	近代化の魁コーナー
3	虎狼痢治準	緒方洪庵	安政4年(1857)	県書 15 135	
4	要録	巨智部忠陽	安政5年(1858)	県書 17 44-1 15	
5	手頭留	長崎奉行所編	安政5年(1858)～	県書 B)14 21-5 10	
6	小島養生所図			市博 医学16	
7	日本滞在見聞記	ポンベ	1867年	県書 2 17 1	
8	長崎港女神消毒室縮図		19世紀	県書 3 147	
9	絵葉書・女神検疫所		1900年頃	市博 絵葉書(長崎)524	
10	長崎県病院報告虎列刺病畧論	北島秀朝	明治10年(1877)	県書 15 892	
11	会計課主計掛事務簿虎列刺病一件書	長崎県会計課／編	明治10年(1877)	県書 14 338-2 1-1	



三浦梧門_鍾馗禳魔図

鉅鹿家と明楽

【展示概要】

日本に明楽を伝えたと言われる中国人・魏之琰とその子孫である鉅鹿家に関連する資料を紹介した。

開催期間：令和2年6月16日(火)～8月16日(日)

総入場者数：2,130人



No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	魏之琰墓誌銘拓本		清時代	原資料：泉州海外交通史博物館
2	蘆鴨波図	魏皓(鉅鹿君山)	江戸後期	県美博 A1イ0159
3	魏氏楽器図	筒井景周撰	安永9年序(1780)	県書 へ18 14
4	龍頭飾付月琴		清時代	県美博 Dハa0272

Let's Go to NAGASAKI!!

【展示概要】

江戸時代、中国やオランダからもたらされた文化をもとめて長崎を訪れた人々に関連する資料を展示した。

開催期間：令和2年8月18日(火)～10月18日(日)

総入場者数：9,188人



No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	一華一葉一如来	道者超元筆	江戸時代前期	市博 書(黄檗)47
2	布袋図	慧極道明画・千呆性俵賛	元禄12年(1699)	市博 絵(黄檗)18
3	高山虎嘯風	千呆性俵筆	江戸時代前期	県美博 Cイ0049
4	長崎港之図	版元不明	江戸時代後期	県美博 A3ハ0052
5	古梅園墨譜	松井元泰著	寛保2年(1742)頃	市博 絵画類(資料)16
6	蘭斎画譜 蘭部 一	森蘭斎著	安永7年(1778)序	県書 18 157-1
7	宋紫石画譜 地	宋紫石画・副孟義編	明和2年(1765)刊	県書 18 94-2

シーボルトと日本～二度目の来日～

【展示概要】

文政6年(1823)オランダ商館の医師として長崎・出島に着任し、後に国禁処分を受けたシーボルト。本コーナーでは国禁(国外追放、再渡来禁止)処分が解かれた後のシーボルトの再来日を彼が持ち渡った医療関係道具を通じて紹介した。

開催期間：令和2年10月20日(火)～12月20日(日)

総入場者数：15,960人



No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	薬籠			県美博 F口0002-008
2	産科外科医療器具			県美博 F口0002-005
3	双眼鏡			県美博 F口0002-002
4	帽子			県美博 F口0002-001
5	シーボルト国外追放達書			県書 3 205-2
6	若き日のシーボルト先生とその従僕図			市博 絵(長崎)65
7	シーボルト大形肖像写真			県書 18 17

新年を寿ぐ～丑年ver.～

【展示概要】

令和3年の干支である牛をモチーフにした資料や、新年にふさわしい吉祥画題の絵画作品を展示した。

開催期間：令和2年12月22日(火)～令和3年2月14日(日)

総入場者数：1,129人



No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	多子招福図	勝野范古筆	明和3年(1766)	市博 絵(長崎)102
2	牛図	勝野范古筆	宝暦11年(1761)	市博 絵(長崎)82
3	福祿寿三星図(三聖図)	石崎融思筆	天保10年(1839)	市博 絵(長崎)193
4	百事如意吉祥図	鉄翁祖門筆	明治4年(1871)	市博 絵(長崎)499
5	瑠璃釉騎牛童子形置物	三川内焼	明治時代	県美博 Dハa0542
6	白磁騎牛童子形置物	三川内焼	明治時代	県美博 Dハa0605
7	白磁牛置物	三川内焼	明治時代	県美博 Dハa0603

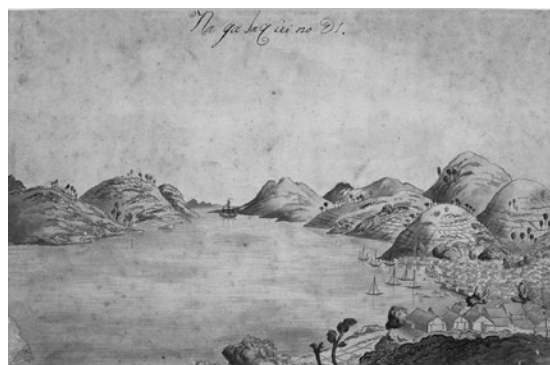
司馬江漢と長崎

【展示概要】

江戸時代後期に活躍した洋風画家、蘭学者の司馬江漢。天明8年(1788)から翌年にかけて西洋画の研究を目的として長崎へ遊学し、そのことによりさらに深まったとされる江漢の西洋への関心を紹介した。

開催期間：令和3年2月16日(火)～4月18日(日)

総入場者数：3,175人



司馬江漢筆 長崎港の図

No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	長崎港の図	司馬江漢	天明8年(1788)頃	県美博 A2ハ0006
2	山鳩図	司馬江漢	寛政年間(1789～1800)	県美博 A2ハ0064
3	紅毛三人図	司馬江漢	天明～寛政年間(1781～1800)	市博 絵(黄檗)18
4	西遊旅譚	司馬江漢	寛政6年(1794)	県書 13 106-2 3-1
5	阿蘭陀茶臼	司馬江漢	寛政11年(1799)	県美博 F10013
6	天球図	司馬江漢作 本田三郎右衛門訂正	寛政8年(1796)	市博 天文学2

○長崎奉行所ゾーン

当時の絵図などを基に復元された長崎奉行所立山役所の建物とともに、奉行所の役割と機能、部屋の用途などを模型と映像を用いて解説し、関連資料や出土品とあわせて紹介。

1. 展示構成

長崎奉行所立山役所のあらまし

長崎奉行所の成立や変遷を、絵図面や出土品を通して紹介。

長崎奉行所職務

行政・司法・外交・貿易・軍事全般と、キリシタンや密貿易の取り締まりなど、多岐にわたる職責を担った長崎奉行の職務内容を紹介。

犯科帳の世界

長崎奉行所の判決記録集「犯科帳」の中から、密貿易やくんちなどの行事に際して起こった事件を、わかりやすく紹介。

歴代長崎奉行

127代を数える歴代長崎奉行の業績を、長崎の歴史への足跡とともに紹介。

キリシタン関連資料展示

長崎奉行の職務の一つ、キリシタン取締りについて、踏絵など長崎奉行所宗門蔵に収められていた品々を中心に紹介。

長崎奉行所立山役所〈再現〉

復元された奉行所の建物を、「大改め」再現展示とともに紹介。

2. 主な展示資料

〈クリシタン展示〉

No	資料名	制作年代	資料番号
1	板踏絵 キリスト像(ピエタ)(複製)	昭和年間	市博 複製12
2	聖母像(親指のマリア)(複製)		東京国立博物館原蔵
3	桶屋町中家持借家宗旨改踏絵帳	寛保2年(1742)～	県書 ト11 1-1
4	第一課事務簿 神仏道以外ノ宗教届	明治33年(1900)	県書 11 377-3
5	聖教初学要理	慶応4年(1868)	県書 11 20-2 1
6	聖母行実	1631年	県書 11 147-2 2
7	お掛け絵(受胎告知)(複製)		平戸市生月町博物館 島の館原蔵
8	メダイ(エッケ・ホモ)	17世紀	県美博 Fイ0177

〈長崎奉行コーナー〉

No	資料名	制作年代	資料番号
1	犯科帳		県書 B)14 1-1
2	犯科帳(複製)		県書 14 1-1
3	長崎諸官公衙図	文化5年(1808)	県書 3 37-2
4	末次平蔵御關所家財諸道具長福院諸道具御払帳	元禄4年(1691)	県書 B)14 73-5

クリシタン関連展示

【展示概要】

浦上村のキリスト教徒から没収され、長崎奉行所宗門蔵に保管されていたクリシタン関係資料（東京国立博物館所蔵）を紹介。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月10日(金)～5月24日(日)まで臨時休館。

期間(令和2年度)

- 第1期：令和2年4月28日(火)～5月17日(日)※
- 第2期：令和2年5月19日(火)～6月14日(日)※
- 第3期：令和2年6月16日(火)～7月19日(日)
- 第4期：令和2年7月21日(火)～8月16日(日)
- 第5期：令和2年8月18日(火)～9月13日(日)
- 第6期：令和2年9月15日(火)～10月18日(日)
- 第7期：令和2年10月20日(火)～11月15日(日)
- 第8期：令和2年11月17日(火)～12月20日(日)
- 第9期：令和2年12月22日(火)～令和3年1月17日(日)
- 第10期：令和3年1月19日(火)～2月14日(日)
- 第11期：令和3年2月16日(火)～3月14日(日)
- 第12期：令和3年3月16日(火)～4月18日(日)

東京国立博物館所蔵クリシタン関係資料 ※第2期以降、新規展示分を掲載

No	資料名	個数	資料番号	備考
第1期				
1	マリア観音像(墨書あり)	1体	C-601	重要文化財
2	マリア観音像	1体	C-608	重要文化財
3	マリア観音像	1体	C-630	重要文化財
4	観音菩薩坐像	1体	C-643	重要文化財
5	十一面観音菩薩立像	1体	C-665	重要文化財
6	人物像	1点	C-672	重要文化財
7	聖女像	1点	C-694	重要文化財
8	キリスト像(エッケ・ホモ)	1点	C-715	重要文化財
9	ロザリオ	1連	C-746	重要文化財
10	ロザリオ	1連	C-765	重要文化財

No	資料名	個数	資料番号	備考
11	十字架	1点	C-857	
12	十字架	1点	C-859	
13	十字架	1点	C-879	
14	メダイ(ヨセフと幼子イエス／無原罪の御宿り)	1点	C-914	
15	メダイ(サルヴァートル・ムンディ)	1点	C-930	
16	遺物函	1点	C-996	重要文化財
17	ロザリオ残欠	1連	C-1070	
第2期				
1	キリスト像	1点	C-688	重要文化財
2	キリスト像(ピエタ)	1点	C-720	重要文化財
3	守裂	1点	C-1001-10	重要文化財
4	守裂残欠	1点	C-1084-20	重要文化財
第3期				
1	キリスト像	1体	C-589	重要文化財
2	ロザリオ	1連	C-749	重要文化財
3	ロザリオ	1連	C-773	重要文化財
4	十字架	1点	C-892	
5	十字架	1点	C-894	
第4期				
1	ロザリオ	1連	C-776	重要文化財
2	ロザリオ	1連	C-815	重要文化財
3	メダイ(聖イグナティウス像)	1点	C-921	
4	メダイ(聖フランシスコ・ザビエル像)	1点	C-924	
5	メダイ(不思議のメダイ)	1点	C-939	
6	聖母子像(ロザリオの聖母)	1点	C-1005	重要文化財
第5期				
1	マリア観音像	1体	C-602	重要文化財
2	観音菩薩坐像	1体	C-638	重要文化財
3	観音菩薩坐像	1体	C-650	重要文化財
4	十字架	1点	C-895	
5	十字架	1点	C-896	
6	守裂残欠	1点	C-1084-24	重要文化財
7	守裂残欠	1点	C-1084-28	重要文化財
第6期				
1	マリア観音像	1体	C-611	重要文化財
2	マリア観音像	1体	C-625	重要文化財
3	聖母子像(ロザリオの聖母)	1点	C-721	重要文化財
4	ロザリオ	1連	C-827	重要文化財
5	ロザリオ	1連	C-832	重要文化財
6	キリスト像(十字架上のキリスト)	1点	C-1010	重要文化財
7	メダイ(聖体秘蹟)	1点	C-1062	
第7期				
1	ロザリオ	1連	C-765	重要文化財
2	ロザリオ	1連	C-833	重要文化財
3	十字架	1点	C-898	
4	十字架	1点	C-910	
5	メダイ(聖フランシスコ・ザビエル像)	1点	C-925	
6	メダイ(不思議のメダイ・中文)	1点	C-959	
7	守裂残欠	1点	C-1084-26	重要文化財
8	守裂残欠	1点	C-1084-39	重要文化財
第8期				
1	聖母子像	1体	C-591	重要文化財
2	ロザリオ	1連	C-1082	重要文化財

No	資料名	個数	資料番号	備考
第9期				
1	小天使像B	1体	C-592	重要文化財
2	マリア観音像	1体	C-620	重要文化財
3	マリア観音像	1体	C-628	重要文化財
4	観音菩薩坐像	1体	C-642	重要文化財
5	観音菩薩坐像	1体	C-654	重要文化財
6	羅漢坐像	1体	C-666	重要文化財
7	ロザリオ	1連	C-819	重要文化財
8	十字架	1点	C-906	
9	十字架	1点	C-911	
10	守裂	1点	C-1001-2	重要文化財
11	守裂残欠	1点	C-1084-22	重要文化財
第10期				
1	菩薩坐像	1体	C-689	重要文化財
2	無原罪の聖母	1点	C-712	重要文化財
3	キリスト像(エッケ・ホモ)	1点	C-727	重要文化財
4	メダイ(聖フランシスコ・ザビエル像)	1連	C-926	
5	メダイ(ヨセフと幼子イエス/聖母中文)	1連	C-962	
6	メダイ(不思議のメダイ)	1連	C-1040	
7	メダイ(聖体秘蹟)	1点	C-1062	
第11期				
1	ロザリオ	1連	C-826	重要文化財
2	十字架	1点	C-912	
3	貨幣	1点	C-994	重要文化財
4	ロザリオ残欠	1連	C-1083-4	重要文化財
第12期				
1	小天使像A	1体	C-592	重要文化財

【長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館／長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム】

1. 展示構成

国の重要文化財である旧香港上海銀行長崎支店の紹介と、孫文と梅屋庄吉の関係、及び2人にとってゆかりの地であり近世以降も重要な役割を果たした長崎の近代交流史を紹介。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月10日(金)～5月31日(日)まで臨時休館。

1 階：【香港上海銀行長崎支店の歴史】

銀行として使用されていた当時の雰囲気伝える展示とともに、香港上海銀行長崎支店の歴史を紹介。

2 階：【孫文・梅屋庄吉と長崎】【長崎の華僑】

中国革命の父孫文とその革命を支え続けた長崎出身の実業家・梅屋庄吉の国境を越えた友情の歴史、唐人貿易が行われた江戸時代から深いつながりを持つ華僑の人々の、明治以降の長崎での活躍ぶりを紹介。

3 階：【上海航路と国際通信】【貿易港長崎の歴史】 【東山手・南山手の暮らし】【香港上海銀行長崎支店の建築家 下田菊太郎】

長崎は交通・通信網の重要な拠点都市であった上海と定期航路で結ばれ、海底電信ケーブルが敷設されるなど、世界へとつながる国際都市であったことを紹介。

2. 主な展示資料

No	資料名	年代	所蔵先	資料番号
孫文と梅屋庄吉と長崎				
1	写真パネル 中島川西浜町付近		原資料 長崎大学附属図書館	
2	梅屋庄吉書「富貴在心」(複製)	昭和2年(1927)	原資料 小坂文乃氏	
3	写真パネル「永代日記」(部分)冒頭に記された梅屋庄吉少年時代の経歴	大正～昭和初期	原資料 小坂文乃氏	
4	写真パネル 9歳の梅屋庄吉	明治10年(1877)	原資料 小坂文乃氏	

No	資料名	年代	所蔵先	資料番号
5	写真パネル 17歳の梅屋庄吉	明治17年(1884)	原資料 小坂文乃氏	
6	写真パネル 23歳の梅屋庄吉	明治24年(1891)	原資料 小坂文乃氏	
7	写真パネル 香港時代の梅屋庄吉・トク夫妻	明治30年(1897)	原資料 小坂文乃氏	
8	写真パネル 香港、皇后大道中環付近(着色写真絵葉書)		原資料 個人蔵	
9	写真パネル 広東での梅屋庄吉・トク夫妻	明治36年(1903)	原資料 小坂文乃氏	
10	写真パネル 香港自宅での梅屋庄吉・トク夫妻ら記念写真	明治33年(1900)	原資料 小坂文乃氏	
11	梅屋庄吉製作「追悼之辞」(複製)	昭和4年(1929)	原資料 小坂文乃氏	
12	梅屋庄吉宛 養女 清子の貰受契約書(複製)	明治32年(1899)	原資料 小坂文乃氏	
13	写真パネル 梅屋庄吉建立墓碑(拓本)	明治30・35年(1897・1902)	協力：香港経済貿易代表部	
14	辛亥革命資金援助委任状(複製)梅屋庄吉宛 胡飛・鮑洪作成	明治44年(1911)10月29日	原資料 小坂文乃氏	
15	辛亥革命資金援助委任状(複製)梅屋庄吉宛 伍廷芳作成	明治44年(1911)11月11日	原資料 小坂文乃氏	
16	写真パネル 英国人医師ジェームズ・カントリー		原資料 小坂文乃氏	
17	梅屋庄吉宛 孫文電報(複製)	大正5年(1916)11月1日・11日	原資料 小坂文乃氏	
18	梅屋庄吉宛 孫科電報(複製)	民国14年(1925)3月13日	原資料 小坂文乃氏	
19	梅屋庄吉宛 孫文電報(複製)	大正13年(1924)12月1日	原資料 小坂文乃氏	
20	革命志士寄書衝立(複製)	明治末～昭和初期	原資料 小坂文乃氏	
21	写真パネル 近衛篤磨の墓参をした孫文一行記念写真	大正2年(1913)2月16日		
22	梅屋庄吉宛 宮崎滔天電報(複製)	大正5年(1916)1月25日	原資料 小坂文乃氏	
23	革命軍「軍票」(複製) 梅屋庄吉製作	明治44年(1911)	原資料 小坂文乃氏	
24	写真パネル 日本活動写真(株)創立の記念写真	明治45年(1912)1月11日	原資料 小坂文乃氏	
25	写真パネル 南極探検隊カメラマン派遣記念船上写真	明治44年(1911)10月15日	原資料 小坂文乃氏	
26	大孫文映画作成協会趣意書及革命映画筋骨梗概並制作費豫算(複製)	昭和5年(1930)12月1日	原資料 小坂文乃氏	
27	「大孫文」映画脚本(複製)	昭和5年(1930)	原資料 小坂文乃氏	
28	記録映画「辛亥革命」	1911～1912年	中国中央電視台(CCTV)	
29	映画「日本南極探検」	明治43～大正1年(1910～1912)	白瀬南極探検隊記念館	
30	映画「旧劇太功記 十段目 尼ヶ崎の段」	明治41年(1908)頃	東京国立近代美術館フィルムセンター	
31	張晨初 画<孫文と宋慶齡>	平成28年(2016)	長崎県(国際課)	
32	写真パネル 『長崎新聞』梅屋庄吉による長崎への別荘地誘致提案	昭和5年(1930)6月22日夕刊	原資料 長崎県立長崎図書館	
33	写真パネル 『長崎新聞』梅屋庄吉計報	昭和9年(1934)11月25日夕刊	原資料 長崎県立長崎図書館	
34	孫文書「世界大同」(複製)	大正13年(1924)11月23日	原資料 個人蔵	
35	写真パネル 『東洋日の出新聞』「上海丸」船内の食堂にて取材を受ける孫文	大正13年(1924)11月24日	原資料 長崎県立長崎図書館	
36	『東洋日の出新聞』明治44年9月～12月(複製)	明治44年(1911)9～12月	長崎歴史文化博物館	県書 19 19 29
37	模型 中山艦		長崎歴史文化博物館	武漢中山艦博物館寄贈
38	写真パネル 三菱長崎造船所銘板 215番船(「永豊」)	大正2年(1913)	原資料 武漢中山艦博物館	
39	砲艦「永豊」進水祝賀晩餐会案内状(複製)	大正1年(1912)6月1日	原資料 陳東華氏	
40	写真パネル 砲艦「永豊」竣工記念 艦上集合写真	大正2年(1913)1月	原資料 陳東華氏	
41	写真パネル 砲艦「永豊」竣工記念写真絵葉書	大正2年(1913)	長崎歴史文化博物館	
42	宋慶齡衣装(帽子、ドレス 再現資料)	大正4年(1915)	原資料 小坂文乃氏	
43	「賢母」の羽織(複製)		原資料 小坂文乃氏	
44	牧田祥哉 作<孫文胸像>(複製)	昭和3～5年(1928～30)	原資料 小坂文乃氏	
45	孫文蔵除幕式祝辞(複製)	昭和6年(1931)	原資料 小坂文乃氏	
46	梅屋トク宛 宋慶齡書簡(複製)	大正5年(1916)5月20日	原資料 小坂文乃氏	
47	国方千世子宛 宋慶齡書簡(複製)	昭和53年(1978)2月9日	原資料 小坂文乃氏	
長崎の華僑				
48	写真パネル 『長崎と上海』長崎駐在総領事郭則濟・同副領事王万年・民国領事館写真	大正12年(1923)	長崎歴史文化博物館	県書 L3 220-1

No	資料名	年代	所蔵先	資料番号
49	写真パネル 中華民国馮領事(前列中央)と三江会所々員興福寺		長崎歴史文化博物館	県書 3 868-14
50	写真パネル 長崎華僑受領勲章記念撮影 大正7年9月14日	大正7年(1918)	長崎歴史文化博物館	県書 3 868-13
51	写真パネル 唐館内貿易之図		長崎歴史文化博物館	県書 3 120-2
52	写真パネル 『長崎と上海』新地町貿易商一覽	大正12年(1923)	長崎歴史文化博物館	県書 L3 220-1
53	写真パネル 新地築増地一件	明治2年(1869)	長崎歴史文化博物館	県書 16 10-2
54	写真パネル 「泰益号文書」	大正～昭和初期	長崎歴史文化博物館	
55	中華服・男性用			
上海航路と国際通信				
56	「長崎と上海・日華連絡記念」(複製)	大正12年(1923)	長崎歴史文化博物館	
57	上海航路案内(改訂5版)	昭和8年(1933)	長崎市	
58	写真パネル 絵葉書 上海六三園			M51-85,M51-89, M51-97
59	写真パネル 長崎丸・上海丸の写真		長崎歴史文化博物館	県書 3 578
60	写真パネル 長崎丸・上海丸船内写真	大正12年(1923)	長崎歴史文化博物館	県書 L3 220-1
61	写真パネル 国際海底電線小ヶ倉陸揚庫			
62	写真パネル 国際海底電線小ヶ倉陸揚庫			
63	「長崎国際電報局」看板		KDDI国際通信史料館	
64	「長崎国際電報局」看板		KDDI国際通信史料館	
65	高砂丸(1/100模型)		長崎歴史文化博物館	
66	上海丸(1/100模型)		長崎市	
67	ナガサキ・タイムズ(複製)	明治元年(1868)6月	長崎歴史文化博物館	県書 2K 804
68	ナガサキ・エクスプレス(複製)	明治3年(1870)1月	長崎歴史文化博物館	
69	可変抵抗器(ベグ式)		KDDI国際通信史料館	
70	電動機(ミュアヘッド予備)		KDDI国際通信史料館	
71	可変抵抗器(丸型)		KDDI国際通信史料館	
72	3ダイヤル抵抗器		KDDI国際通信史料館	
73	検流計		KDDI国際通信史料館	
74	検流計(亀甲型)		KDDI国際通信史料館	
75	電流計		KDDI国際通信史料館	
76	ケーブル見本(長崎・小ヶ倉間のケーブル)		KDDI国際通信史料館	
77	ケーブル見本(長崎・ウラジオストク間の海底線、女神陸揚げ地陸上部分)		KDDI国際通信史料館	
78	疑似ケーブル(ウラジオストク線用)		KDDI国際通信史料館	
79	モールス送信機(電動式・モーター付)		KDDI国際通信史料館	
80	現波機		KDDI国際通信史料館	
81	海底ケーブル傷害見本		KDDI国際通信史料館	
82	海底ケーブル見本		KDDI国際通信史料館	
83	疑似ケーブル(上海線用)		KDDI国際通信史料館	
84	モールス印刷機(クリード印刷機)		KDDI国際通信史料館	
貿易港長崎の歴史				
85	写真パネル 上野彦馬撮影 長崎港写真	明治10年(1877)	長崎歴史文化博物館	県書 18 38-3 10
86	写真パネル 古今対照長崎市案内図	昭和9年(1934)	長崎歴史文化博物館	県書 へ3 10
87	写真パネル 旧アメリカ領事館のカブキ門	昭和31年(1956)	長崎歴史文化博物館	県書 18 1283 1-6
88	写真パネル 旧イギリス領事館裏の煉瓦造り	昭和31年(1956)	長崎歴史文化博物館	県書 18 1283 1-7
89	写真パネル 露国領事館職員写真		長崎歴史文化博物館	市博 D151
90	写真パネル 絵葉書・長崎港ニ於ケル汽船石炭積込の景		長崎歴史文化博物館	市博 絵葉書(長崎) 669,670,675,676
91	写真パネル 絵葉書・長崎税関新築庁舎平面図		長崎歴史文化博物館	市博 絵葉書(長崎) 380-3
92	写真パネル 新庁舎全景 長崎税関		長崎歴史文化博物館	市博 絵葉書(長崎) 1351
93	旧長崎税関所瓦	明治6年(1873)	長崎歴史文化博物館	県美博 Fイ0022
94	写真パネル 長崎税関所属火薬庫写真		長崎歴史文化博物館	県書 3 75
95	写真パネル 長崎税関大波止場写真		長崎歴史文化博物館	県書 18 264 16
96	写真パネル 印鑑簿 長崎県	明治5年(1872)	長崎歴史文化博物館	県書 13 85-1
97	写真パネル 阿片吸飲禁止の達	明治元年(1868)	長崎歴史文化博物館	県書 14 414 68

No	資料名	年代	所蔵先	資料番号
東山手・南山手のくらし				
98	写真パネル 外国人居留地図(吉田家文書@83)	慶応元年(1865)頃	長崎歴史文化博物館	県書 3 792
99	写真パネル グラバー商会耕作良種奇雀糞	明治2年(1869)	長崎歴史文化博物館	市博 貿易20
100	古田商店御手引ラムネ瓶		長崎市	
101	BANZAI清涼飲料水のラムネ瓶		長崎市	
102	石炭掴み(マントルピース用)		長崎市	
103	衝立(マントルピース用)		長崎市	
104	百科事典棚		長崎市	
105	煙草ケース		長崎市	
106	傘立て帽子掛け		長崎市	
107	R・N・ウォーカー商会看板		長崎市	
108	二段小物入れ		長崎市	
109	鹿のはく製		長崎市	
110	鏡付タンス		長崎市	
111	ティーテーブル		長崎市	
112	鏡台付飾り棚		長崎市	
113	書斎机		長崎市	
114	飾り棚		長崎市	
115	鏡台		長崎市	
香港上海銀行長崎支店の建築家 下田菊太郎				
116	香港上海銀行長崎支店(模型)		長崎市	
117	銀行の営業室(ジオラマ)		長崎市	
118	香港上海銀行発行の紙幣		長崎市	
119	香港上海銀行発行の貨幣		長崎市	
120	秤量 馬蹄銀		長崎市	
121	香港上海銀行印・呉支店(複製)		長崎市	
122	香港上海銀行ヘッド付便箋に書かれた書類	明治27年(1894)	長崎市	
123	ディレクター & クロニクル		長崎市	

1 調査研究

長崎学の継承とさらなる発展のために、長崎県内の中核博物館として、県内外および国内外の研究者、関係機関と連携して以下のような調査研究を行った。

(1) 長崎学に関する調査研究

①長崎の美術工芸に関する研究

○展示

- ・特集展示「長崎の浮世絵」(3月18日(水)～5月17日(日))※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月10日(金)～5月24日(日)まで臨時休館)に関わる調査(担当:長岡枝里)
- ・収蔵品展「大変身!!れきぶん ビフォーアフター」(7月18日(土)～8月30日(日))に関わる調査(担当:長岡枝里)
- ・特集展示「つるツル展」(12月23日(水)～2021年2月14日(日))に関わる調査(担当:長岡枝里)

○講座・研究紀要

- ・研究紀要「長崎の唐絵目利と御用絵師 再考」錦織亮介氏(北九州市立大学名誉教授)

○作品調査

- i) 場 所: 江崎べっ甲店
実施日: 6月24日(水)
調査資料: べっ甲製茶棚、鳥籠
調査者: 長岡枝里、矢田純子
内 容: 江崎べっ甲店製作のべっ甲製品の調査を行った。
- ii) 場 所: 今宮神社
実施日: 11月5日(木)
調査資料: 若杉五十八筆《蘭船図》
調査者: 長岡枝里
内 容: 若杉五十八が描いた洋画の調査を行った。
- iii) 場 所: 南蛮文化館
実施日: 1月28日(木)
調査資料: 南蛮漆器ほか、長崎関係資料
調査者: 長岡枝里・矢田純子
内 容: 南蛮漆器を中心に、企画展「長崎開港450周年記念展」に向けて同館が所蔵する南蛮文化の資料の調査を行った。

②日中交流史に関する研究

○展示

- ・収蔵品展「あれもこれも黄檗!?展」(10月14日(水)～11月23日(月祝))に関わる調査(担当:長岡枝里)

○講座

【あれもこれも黄檗!?展関連講座】

- ・長崎学講座エキスパート「たどるとわかる黄檗美術—黄檗来鳳とは誰か?—」(10月24日(土))長岡枝里
- ・アクロス文化学び塾「長崎の黄檗—「黄檗ショック」はここから始まった—」(アクロス福岡 10月31日(土))長岡枝里
- ・長崎学講座スタンダード「地域文化財と博物館—唐寺調査の事例から—」(11月22日(日))長岡枝里

③西洋との交流に関する研究

○展示

- ・特集展示「水・陸・空 いきものパビリオン」(7月22日(水)～9月13日(日))に関する調査(担当:矢田純子)
- ・特集展示「金唐革の世界」(11月18日(水)～12月20日(日))に関する調査(担当:矢田純子)
- ・企画展「長崎開港450周年記念展」(令和3年4月～6月開催)に向けた調査(担当:矢田純子、長岡枝里)

○資料調査

- i) 場 所: 広島県立歴史博物館
実施日: 6月27日(土)
調査者: 矢田純子
調査資料: 万国人物図・レザノフ屏風・瓊浦筆記
内 容: 17世紀前半の日本での世界認識がわかる資料や、19世紀長崎での異国船来航を巡る動きがわかる資料を閲覧した。
- ii) 場 所: 神戸市立博物館
実施日: 11月6日(金)
調査資料: 南蛮漆器ほか、長崎関係資料
調査者: 長岡枝里・矢田純子
内 容: 同館が所蔵する長崎の港やオランダ船、唐蘭館の様子を描いた作品の調査を行った。
- iii) 場 所: 福岡市博物館
実施日: 11月26日(木)
調査資料: 天正遣欧使節記、出島青貝細工、オランダ東インド会社文入りナイフほか

調査者：長岡枝里・矢田純子
内容：同館所蔵の西洋や日蘭交流関係資料の作品調査を行った。

iv) 場所：京都大学総合博物館
実施日：11月27日(金)
調査資料：キリシタン大名書簡
調査者：矢田純子
内容：16世紀後半の西洋との交流の様子がうかがえる、大村純忠、大友宗麟、有馬晴信の書簡を調査した。

v) 場所：一関市博物館
実施日：1月26日(火)
調査者：矢田純子
調査資料：川原慶賀筆「長崎港図」、「出島図」
内容：川原慶賀の作品の調査と一関藩出身の大槻玄沢に代表される蘭学者の状況を調査した。

④近世長崎に関する研究

○展示

- ・「くち三八六年展」(9月2日(水)～10月11日(日))に関する調査(担当：矢田純子)
- ・特集展示「長崎奉行所展」(2月17日(水)～5月16日(日))に関する調査(担当：矢田純子・長岡枝里)

○講座・研究紀要

- ・長崎学講座エキスパート「近世長崎と日田 その式」(6月13日(土))矢田純子
- ・長崎学講座スタンダード「人口」から見る近世の長崎」(12月12日(土))矢田純子
- ・長崎学講座スタンダード「長崎奉行所を掘る－立山役所と西役所の発掘成果から－」(3月14日(日))川口洋平氏(長崎県世界遺産課/学芸文化課)
- ・研究紀要「フェートン号事件後の長崎海防と身分秩序」深瀬公一郎氏(法政大学沖縄文化研究所)
- ・研究紀要「近世長崎における大名長崎屋敷の交際と地役人」岡本健一郎氏(京都鉄道博物館学芸員)
- ・研究紀要「(史料翻刻)文化五辰年 諸用日記」岡本健一郎氏(京都鉄道博物館学芸員)、深瀬公一郎氏(法政大学沖縄文化研究所)、矢田純子

○資料調査

- ・近世都市長崎に関する研究

i) 場所：九州大学附属図書館
実施日：12月4日(金)、2月22日(月)
調査者：矢田純子
調査資料：(12月)古賀文庫「長崎割記」、松木文庫「寛永十九年平戸町人別生所札」、長沼文庫「長崎交商一件」ほか
(2月)「籌海図編」、宇土細川家文書ほか
内容：古賀十二郎旧蔵の古文書類や長崎平

戸町乙名関係の資料(12月)と長崎開港前後や寛文の長崎大火に関する文書(2月)を閲覧した。

ii) 場所：鹿児島県立図書館
実施日：12月24日(木)
調査者：矢田純子
調査資料：長崎交商一件
内容：九州大学附属図書館所蔵の長沼文庫「長崎交商一件」の原本資料を調査した。

・近世長崎や周辺地域の遺跡からの発掘資料の調査
調査者：矢田純子、協力：川口洋平氏(長崎県世界遺産課/学芸文化課)(i)・ii)共通)

i) 長崎市中の遺跡からの出土品の調査

(a) 場所：長崎県埋蔵文化財センター
実施日：1月13日(水)
調査資料：長崎奉行所立山役所跡、桜町遺跡、栄町遺跡出土品
内容：特集展示「長崎奉行所展」に向けて、長崎奉行所立山役所跡で発掘された出土品を調査した。

(b) 場所：長崎市埋蔵文化財整理所
実施日：3月1日(月)
調査資料：深堀遺跡、興善町遺跡、万才町遺跡出土品
内容：長崎開港以前の長崎での海外交流や、開港後間もない時期の長崎の様子をうかがい知ることができる発掘遺物を調査した。

ii) 長崎周辺(大村・平戸・佐世保)の遺跡の出土品の調査

(a) 場所：大村市歴史資料館
実施日：2月17日(水)
調査資料：三城城跡、坂口館跡の出土品
内容：長崎の町建てに関わった大村純忠やその家臣の屋敷跡から出土した花十字瓦やタイ陶磁を調査した。

(b) 場所：佐世保市博物館島瀬美術センター
実施日：2月19日(金)
調査資料：針尾城跡出土品
内容：長崎開港以前、横瀬浦での交易の様子がわかる中国陶器やタイ陶磁を調査した。

(c) 場所：平戸市
実施日：2月26日(金)
調査資料：平戸港(平戸和蘭商館跡)出土品
内容：16世紀後半、長崎開港前後、平戸での海外との交易の様子を物語る東南アジア陶磁、中国磁器を中心に調査した。

⑤幕末・近代の長崎に関する研究

○展示

- ・「くunchi三八六年展」(9月2日(水)～10月11日(日))に関する調査(担当:矢田純子)
- ・トピック展示「病と闘う」(5月25日(月)～7月19日(日))に関する調査(担当:長岡枝里・矢田純子)

○資料調査

- i) 場 所:長崎県(個人宅)
- 実 施 日:11月22日(日)、29日(日)
- 調 査 者:矢田純子
- 調査資料:地役人の唐船掛宿町筆者関係資料
- 内 容:長崎地役人(唐船掛宿町筆者)を務めた人物の幕末～明治期の記録(日記や分限帳)約180点を調査した。

(2)博物館教育に関する調査研究

- 博物館における学習の効果や教育プログラムの内容・方法について、調査・研究を行った。
- ・県内小中高特別支援学校教員との共同研究(パートナーズプログラム)の開催
 - ・パートナーズプログラム参加教員との研修会(史跡めぐり等)の開催

2 調査研究活動

1) 個別調査・研究

長崎学については近世の長崎を中心に、調査・研究を行った。

2) 調査・研究成果の公表

『研究紀要』第15号

3) 館外活動

久保憲司

○講師

- ・長崎純心大学非常勤講師「博物館資料保存論」

矢田純子

○講師

- ・長崎大学非常勤講師「長崎地域学」

大塚俊司

○講師

- ・放送大学「資料からわかる前近代の長崎港」(放送大学長崎学習センター)12月19日(土)

○資料調査参加

- ・長崎県文化観光国際部世界遺産課主催「長崎かくれキリシタン信仰用具民俗文化財調査」(浦上天主堂)6月22日(月)・23日(火)、(長崎純心大学博物館)9月17日(木)

長岡枝里

○講師

- ・長崎大学地域文化研究会「博物館と地域文化財」9月23日(水)※オンライン発表

出口幹子

○講師

- ・長崎純心大学非常勤講師「博物館教育論」

松岡めぐみ

○執筆

- ・「ミュージアムキャラクターの創造と活用ーにゃがさき・れきブン普及への道」(『博物館研究』2021年1月号)

3 資料修理修復事業

○美術工芸・歴史資料

令和2年度に修復などを行った美術工芸・歴史資料は7件（25点）。大型資料については複数年計画で修復を実施した。

令和2年度の修復作品

No	所有者	番号	作品名	員数	単位	作者	時代	材質	現状	修復仕様	請負業者
1	長崎県	Dイ1,10,11,16,18,19,20,23	刀	9	点				定期的な手入れが必要	手入れ（3ヶ月ごと）	今川泰靖
2	長崎市	刀剣1～10	刀剣	10	点				定期的な手入れが必要	手入れ（3ヶ月ごと）	今川泰靖
3	長崎市	市博歴史資料船舶13	清水寺末次船絵馬下絵（2年計画のうち2年目）	1	舗		江戸時代	紙本 淡彩	保存のため折りたたんでいた折り目から損傷が発生。本紙表面にはホコリが付着し、虫損・シミ・欠損箇所を確認。	膠水溶液で剥落止めを行い、本紙の関節洗浄をする。各本紙の継ぎ直しを行い、虫損箇所には似寄の和紙で補修する。本紙周囲に楮紙で「手紙」を付ける。肌裏、増裏を行う。紙管に巻き、中性紙製保存箱に収納。	宇佐美修徳堂
4	長崎市	画像（長崎）46	高祖呉一官像	1	幅	画家不詳、木庵賛	江戸時代	絹本 着色	本紙に著しく横折れ、虫損、擦れが生じている。本紙全体にホコリ、白カビ痕が付着。修理痕あり。黄色シミ、絵具の剥落が発生している。経年劣化により褐色化している。保存箱なし。	膠水溶液にて剥落止めを行い、本紙を間接洗浄する。本紙表面保護のため、布海苔で表打ちを行う。折れには折り伏せを施す。紺色の彩色されている繕い絹は再利用する。肌裏打ち、増裏打ち、総裏打ちを行う。三段表具とし、保存箱は太巻き仕様のため新調。	宇佐美修徳堂
5	長崎市	市博地図資料図110	寛永長崎港図	1	幅		明治17年	紙本 着色	本紙全体に著しく横折れが生じ、ホコリが付着している。修理痕あり。本紙絹が剥落し、経年劣化により褪色。軸首は絹で処理されている。	膠水溶液にて剥落止めを行い、本紙を間接洗浄する。本紙表面保護のため、布海苔で表打ちを行う。折れには折り伏せを施す。肌裏打ち、増裏打ち、総裏打ちを行う。袋表具とし、保存箱は太巻き仕様のため新調。	宇佐美修徳堂
6	長崎県	Cイ0130	即非如一筆「如意妙莊嚴」	1	幅	即非如一	江戸時代	紙本 墨書	本紙全体に著しく横折れが生じ、ホコリが付着している。修理痕あり。	膠水溶液にて剥落止めを行い、本紙を間接洗浄する。本紙表面保護のため、布海苔で表打ちを行う。折れには折り伏せを施す。肌裏打ち、増裏打ち、総裏打ちを行う。三段表具とし、保存箱は太巻き仕様のため新調。	宇佐美修徳堂
7	長崎県	Cイ0129	劉宣義書額「翫賞確箴」	1	面	劉宣義	江戸時代前期	紙本 墨書	本紙に全体にホコリが付着。水分によるシミ、変色。本紙右上部分が欠損。外縁は経年劣化のための錆が生じている。	膠水溶液にて墨のカ所に剥落止めを行い乾燥の上、本紙の間接洗浄を行う。保護のため布海苔で表打ち。欠損箇所には似寄の和紙で繕う。薄美濃紙で肌裏打ち、美栖紙で増裏打ち。額の下地は新調する。平額でマットは古色の金砂子。外縁も新調。中性紙の保存箱を新調し収納。	宇佐美修徳堂
8	長崎県	県書 3 213-2	露西亞船渡来二付港外警備ノ図 オランダ阿蘭陀パレンバン号	1	舗		江戸後期	紙本 淡彩	保存のため折りたたんでいた折り目から損傷が発生。本紙表面にはホコリが付着し、虫損・シミ・欠損箇所を確認。	膠水溶液で剥落止めを行い、本紙の関節洗浄をする。各本紙の継ぎ直しを行い、虫損箇所には似寄の和紙で補修する。本紙周囲に楮紙で「手紙」を付ける。肌裏、増裏を行う。紙管に巻き、新調の中性紙製保存箱に収納。	宇佐美修徳堂
9	長崎県	県書 3 210-3	長崎港外警備図（2年計画のうち1年目）	1	舗		江戸後期	紙本 淡彩	保存のため折りたたんでいた折り目から損傷が発生。本紙表面にはホコリが付着し、虫損・シミ・欠損箇所を確認。	膠水溶液で剥落止めを行い、本紙の関節洗浄をする。各本紙の継ぎ直しを行い、虫損箇所には似寄の和紙で補修する。本紙周囲に楮紙で「手紙」を付ける。肌裏、増裏を行う。紙管に巻き、新調の中性紙製保存箱に収納。	宇佐美修徳堂

○古文書資料

令和2年度に修復した古文書資料は88点（長崎県所蔵資料40点、長崎市所蔵資料48点）。

修理は劣化がひどいものについては裏打ち、軽微なものは部分修理を実施し、できるだけ資料の原型維持に努めた。

令和2年度古文書修復実績

長崎県所蔵分

作業順	資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
1	第二部事務簿 教員進退之部 明治四十年自十一月至十二月	長崎県	県書 11 430 6	726	裏表紙は水濡れで綿状劣化しているため、灰汁で洗浄後裏打ち
2	会計課主計係事務簿 諸勘定之部 拾遺全明治十二年	長崎県	県書 11 494-2	353	ページの綴じ間違い。解体して閉じ直した
3	官省往翰 庶務課事務簿 明治七年	長崎県	県書 14 661-1	349	ページの綴じ間違い。解体して閉じ直した
4	郷村記 面高村	長崎県	県書 13 1-1 55	62	ページの綴じ間違い。解体して閉じ直した
5	長崎県大百科事典	長崎県	県書 19 115 9	1050	背の破損のため黒谷和紙厚手に糊つけして補強した
6	蒹葭集	長崎県	県書 ミ12 66	40	虫喰い穴を食い裂き紙にて繕い修理
7	神代巻聞書	長崎県	県書 ハ11 251	28	虫喰いがひどく、汚れシミあり、解体後裏打ち処置
8	神道祓禊類典	長崎県	県書 ハ11 255	18	虫喰いがひどく、汚れシミあり、解体後裏打ち処置
9	御家流手鑑 下 呼子屋蔵	長崎県	県書 ハ14 219	14	虫喰いがひどく、汚れシミあり、解体後裏打ち処置
10	増富組諸用向手控	長崎県	県書 ハ17 4	27	虫喰い箇所の部分修理。綴じ糸切れ
11	崎陽尹松平石州紀行（弘化2年跋）	長崎県	県書 テ13 90	8	カビと劣化が著しく、灰汁に浸潤後裏打ち処置
12	師鑑抄 下 人事卷五、六 寛永17年	長崎県	県書 ト16 1 9	17	虫喰い甚大の為 裏打ち処置
13	旧三潞県引継書類 明治9年	長崎県	県書 14 523-2	95	酸性紙表紙の劣化と水濡れにより虫喰い甚大の為裏打ち処置
14	旧三潞県並元佐賀県引継書類十七冊入県令交代引継書類	長崎県	県書 14 524-1	107	本紙後方は虫喰いが多いが虫喰い穴の繕い。酸性紙表紙の劣化
15	第二課事務簿 外国人居留地ノ部 明治28年中	長崎県	県書 14 547-2 5	307	大きさが不揃いの丁が多いので表紙を元の寸法より大きくした
16	掌中傷寒論 元治改元冬 三宅貞幹写	長崎県	県書 ニ15 46-2	64	表紙の汚れ、げっ歯目（ネズミ）と思われるかじった跡があるので灰汁に浸潤後裏打ち処置
17	名寄帳 乙号	長崎県	県書 フ13 2 2	196	表紙の汚損を灰汁に浸潤後裏打ち処置
18	長崎県商工人名録 昭和13年版	長崎県	県書 チ17 3	刊本	表紙がはずれかけているので黒谷和紙厚手で背の修理をした
19	枕草子春曙抄 六	長崎県	県書 ミ12 63 6	24	虫喰い穴の繕い、題簽に糊差し、綴じ糸切れ
20	枕草子春曙抄 七	長崎県	県書 ミ12 63 7	28	虫喰い穴の繕い、題簽に糊差し、綴じ糸切れ
21	枕草子春曙抄 八	長崎県	県書 ミ12 63 8	26	虫喰い穴の繕い、題簽に糊差し、綴じ糸切れ
22	枕草子春曙抄 九	長崎県	県書 ミ12 63 9	30	虫喰い穴の繕い、題簽に糊差し、綴じ糸切れ
23	枕草子春曙抄 十	長崎県	県書 ミ12 63 10	28	虫喰い穴の繕い、題簽に糊差し、綴じ糸切れ
24	枕草子春曙抄 十一 延宝二年	長崎県	県書 ミ12 63 11	26	虫喰い穴の繕い修理、題簽に糊差し、綴じ糸切れ
25	枕草子春曙抄 十二 延宝二年 甲寅七月十七日	長崎県	県書 ミ12 63 12	24	後表紙のみ、劣化の為裏打ち処置。虫喰い穴の繕い
26	出島復元 和蘭商館跡出島会館建設方陳情書	長崎県	県書 ヘ14 945	5	酸性紙の酸性劣化。灰汁に浸潤後黒谷和紙で表紙作成
27	松平図書頭を弔ふの夕 長崎観光会昭和14年	長崎県	県書 ヘ13 684	4	酸性紙の酸性劣化。灰汁に浸潤後黒谷和紙で表紙作成
28	長崎水道論 断簡	長崎県	県書 ヘ14 944	9	酸性紙の酸性劣化。灰汁に浸潤後黒谷和紙で表紙作成
29	野母半島臨地調査フレンドノート 横山秀一	長崎県	県書 ヘ15 107	5	酸性紙の酸性劣化。灰汁に浸潤後黒谷和紙で表紙作成
30	野母半島地質概説	長崎県	県書 ヘ15 108	3	酸性紙の酸性劣化。灰汁に浸潤後黒谷和紙で表紙作成

作業順	資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
31	野母半島巡見案内	長崎県	県書 へ13 685	2	酸性紙の酸性劣化。灰汁に浸潤後黒谷和紙で表紙作成
32	県書行政文書の表紙の芯紙断簡	長崎県	県書 14K 4150	10	断簡なので、大きさが不揃い。裏打ち後こよりで仮綴じた
33	鎮懐石八幡宮由緒書	長崎県	県書 へ11 4	8	謄写版原紙の劣化・裏打ち後黒谷和紙で表紙作成
34	高谷家由緒書 相勤ル代々覚	長崎県	県書 へ13 106	28	謄写版原紙の劣化・裏打ち後黒谷和紙で表紙作成
35	隣組編成表並組員及登録船名簿昭和17年	長崎県	県書 17K 2600	152	酸性紙の酸性劣化。灰汁に浸潤後黒谷和紙で表紙作成
36	崇福寺の住持世代について	長崎県	県書 11 328	3	酸性紙の酸性劣化。灰汁に浸潤後黒谷和紙で表紙作成
37	崇福寺の住持世代について	長崎県	県書 11 328	3	酸性紙の酸性劣化。灰汁に浸潤後黒谷和紙で表紙作成
38	長崎方言の諸問題 西島宏	長崎県	県書 へ11 231	3	酸性紙の酸性劣化。灰汁に浸潤後黒谷和紙で表紙作成
39	長崎方言の諸問題 西島宏	長崎県	県書 へ11 231	3	酸性紙の酸性劣化。灰汁に浸潤後黒谷和紙で表紙作成
40	浦上第二外国人墓地 北側墓地	長崎県	県書 へ13 686	3	謄写版原紙の劣化・裏打ち後黒谷和紙で表紙作成

長崎県所蔵資料修理 計40点

長崎市所蔵分

作業順	資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
1	魚づくし	長崎市	市博 版(日本) 56	1	濡れた形跡あり。折れ、劣化、のため灰汁に浸潤後裏打ち処置
2	佐州西三川砂金山絵図	長崎市	市博 図107	1帖	継ぎ紙の糊浮きのためはずれかけている。糊差し
3	絵踏宗門関係古文書 大村藩西彼キ	長崎市	市学 70-0	43	スクラップブックより全資料をはずした
4	病人宿割帳 嘉永五年子三月	長崎市	市学 70-1	3	シワを伸ばし、部分的な虫喰い穴は繕い修理
5	右九人之者共=疫病=付 御役御免	長崎市	市学 70-2	1	スクラップブックに貼付してあったのをはずして折れシワを伸ばした
6	書簡 奉伺 井石作右衛門・田嶋要左衛門宛	長崎市	市学 70-3	2	包み紙と本紙共に汚れしみがひどく灰汁で洗浄後繕い修理
7	小御目付中様への御届け	長崎市	市学 70-4	1	折れシワを伸ばして、シミの部分の手当をした
8	書簡 井手條右衛門・平野永左衛門宛	長崎市	市学 70-5	継紙2	部分的な虫喰い穴は似合いの紙で穴の繕い修理をした。
9	書簡 井手條右衛門宛	長崎市	市学 70-6	継紙2	虫喰い穴が多かったので裏打ち処置
10	宗門関係 小七郎家内	長崎市	市学 70-7	2	似合いの紙で虫喰い穴の繕い修理と折れくせの直し
11	断簡	長崎市	市学 70-8	1	横長帳。折れシワは少し湿りを与えてコテで伸ばした
12	断簡	長崎市	市学 70-9	1	横長帳。折れシワは少し湿りを与えてコテで伸ばした
13	井手條右衛門より小御目付中宛の書簡	長崎市	市学 70-10	1	折れシワは少し湿りを与えてコテで伸ばした
14	写 御用井手條右衛門	長崎市	市学 70-11	1	虫喰いのため全体を裏打ち処置
15	書簡 村瀬善右衛門他より井手條右衛門他宛	長崎市	市学 70-12	2	継目の糊浮きによる離れには糊差し虫喰い穴の繕い修理
16	書簡 井手條右衛門・平野永左衛門宛森・・・	長崎市	市学 70-13	2	灰汁に浸漬後汚れの除去、包み紙は裏打ち処置
17	書簡 井手條右衛門宛 松尾又兵衛	長崎市	市学 70-14	2	継目の糊浮きには糊差し。虫喰い穴は似合いの紙で繕い修理
18	書簡 村瀬善右衛門他より井手條右衛門他宛	長崎市	市学 70-15	1	似合いの紙で虫喰い穴の繕い修理
19	井手條右衛門宛宗門方	長崎市	市学 70-16	2	継ぎ紙の糊浮き、虫喰い穴の繕い修理
20	書簡 井手條右衛門宛 松添郷左衛門	長崎市	市学 70-17	2	虫喰いのため全体を裏打ち処置
21	書簡 井手條右衛門宛 貞松晋左衛門	長崎市	市学 70-18	2	本紙包み紙共に似合いの紙で虫喰い穴の繕い修理
22	書簡 村瀬善右衛門他より原口源右衛門井手條右衛門宛	長崎市	市学 70-19	1	虫喰いのため全体を裏打ち処置
23	書簡 村瀬善右衛門水谷茂左衛門宛広瀬六平井手條右衛門	長崎市	市学 70-20	1	似合いの紙で虫喰い穴の繕い修理
24	庄司喜代助貴答吉田勝太夫	長崎市	市学 70-21	2	継ぎ紙の糊浮き、虫喰い穴の繕い修理
25	書簡 井手條右衛門平野栄左衛門宛宛て	長崎市	市学 70-22	2	継ぎ紙の糊浮き、虫喰いがひどく、裏打ち処置

作業順	資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備 考
26	書簡 井手條右衛門宛原口亀一	長崎市	市学 70-23	2	継ぎ紙の糊浮き、似合いの紙で虫喰い穴の繕い修理
27	條右衛門宛て	長崎市	市学 70-24	1	似合いの紙で虫喰いの繕い修理
28	書簡 井手條右衛門・庄司喜代助宛	長崎市	市学 70-25	2	継ぎ紙の糊浮き、虫喰い穴の繕い修理
29	書簡 井手條右衛門平野承右衛門宛	長崎市	市学 70-26	2	継ぎ紙の糊浮き、虫喰い穴の繕い、汚れシミを落とした
30	此者行違帳吟味候事	長崎市	市学 70-27	2	継ぎ紙の糊浮き、虫喰い穴の繕い、汚れシミを落とした
31	松原村旗組足輕中嶋安太郎家内法花宗・・・・	長崎市	市学 70-28	2	虫喰いがあり、シミを落とした後に裏打ち処置
32	小御目附中様宛井手條右衛門宛	長崎市	市学 70-29	2	虫喰いがあり、シミを落とした後に裏打ち処置
33	小比賀慎八様御越御吟味書付写候外二後書袋入	長崎市	市学 188	14	汚れ、虫喰いのため裏打ち処置
34	野母全図	長崎市	市学 190	1	虫損甚大・酸性紙袋入り。脱酸処置後裏打ち
35	南京丁酉當番牌主沈養對怡該販銀額配銅之數	長崎市	市博 聖堂660-182	1	虫損が多いため裏打ち処置
36	寧波丁酉年當番牌主伊啓成該販銀額配銅之數	長崎市	市博 聖堂660-183	1	虫損が多いため裏打ち処置
37	咬咄吧戊辰年當 吳行義所販銀額配銅之例	長崎市	市博 聖堂660-49	1	虫損多数。洗浄・乾燥・シワ伸ばし後薄美濃染紙で部分修理
38	南京丙子年當番牌主丁孝基該販銀額配銅之數	長崎市	市博 聖堂660-50	1	虫損多数。洗浄・乾燥・シワ伸ばし後薄美濃染紙で部分修理
39	寧波丙子年當番牌主何君挺該販銀額配銅之數	長崎市	市博 聖堂660-51	1	下部に大きなヤブレあり、薄美濃染紙で部分修理
40	南京丙子年當番牌主鄭興諸該販銀額配銅之數	長崎市	市博 聖堂660-52	1	下部に大きなヤブレあり、薄美濃染紙で部分修理
41	南京丙子年當番牌主貝三餘該販銀額配銅之數	長崎市	市博 聖堂660-53	1	ヤブレと虫損があり、洗浄、乾燥後薄美濃染紙で部分修理
42	寧波丁丑年當番牌主林君□該販銀額配銅之數	長崎市	市博 聖堂660-54	1	虫損多数。洗浄・乾燥・シワ伸ばし後薄美濃染紙で部分修理
43	廣東丙子年當番牌主林錦成該販銀額配銅之數	長崎市	市博 聖堂660-55	1	下部にヤブレあり、薄美濃染紙で部分修理
44	東埔癸戌年當番牌主邸亦昭該販銀額配銅銀額配銅之數	長崎市	市博 聖堂660-58	1	虫損多数。洗浄・乾燥・シワ伸ばし後薄美濃染紙で部分修理
45	南京巳卯年當番牌主季亦聖該販銀額配銅之數	長崎市	市博 聖堂660-59	1	虫損多数。洗浄・乾燥・シワ伸ばし後薄美濃染紙で部分修理
46	寧波癸未年當番牌主郭利魁該販銀額配銅之數	長崎市	市博 聖堂660-63	1	下部にヤブレ、シミあり、薄美濃染紙で部分修理
47	廈門乙酉年當番牌主武泰源該販銀額配銅之數	長崎市	市博 聖堂660-69	1	虫損多数、下部にシミあり、薄美濃染紙で部分修理
48	安政二年 稻荷社安鎮之証書祭文	長崎市	市博 神道19	2	本紙、包紙共に汚損、腐損、カビの発生により劣化著しい。灰汁に浸漬後裏打ち処置

長崎市所蔵資料修理 計48点

4 資料の管理

1) 収蔵資料

収集に関する県の基本方針

- (1) 海外交流史に関する資料
- (2) 近世長崎の美術資料、工芸資料
- (3) 長崎奉行所に関する資料
- (4) 長崎文化に関する資料
(「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱」より)

収集に関する市の基本方針

- (1) 長崎における海外交流史に関する資料
- (2) 長崎奉行所に関する資料
- (3) 長崎の美術工芸資料
- (4) その他、市長が博物館の事業に必要と認めた資料
(「長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱」より)

収蔵資料点数 約81,000点

長崎県所有の資料 約48,000点

長崎市所有の資料 約33,000点

指定文化財

○国指定重要文化財

- 安政二年「日蘭条約書」
- 紙本著色泰西王侯図屏風六曲屏風
- 長崎奉行所関係資料 1,242点
- 絹本著色鯉魚跳龍門図

○長崎県指定文化財

- 刀・対州住長幸
- 刀・肥前国忠吉
- 青方文書
- 永島キク刀自絵像

○国認定旧重要美術品

- 紙本著色瀉血手術図
- 紙本著色南蛮人来朝図之屏風
- 紙本著色唐蘭館の図 2巻

日本化学遺産(公益社団法人日本化学会認定)

上野彦馬使用写真機

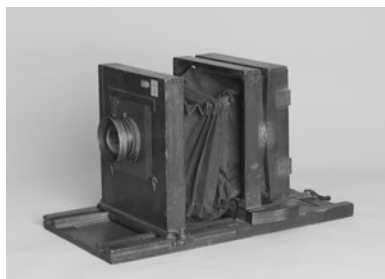
2) 資料及び画像の貸出管理

○画像貸出件数 総数519件(43.2件/月)

博物館関係機関	27
行政機関	83
マスコミ	103
出版関係	14
教育関係	169
その他	123
合計	519



▲紙本著色泰西王侯図屏風六曲屏風



▲上野彦馬使用写真機



▲絹本著色鯉魚跳龍門図

○資料貸出件数 4件 (30点)

No	展覧会名	会期	館名	貸出期間	資料名	資料番号
1	大分県立埋蔵文化財センター 企画展 大友氏の栄華Ⅳ 「BVNGO NANBAN 宗麟の 愛した南蛮文化」	令和2年 10月10日(土) ～12月13日(日)	大分県立埋蔵文化 財センター	令和2年 9月29日(火) ～12月18日(金)	1 天正遣欧使節訪問記 念メダル(グレゴリ ウス13世メダル)	県美博 Fイ0237
2	大村市歴史資料館開館1周年 記念及び長崎開港協定450周 年特別展「長崎開港」展	令和2年 10月17日(土) ～11月23日(月)	大村市歴史資料館	令和2年 10月14日(水) ～12月2日(水)	2 熊野氏系図証文譲状 写	県書 13K 3283-1
					3 長崎縁起略	市博 210-35
					4 長崎略縁起 上・下	市博 210-68
					5 続長崎鑑(延宝9年 辛酉6月)／写本	県書 へ13 147 2
					6 ウンスンカルタ	市博 民具12
					7 長崎図屏風・半双	市博 複製56
					3	長崎市文化観光部出島復元整 備室企画展「ジャパニーズ ビューティー展」
9 ギヤマン鼈甲簪	市博 ガラス103-1					
10 蒔絵筭(鼈甲台)	市博 珊瑚・鼈甲5					
11 金蒔絵櫛	市博 珊瑚・鼈甲7					
12 金蒔絵櫛(鼈甲台)	市博 珊瑚・鼈甲10					
13 鼈甲簪	市博 珊瑚・鼈甲21					
14 鼈甲簪	市博 珊瑚・鼈甲34					
15 蒔絵筭(鼈甲台)	市博 珊瑚・鼈甲39					
16 鼈甲筭	市博 珊瑚・鼈甲40					
17 櫛	市博 珊瑚・鼈甲44					
18 簪	市博 髪飾25					
19 簪	市博 髪飾27					
20 簪	市博 髪飾28					
21 簪	市博 髪飾29					
22 簪	市博 髪飾34					
4	長崎県美術館コレクション展 「三川内焼 薄手白磁の系譜」	令和3年 2月26日(金) ～5月9日(日)	長崎県美術館	令和3年 2月24日(水) ～5月11日(火)	23 染付薄手蓋付茶碗	県美博 Dハa0090
					24 染付菊文碗	県美博 Dハa0357
					25 染付菊鳳凰文碗皿	県美博 Dハa0360
					26 白磁蓋碗	県美博 Dハa0486
					27 染付草花文八角碗皿	県美博 Dハa0896
					28 色絵牡丹鳳凰文卵殻 手碗皿	県美博 Dハa0943
					29 染付秋草文蓋碗	県美博 Dハa0963
					30 色絵人物文コーヒー セット	県美博 Dハa1030

3) 新収蔵資料

長崎県収集資料

No	分類	資料名	作者・産地	製作年代	備考
1	絵画	長崎市中風俗、年中祭礼行事、鳥図アルバム	川原慶賀工房	江戸末期(1854～64)	購入資料
2	絵画	日本橋本石町長崎屋	画・葛飾北斎	享和2年(1802)	購入資料
3	歴史	ドミニコ会女性殉教者話集	ドミニコ会	1661年	購入資料
4	歴史	露国使節ブチャーチン長崎入港絵巻		江戸後期	購入資料
5	工芸	コンプラ瓶(2点)		幕末～明治時代	寄贈資料
6	郷土資料(古文書など)	医師平野家関係資料(計67点)		明治3～41年	寄贈資料
7	郷土資料(古文書など)	矢嶋七郎太関係資料(約180点)		江戸後期～明治期	寄贈資料

長崎市収集資料

No	分類	資料名	作者・産地	製作年代	備考
1	歴史	白丁(長崎くち関係衣装)			寄贈資料
2	工芸	鼈甲(茶棚、鳥かご)		大正時代	寄贈資料

5 資料公開事業

収蔵資料（古文書、絵図や美術工芸資料など162点（部分撮影を含む））の高精細画像での撮影、ミュージアムネットワークシステムへの登録やデータ更新（一部その準備）、資料閲覧室での画像データ閲覧の促進をはかった。

令和2年度 撮影資料リスト

No	資料番号	資料名	備考
1	県美博 A1口0105	水墨山水図	
2	県美博 A3ニ0018	ツーロン港	
3	県美博 A3ニ0019	宮殿	
4	県美博 A3ニ0020	教会と市場、デルフト	
5	県美博 Cハ0004	黄檗諸和尚消息	再撮影
6	県美博 Dチ0005	鳥籠	
7	県美博 Dチ0013	金唐草（金、水色、ターコイス、赤）（花卉、鳥）	
8	県美博 Dチ0048	金唐草（屏風）（金、黒、ターコイス、ピンク）（幾何学文様、花卉）	
9	県美博 Dチ0049	金唐草（金、水色、緑、赤）（花瓶、花卉）パネル	
10	県美博 Dチ0067	金唐草四曲一隻屏風	
11	県美博 Dハa0198	染付唐船図燗瓶	
12	県美博 Dホ0001	南蛮人蒔絵硯箱	
13	県美博 Fイ0019	陣笠（トンキョ帽）	
14	県美博 Fイ0023	荻野新流白砲	
15	県美博 Fイ0024	鉄翁禅師遺愛大硯	
16	県美博 Fイ0243	スミス&ウェッソン拳銃	
17～83	県書 B)11 171-1-48～118	切支丹史料48～118	
84	県書 B)14 40-4	外国船ヨリ密積卸取上品歩割被下残金之内ヨリ遣払口々元伺済織込帳	部分
85	県書 B)14 86-5	慶応元年 御申送り扣	部分
86	県書 B)14 93-2	風説書 嘉永4年～安政4年	部分
87	県書 B)14 134-5	阿蘭陀国条約並税則 安政5年	部分
88	県書 B)14 143-3	魯西亜条約追加規定書 安政4年	部分
89	県書 B)14 145-2	魯西亜国条約并税則 安政5年	部分
90	県書 B)14 146-3	亜墨利加国条約並税則 安政5年	部分
91	県書 B)14 149-3	仏蘭西国条約並税則 安政5年	部分
92	県書 B)14 152-2	英吉利国条約並税則 安政5年	部分
93	県書 B)16 1-2 1	埋地日記	部分
94	県書 11 109-2	関夫子経	
95	県書 13 34	寛永至宝永日記	部分
96	県書 13 106-2 3-1	西遊旅譚 卷之3	部分
97	県書 13 215 1	長崎土産	部分
98	県書 13 342-3 1	長崎開港記念会記録 第1回	
99	県書 13K 5824-8	備忘録 旧後興善町乙名末次家資料	部分
100	県書 13K 5824-9	〔清行備忘録〕 旧後興善町乙名末次家資料	部分
101	県書 13K 5824-13	由緒書 旧後興善町乙名末次家資料	
102	県書 14 415-6	鎮台交替之節 申送帳	部分
103	県書 14 540-3	清国修好条規 明治5年3月	
104	県書 2 169-1 1	The Nagasaki Express	部分
105	県書 3 1-4	高来郡深堀御崎脇津村	
106	県書 3 2-2 2	彼杵郡深堀郷図 深堀本村、大籠村、竿浦村	
107	県書 3 4-3	高来郡、彼杵郡図 為石村、布巻村、平山村図	
108	県書 3 15-3	大村図	
109	県書 3 19-1	諫早図	
110	県書 3 51-2	彼杵郡山里村御料及大村界絵図	
111	県書 3 72 1	出島写真	再撮影
112	県書 3 163-2	唐人屋鋪景	修復後再撮影
113	県書 3 568 1	長崎開港400年祭 ポスター	
114	県書 3 908	肥前長崎唐船入津の図	
115	県書 4 90	星目鏡	
116	県書 ア14 1 4	風説袋 地-2	部分
117	県書 ト15 10	浚方定法一式積帳、平田船打建并諸道具一切定方帳	
118	県書 ト16 29	湊定浚方日記 安永9年子6月	

No	資料番号	資料名	備考
119	県書 卜33	肥前国長崎湊大湊川浚御普請分間絵図 寛政3亥年	
120	県書 へ22	Bladen over Japan (『日本雜纂』)より出島図	
121	長崎県令和2年度新収蔵	長崎港略全図	
122	長崎県令和2年度新収蔵	浚関係手控〔浚刻限並捨刻限〕	
123	長崎県令和2年度新収蔵	ドミニコ会女性殉教者話集	部分
124	長崎県令和2年度新収蔵	露国使節プチャーチン長崎入港絵巻	
125	市博 絵(長崎)13-1	異国人物図	
126	市博 絵(長崎)13-2	異国人物図	
127	市博 絵(長崎)173-16	唐船持渡飼鳥図(類違碧鳥図 相思鳥図 沈香鳥図 碧鳥図 黄雀図)	
128	市博 絵(長崎)218	海港帆船図	
129	市博 絵(長崎)265-1	鉄翁他 王克三書 四君子図他屏風(右隻)	
130	市博 絵(長崎)265-2	鉄翁他 王克三書 四君子図他屏風(左隻)	
131	市博 絵(長崎)287-1	大友月湖 水月人物図屏風	
132	市博 絵(長崎)287-2	大友月湖 水月人物図屏風	
133	市博 絵(黄檗)8	大鵬 墨竹図屏風	
134	市博 絵(日本)8	河童図屏風(水虎晚婦之図)	
135	市博 画像(黄檗)10	木庵禪師像	修復後再撮影
136	市博 画像(長崎)37	開祖林公琰一官絵像	修復後再撮影
137	市博 画像(長崎)50	呉家先祖絵像	修復後再撮影
138	市博 画像(長崎)51	高祖呉一官絵像	修復後再撮影
139	市博 絵画類(資料)6	長崎蘆江画絵手本	
140	市博 陶(長崎)21	染付長崎港図瓶掛	
141	市博 工芸品(資料)2-1	黒川正栄自作硯控(上)	
142	市博 工芸品(資料)2-2	黒川正栄自作硯控(下)	
143	市博 くんち33	万屋町奉納踊船頭用煙管	
144	市博 神道5	諏訪神社百手神事図	
145	市博 絵26	日本中古戦船図 外車船	
146	市博 絵32	日本中古戦船図 小早船	
147	市博 絵50	御朱印船図	
148	市博 記念祝賀会2	ニコライ皇太子昼食会御献立	
149	市博 天文学11	星鏡	
150~155	市博 外交1~6	外交文書	
156	市博 図98	大浦方面埋立関係略図	修復後再撮影
157	市博 図187	醫學校境内全圖	修復後再撮影
158	市博 210-35	長崎縁起略	部分
159	市博 310 103 1	令達書写	部分
160	市博 510-7	浚方諸書留	部分
161	長崎市令和2年度新収蔵	べっ甲(鳥籠台・鳥籠)	
162	長崎市令和2年度新収蔵	べっ甲(茶棚)	

6

長崎学・生涯学習支援事業

1 事業概要

本事業は、長崎県の歴史と文化について理解を深める長崎学とともに、県民・市民に生涯を通じて博物館を利用してもらうため、子どもから高齢者まで、成長段階に応じた様々な生涯学習プログラムを提供することを目的としている。

2 一般向け事業

○れきぶん長崎学講座スタンダード

長崎の歴史文化や美術に関する研究の成果を広く公開し、郷土の歴史に対する県民・市民の関心と理解を深めること、生涯学習の促進及び長崎学の発展を主な目的とする講座を行った。

No	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	6月21日(日) 14:00~15:30	1階ホール	開港以前の長崎と長崎氏	大塚俊司(当館研究員)	23名
2	9月26日(土) 14:00~15:30		長崎奉行の外交文書	松尾晋一氏(長崎県立大学教授)	27名
3	11月22日(日) 14:00~15:30		地域文化財と博物館-唐寺調査の事例から-	長岡枝里(当館研究員)	25名
4	12月12日(土) 14:00~15:30		「人口」から見る近世の長崎	矢田純子(当館研究員)	25名
5	2月14日(土) 14:00~15:30		『寛文長崎図屏風』に描かれた国際貿易都市の姿	深瀬公一郎氏(法政大学沖縄文化研究所) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	—
6	3月14日(日) 14:00~15:30		長崎奉行所を掘る-立山役所と西役所の発掘成果から-	川口洋平氏(長崎県世界遺産課/学芸文化課課長補佐)	29名

○長崎学講座エキスパート

当館研究員が中心となって、常設展示に関連した古文書等の原資料や収蔵資料を通して、長崎学講座をより専門的に掘り下げた講座を行った。

No	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	6月13日(土) 10:30~12:00	1階ホール	近世長崎と日田(その弐)	矢田純子(当館研究員)	13名
2	10月24日(土) 10:30~12:00		たどるとわかる黄檗美術-黄檗来風とは誰か?-	長岡枝里(当館研究員)	18名
3	3月27日(土) 10:30~12:00		戦国時代中期の有馬氏(続)	大塚俊司(当館研究員) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1月23日(土)から振替。	18名

○れきぶん文化財セミナー

文化財に精通した館内外の専門家による博物館資料の保存修復等についての講座を実施した。

No	日時	会場	テーマ	引率	参加者
1	11月7日(土) 10:00~11:30	1階講座室	長崎の世界遺産:教会堂の様式と空間	日高健一郎氏(筑波大学名誉教授)	14名
2	11月21日(土) 10:00~11:30		70年前に描かれた油絵を観察してみよう! どこが傷んでいるのか?なぜ傷むのか?	竹ノ下磨須子氏(絵画修復のためのした工房代表)	11名
3	11月28日(土) 10:00~12:00		古文書の修復を体験してみよう!	富川敦子(当館研究員) 久保憲司(当館研究員)	12名

○これから始める古文書講座（初級）

歴史研究の基礎となる古文書に興味・関心を持ってもらうとともに、その解読方法の習得を主な目的として実施した。

No	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	6月7日(日) 14:00～15:30	1階ホール	古文書史料を読み解く①[初級]	矢田純子（当館研究員）	15名
2	7月5日(日) 14:00～15:30		古文書史料を読み解く②[初級]	大塚俊司（当館研究員）	23名
3	7月26日(日) 14:00～15:30		古文書史料を読み解く③[初級]	矢田純子（当館研究員） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 5月10日(日)分を振替。	18名

○もっと読みたい古文書講座（中級）

古文書を読んだ経験のある方を対象に、解説方法の習得を主な目的として実施した。

No	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	8月23日(日) 14:00～16:00	1階ホール	古文書史料を読み解く①	矢田純子（当館研究員）	32名
2	9月27日(日) 14:00～16:00		古文書史料を読み解く②	矢田純子（当館研究員）	31名
3	11月8日(日) 14:00～16:00		古文書史料を読み解く③	矢田純子（当館研究員）	33名
4	12月20日(日) 14:00～16:00		古文書史料を読み解く④	矢田純子（当館研究員）	34名
5	3月7日(日) 13:00～16:30		古文書史料を読み解く⑤⑥	矢田純子（当館研究員） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 1月17日(日)、2月21日(日)から振替。	33名

○出張古文書講座

県北地域（佐世保）の在住者を対象とした古文書講座を実施した。（受講料：1,000円）

No	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	8月2日(日) ①10:30～12:30 ②13:30～15:30	アルカス SASEBO 中会議室A	出張古文書講座 (①初級 ②中級)	初級：大塚俊司 中級：矢田純子（以上、当館研究員）	14名 18名

○アクロス文化学び塾

No	日時	会場	テーマ	講師	参加者
	10月31日(土) 14:00～15:30	アクロス福岡 セミナー室2	長崎の黄檗－「黄檗ショック」はここからはじまった－	長岡枝里（当館研究員）	68名

3 学校向け事業

○学校団体来館状況

		件数	人数
県内	小学校	101	3,715
	中学校	12	660
	高等学校	12	170
	特別支援学校	9	106
	学童保育	2	21
	幼稚園・保育園	0	0
	大学	3	60
	専門学校	1	21
	その他	1	12
県外	小学校	200	11,910
	中学校	67	2,055
	高等学校	53	1,651
	特別支援学校	0	0
	大学	0	0
	専門学校	1	11
	その他	1	15
合計		463	20,407

※人数は引率者を含む

○対応件数（職員及びボランティアスタッフによる来館時対応）

	県内	県外	合計
小学校	29	4	33
中学校	6	0	6
高等学校	2	0	2
特別支援学校	3	0	3
学童・放課後学級	0	0	0
幼稚園・保育園	0	0	0
大学	2	0	2
専門学校	1	0	1
その他	2	0	2

○協力校・パートナーズプログラム

博学連携事業として平成20年度に発足。研修会を開催し、当館を利用した授業の実践方法について情報交換をおこなっている。

〈参加者〉 15名

長崎市立晴海台小学校教諭
 長崎市立長浦小学校教諭
 聖マリア学院小学校教諭
 長崎市立坂本小学校教諭
 長与町立長与北小学校教諭
 長崎市立高尾小学校教諭
 長崎市立坂本小学校教頭
 長崎市立南陽小学校教諭

加藤尊城
 深堀昭三
 南部弥生
 植木幹大
 鈴山裕司
 谷口智也
 福田浩久
 田中英明

長崎市立高城台小学校教頭
 長崎市立桜馬場中学校教諭
 西海市立大崎中学校教諭
 長崎県立ろう学校佐世保分教室主幹教諭
 活水高等学校講師
 活水高等学校教諭
 長崎県文化振興課

中山美加
 松尾俊幸
 梅崎小百合
 河村徳明
 原口茂樹
 岩永崇史
 橋本正信

〈研修会内容〉

	日時	活動内容	参加者数
第1回	8月1日(土) 13:30~16:30	・活動及び現状報告 ・『大変身!!れきぶんビフォーアフター展』見学 ・クイズラリー、夏休みイベント評価	7名
第2回	12月12日(土) 13:00~16:30	・長崎大学教育学部蓄積型実習の成果発表会	10名
第3回	12月7日(月) 13:00~16:00	・史跡めぐり(長崎市浦上方面)	9名

○遠隔授業

県内の遠隔地にある学校を対象に、博物館と通信回線を使ったテレビ会議システムによる授業を行った。

実施日：令和2年9月24日(木)9:30~12:20

対象：壱岐市立郷ノ浦中学校2年生90名

テーマ：「蘭学と幕末長崎について」

講師：

博物館側)

出口幹子(教育グループ 司会進行)

学校側)

松岡めぐみ(教育グループ 進行補助)

実施日：令和2年9月29日(火)9:30~11:20

対象：新上五島町立上五島中学校2年生37名

テーマ：「江戸時代の長崎を知ろう」

講師：

博物館側)

松岡めぐみ(教育グループ 司会進行)

学校側)

古豊裕次朗(教育グループ 進行補助)

○出張授業

長崎県内の学校を対象に、所蔵資料の複製品や学習素材を学校に持ち込み、授業をおこなった。

No	日時	対象	テーマ	講師	参加者
1	6月17日(水) 11:05~11:50	長崎市立南陽小学校 6年生	地元の歴史を知ろう	橋本正信(長崎県文化振興課)、 出口幹子(当館研究員)	40名
2	6月30日(火) 10:25~11:10	県立希望が丘高等特別支 援学校 高校1年生	長崎へ飛び出そう	松岡めぐみ・出口幹子(当館研究員)	25名
3	7月6日(月) 10:40~12:30	佐世保市立吉井南小学校 6年生	長崎のよさ再発見	橋本正信(長崎県文化振興課)、 古豊裕次朗(当館研究員)	33名
4	8月31日(月) 9:10~10:50	東彼杵町立彼杵小学校6 年生	東彼杵町と長崎	橋本正信(長崎県文化振興課)、 出口幹子(当館研究員)	38名
5	9月16日(水) 13:05~14:45	県立西彼杵高等学校 2年生	西彼杵半島の魅力について	橋本正信(長崎県文化振興課)、 古豊裕次朗(当館研究員)	43名
6	9月29日(火) 13:30~15:45	東彼杵町立千綿小学校	東彼杵町と長崎	橋本正信(長崎県文化振興課)、 出口幹子(当館研究員)	17名
7	10月19日(月) 9:25~12:20	佐々町立口石小学校 6年生	長崎の歴史について	古豊裕次朗・松岡めぐみ(当館研究員)	91名
8	10月21日(水) 10:40~12:30	島原市立有明中学校 2年生	長崎蘭学について *移動博も同日開催	出口幹子・古豊裕次朗・松岡めぐみ (当館研究員)	74名
9	10月23日(金) 13:45~16:30	西海市立大崎中学校 3年生	海外の窓口としての長崎	橋本正信(長崎県文化振興課)、 出口幹子・鳥越久美子(当館研究員)	42名
10	10月30日(金) 14:00~15:50	時津町立鳴北中学校 1年生	収蔵資料に見る時津	橋本正信(長崎県文化振興課)、 出口幹子(当館研究員)	108名
11	11月20日(金) 11:00~12:30	長崎市立北陽小学校 6年生	長崎の魅力再発見	橋本正信(長崎県文化振興課)、 出口幹子・鳥越久美子(当館研究員)	66名
12	11月26日(木) 11:05~12:40	長崎市立大浦小学校 5年生	長崎の居留地について	橋本正信(長崎県文化振興課)、 古豊裕次朗(当館研究員)	63名
13	12月10日(木) 9:00~12:00	長崎市立桜町小学校 6年生	江戸時代の人々と文化	松岡めぐみ(当館研究員)	80名
14	2月25日(木) 13:55~15:45	西海市立大崎中学校 1年生	世界の一体化と長崎	橋本正信(長崎県文化振興課)、 出口幹子(当館研究員)	37名

○リモート授業

No	日時	対象	内容	講師	参加者
1	8月6日(木) 11:10~11:55	暁星国際小学校 6年生	長崎の歴史について	松岡めぐみ(当館研究員)	24名
2	2月10日(水) 12:00~12:30	高松市立高松第一高等学校 2年生	博物館について	出口幹子(当館研究員)	45名
3	2月18日(木) 13:30~14:10	神奈川県立相模原総合高等学校 2年生	リモート修学旅行	松岡めぐみ(当館研究員)	226名

※コロナ禍で長崎への修学旅行が中止になった学校を対象に、zoomでの授業や展示案内を行った。

○高校3年生向けプログラム

長崎県内の高校3年生を対象に、長崎の歴史についての興味関心を高め、郷土に対する理解・郷土愛を育んでもらうことを目的とした「ふるさと教育」の一環として来館時の講義や展示案内、出前講座等を行った。

No	日時	対象	内容	講師	参加者
1	12月9日(水) 10:00~10:50	活水高等学校	出前講座 キリスト教と長崎について	橋本正信(長崎県文化振興課)、 出口幹子(当館研究員)	11名
2	12月16日(水) 10:00~11:50	活水高等学校	出前講座 長崎版画について	橋本正信(長崎県文化振興課)、 出口幹子(当館研究員)	22名
3	1月29日(金) 10:40~11:30	長崎県立西彼杵高等学校	出前講座 西彼杵と長崎の魅力再発見	橋本正信(長崎県文化振興課)、 古豊裕次朗(当館研究員)	54名
4	2月12日(金) 10:40~11:30	聖和女子学院高等学校	出前講座 長崎の魅力再発見	橋本正信(長崎県文化振興課)、 出口幹子(当館研究員)	100名
5	2月19日(金) 8:50~9:40	長崎県立大崎高等学校	出前講座 長崎の魅力再発見	橋本正信(長崎県文化振興課)、 古豊裕次朗(当館研究員)	45名

○移動博物館

遠隔地を中心に収蔵資料や資料の複製品、映像などを学校に持ち込みミニ展示を行った。

No	日時	実施校	対象	参加者
1	9月25日(金) 11:00~13:50	佐世保市立吉井南小学校	6年生、他学年自由見学	65名
2	10月21日(水) 10:40~12:30	島原市立有明中学校	2年生	75名
3	2月17日(水) 10:10~11:45	長崎市立長浦小学校	5・6年生	28名

○貸出教材

長崎県内の学校を対象に、資料画像の貸出を行った。

貸出先	日時	教材内容
長崎大学教育学部附属特別支援学校	2月18日(木)	資料複製品、体験キット

○職場体験

長崎市内の中学生を職場体験で受け入れた。

対象	日時	参加者
長崎市立緑が丘中学校 2年生	12月2日(水)・3日(木) 9:00~16:00	2名
海星中学校	10月1日(木) 9:10~(電話での職場体験)	2名

○研修の受け入れ

長崎市内の小中学校の教員研修を受け入れた。

研修者	受入期間	備考
長崎県立鶴南特別支援学校教諭 杉元倍達	8月5日(水)~8月7日(金)	長崎県公立学校教職員研修
長崎県立長崎東高等学校教諭 山本裕文	12月15日(火)~17日(木)	長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修社会体験研修
長崎県立長崎東高等学校教諭 森久子	12月22日(火)~12月28日(月)	長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修社会体験研修

4 こども向け事業

博物館に興味・関心をもってもらうため、子供の成長段階に応じた様々な学びのプログラムを実施した。

○はくぶつかんのおはなし会

幼児から小学校低学年を対象に、伝統的な季節の行事に合わせて開催。ボランティアスタッフ協力のもと、行事に関連したお話の読み聞かせとものづくりを行っている。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を5組に縮小して行った。

時間／10:30～11:30 場所／2階立山亭、常設展示室町屋 参加費／無料 定員／親子5組

No	開催日	伝統行事	テーマ	参加者
1	4月25日(土)	端午の節句	こいのぼり ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	-
2	7月4日(土)	七夕	たなばたかざり	6名
3	7月25日(土)	河童忌	かっぱのスケッチ	7名
4	9月26日(土)	くんち	くんち手ぬぐい	10名
5	12月19日(土)	正月	お正月あそび	8名
6	1月30日(土)	節分	おにのお面 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	-
7	2月27日(土)	桃の節句	ひなかざり	11名

○れきぶんこどもクラブ

小学生を対象に、展示室の見学や作品の制作を通して、長崎の歴史や文化にふれる機会を提供している。

時間／14:00～16:00 場所／1階講座室 参加費／3000円(全7回) 定員／20名

[前期]

	開催日	タイトル	講師	参加者
第1回	4月18日(土)	はくぶつかんたんけん	当館研究員	-
第2回	5月9日(土)	企画展「肉筆浮世絵画」関連企画	当館研究員	-
第3回	6月6日(土)	こうぞ?!で紙すき	石田孝氏	-
第4回	6月20日(土)	粘土でつくるこねこねモンスター	近藤浩一氏(長崎県美術協会彫刻部評議員)	-
第5回	7月4日(土)	粘土でつくるMyカップ	土屋美穂氏(社会福祉法人 三彩の里)	-
第6回	7月18日(土)	企画展「博覧会の世紀展」関連企画	当館研究員	-
第7回	8月1日(土)	てんらん会づくり	出口幹子・古豊裕次朗・松岡めぐみ (当館研究員)	-

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止。

[後期]

	開催日	テーマ	講師	参加者
第1回	10月3日(土)	くんち手ぬぐいをつくろう	古豊裕次朗・松岡めぐみ(当館研究員)	10名
第2回	10月31日(土)	粘土でつくるこねこねモンスター	近藤浩一氏(長崎県美術協会彫刻部評議員)	9名
第3回	11月14日(土)	「あれもこれも黄檗展」関連企画	松岡めぐみ(当館研究員)	12名
第4回	12月12日(土)	ガラス絵のふしぎを知ろう	林田薫氏(長崎県美術協会会員)	11名
第5回	3月6日(土)	南画ってなんだ?!	田中正博氏(長崎青房会会長) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、 1月16日(土)から振替。	10名
第6回	3月13日(土)	袴を着てみよう	松岡めぐみ(当館研究員) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、 1月30日(土)から振替。	12名
第7回	3月20日(土)	てんらん会づくり	出口幹子・松岡めぐみ(当館研究員) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、 2月13日(土)から振替。	9名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を15名に制限して実施した。

○こども茶道クラブ

小学生を対象にした日本の伝統文化、茶道にふれる連続講座。

時間／14:00～16:00 場所／2階立山亭 参加費／3500円（全7回）定員／20名

主催／一般社団法人表千家同門会長崎県支部 共催／長崎歴史文化博物館

	開催日	内容	参加者
第1回	8月1日(土)	お茶とお菓子のいただき方	-
第2回	8月29日(土)	茶室でのごあいさつと歩き方	-
第3回	9月5日(土)	お茶をたてる	-
第4回	9月12日(土)	お茶をたてて、お運びする	-
第5回	9月26日(土)	お点前をする①	-
第6回	10月17日(土)	お点前をする②	-
第7回	10月24日(土)	親子でお茶会	-

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止。

○れきぶんの夏休み

No	イベント名	開催日時・場所	内容・料金・定員	参加者数
1	ミニ屏風づくり	7月23日(木祝) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30 1階エントランス	河童図屏風を見学後、小さいサイズの「屏風」を作った。 対象：小学生 定員：各回10名 参加費：300円	21名
2	ちぎり絵づくり	7月24日(金祝) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30 1階エントランス	収蔵資料に描かれた動物をちぎり絵で表現した。 対象：小学生 定員：各回10名 参加費：500円	13名
3	佐世保独楽絵付け	8月5日(水)・19日(水) ①11:00～11:30 ②14:00～14:30 2階貸工房	絵付けと独楽回し体験。 対象：年長～中学生 定員： 参加費：900円 講師：佐世保独楽本舗 三代目 山本貞右衛門	8/5：12名 8/19：8名
4	夏のフラワーアレンジ	8月8日(土) ①10:30～11:30 ②14:00～15:00 1階エントランス	夏の花をアレンジし、作品は持ち帰りとした。 対象：小学生 定員：各回10名 参加費：1000円 講師：花芸安達流 伊達木百合子氏	23名
5	缶バッジ・マグネットづくり	8月10日(月祝) ①10:00～10:45 ②11:00～11:45 ③14:00～14:45 ④15:00～15:45 1階エントランス	長崎の歴史と関係あるものをモチーフに缶バッジやマグネットを制作した。 対象：どなたでも 定員：各回10名 参加費：100円	36名
6	うちわづくり	8月11日(火) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30 1階エントランス	和紙に好きな絵を描いて、オリジナルうちわを制作した。 対象：小学生 定員：各回10名	18名
7	きらきら小箱づくり	8月12日(水) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30 1階エントランス	青貝細工を参考にデザインを考え、小箱を飾り付けた。 対象：小学生 定員：各回10名 参加費：500円	19名

○ホームページ上の活動

4月・5月の臨時休館をきっかけに、広報担当と教育担当で協力してホームページ内に「おうちでれきぶん気分」というコーナーを立ち上げ、だれでも自宅で楽しめるコンテンツを随時発信した。内容は、ぬりえや迷路、簡単な作品作りなど、博物館の展示や収蔵品あるいはイベント等の紹介になるものを中心とした。

5 レファレンス事業

ア) ながさきミュージアムネットワークシステム

館内だけでなくインターネットを利用した、収蔵資料情報・収蔵図書情報・展覧会情報・講座等イベント情報・県内史跡情報の提供を行う。収蔵資料情報については、資料情報とともに画像情報を登録し、外部からの画像の貸出に対応している。また、館内端末からもデータベースにアクセス可能とし、資料閲覧室に設置されている端末から展示室内に設置してある各種データベースへの参照も可能である。

イ) レファレンスルーム・長崎学相談コーナー

企画展・常設展の展示内容についてだけでなく、長崎学に関する専門的な情報を提供。収蔵されている図書・文書資料については、一般の利用者への公開もおこなっている。また、一部の文書資料や重要文化財や器物資料など特に貴重な資料については、事前申請制度による特別閲覧を実施することにより、利用者が可能な限り資料に触れる機会を設けている。

ウ) レファレンスルーム利用者状況

令和2年度総利用者数 265人(22人/月)

月別利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
20	0	33	26	13	21	21	23	44	7	16	41

利用者内訳

会社員	教員(小)	教員(中)	教員(高)	教員(大)	教員(不明)	学生(小)	学生(中)	学生(高)	学生(大・院)	学生(不明)	その他	ボランティア	不明	合計
8	1	0	6	47	3	0	0	0	18	0	129	0	53	265

複写利用者数 131件

写真撮影利用者数 111件

特別閲覧利用者数 22件

デジタル化新聞閲覧利用者数 24件

6 博物館実習

実施期間

令和2年8月20日(木)～8月24日(月) 10:00～17:00 5日間

受講費

3,000円

受入大学名および人数

福岡大学人文学部歴史学科(1名)、佐賀大学芸術地域デザイン学部(3名)、東京農業大学応用生物科学部醸造科学科(1名) 合計5名

令和2年度 カリキュラム

テーマ	ねらいと内容
常設展・企画展について	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展・企画展の意義 ・展示方法、解説方法 ・企画展の種類(自主企画展、巡回展) ・企画展ができるまで
教育普及について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校連携 ・地域連携 ・ボランティア ・展示室で利用できる教育ツール ・教育活動実習(教育ツールの開発)
広報について	<ul style="list-style-type: none"> ・広報の目的 ・当館の広報活動(印刷物、マスコミ、HP、SNS等)
資料の保存管理について	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の保存管理の方針(IPM)・資料に応じた環境設定 ・資料の保存管理の方法 ・文化財保存管理用の機器・道具 ・燻蒸
資料の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の取り扱いに関する基本姿勢 ・屏風、掛け軸、美術工芸品(漆器)の取り扱い方 ・梱包資材、梱包のしかた
古文書資料の修復	<ul style="list-style-type: none"> ・古文書の修復に関する方針 ・修復を要する資料の状態 ・修復に使う道具 ・修復作業の体験
資料の整理作業	<ul style="list-style-type: none"> ・写真資料の整理(中性紙封筒への詰替え、ラベル貼り) ・資料の調書を取る
関連施設見学	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム見学
最終課題	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化展示室内の1ケースについて展示計画作成 ・キャプション執筆 ・口頭発表

実習スケジュール

	午前(10:00～12:00)	午後(13:00～17:00)
8月20日(木)	博物館の管理運営について(山口)、館長講話(水嶋館長)	常設展・企画展について(長岡)、施設見学、広報活動について(前田)
8月21日(金)	資料の保存管理(IPM)について(久保)	資料の整理作業(矢田)、課題準備
8月22日(土)	学校連携について(出口)、地域連携・ボランティアについて(古豊)	教育活動実習(松岡)、課題準備
8月23日(日)	古文書資料の修復(富川、久保)	資料の取り扱い(長岡)、課題準備
8月24日(月)	孫文・梅屋M見学(金氣)	課題準備、課題発表と講評

7 研修の受け入れ

○蓄積型体験学習

長崎大学教育学部が実施している蓄積型体験学習の受け入れを行った。将来幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校の教員を目指す大学生に博物館の教育活動について理解を深めてもらうことができた。

・目的

自ら高めたい資質や能力を定めて、これが達成できると思われる実習先を受入機関から自ら選定し、実習期間との実習計画の打ち合わせによる計画立案とその実施及び自己評価を通して、主体的に活動できる人材を育成することを目的とする。

・受入期間

令和2年9月11日(金)～12月13日(日)

・実習所要時間数

40時間

・実習内容

引率教員向け博物館常設展示室指導要領作成

・受入コースおよび人数

長崎大学教育学部 4年生 10名

小学校教育コース・子ども理解実践専攻(4名)、多文化理解実践専攻(2名)、
ICT活用実践専攻(1名)、教科授業実践専攻(1名)

中学校教育コース・理科専攻(1名)、社会専攻(1名)

○古文書修復技術講習会

・目的

古文書の適切な管理と補修技術の向上を図ることを目的として、古文書の修理・保存についての理論、補修の実習、情報交換を実施した。

・対象

県内公共図書館、博物館、資料館並びにその他の施設の職員

No	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	9月28日(月)・29日(火) 10:00～16:00	講座室	和本作り、修理の体験など	富川敦子・久保憲司(当館研究員)	(9/28) 7名 (9/29) 7名

8 伝統工芸体験工房

体験工房では、長崎が誇る伝統工芸「銀細工」「現川焼」「長崎刺繍」「長崎染」「ステンドグラス」の5種類の体験ができます。長崎市の「長崎伝習所」を卒業した5つの塾の塾生が、ご来館の皆様の体験をサポートいたします。お友達と、または、子ども会などグループでのご参加もできます。お気軽にお立ち寄りいただき、長崎の伝統工芸の素晴らしさを、体験して下さい。

「長崎銀細工研究塾」塾

その昔、長崎にヨーロッパの宝飾技術が伝わり、江戸時代には献上品として古文書にその名を残した「長崎銀細工」。いにしへのロマンに想像をかきたてられながら、長崎の工芸品として育てていきたいと思っています。

「長崎陶芸復興」塾

田中刑部左衛門が開窯したと言われる、繊細で気品ある現川焼。刷毛目模様が特徴のその技術が、伝承されないまま江戸中期のわずか60年で途絶えてしまいました。「幻の焼き物」と言われる現川焼作りを、ろくろ成形、絵付けなどを通して体験してみませんか。

「長崎刺繍再発見」塾

江戸時代、中国から伝わったとされる「長崎刺繍」は、諏訪神社の秋の大祭(おくんち)とともに独自の発展を遂げました。肉入れによる盛上げの技法も特徴の一つです。今、わずかに残った刺繍から、「長崎刺繍」の作風、技法を学びながら手仕事の面白さを体験してみませんか。

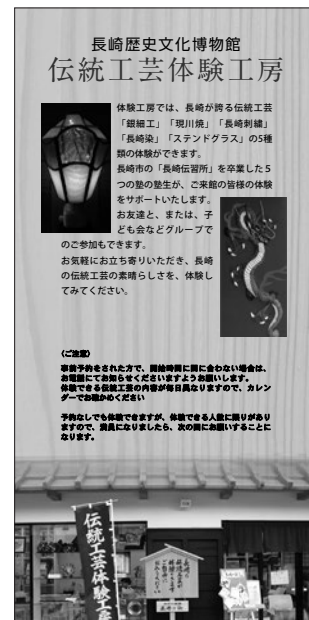
「長崎の染」塾

文政年間に上野俊之丞が市内中島の地で製造・輸出したと記録にも残る「長崎更紗」。更紗模様の型染めや手描きをしてみませんか。

「長崎やけんステンドグラス」塾

西欧文化の窓口であった長崎は、今も街中でステンドグラスが優雅と魅力を漂わせています。かわいらしい作品から少し製作時間を要する物までを準備しておりますので、光を透かしてステンドグラスの魅力を体感して下さい。

(令和2年度長崎歴史文化博物館体験工房 パンフレットより)



1 事業概要

- 地域に根ざした文化活動を行う各種団体・個人に活動の場を提供する。
- 地域との連携を深めることにより、地域に開かれた博物館づくりを目指す。
- 地域の人々に質の高い芸術文化に触れる機会を提供し、地域の文化振興に寄与する。
- 新たな利用者層の拡大と博物館の活性化を図る。

2 イベント実施

○大型企画イベント

イベント名	開催日・場所	内容	参加者
長崎伝統工芸まつり	5月6日(水祝) 10:00~16:00 1階エントランス 伝統体験工房	べっ甲細工、長崎刺繍、現川焼、染め、ステンドグラス、銀細工など、江戸時代から伝わる長崎伝統の工芸品の紹介と各塾による物販・体験。合わせて、佐世保独楽絵付け体験。	-
第15回 長崎奉行所夏まつり	8月8日(土)16:30~20:30 イベント広場	ステージイベントや出店など、地域住民や来館者を対象に周辺自治会、当館ボランティアと協力して行うイベント。 協力：上町自治会	-

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止。

○季節催事（端午の節句、七夕、クリスマス、正月、節分、桃の節句）

イベント名	開催日・場所	内容	参加者
長崎式こいのぼり	4月21日(火) ~5月26日(火) イベント広場 ※1階エントランスへ変更	江戸時代の絵画にも描かれている長崎式の鯉のぼりを再現し、イベント広場にて紹介。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の臨時休館に伴い、鍾馭図のみエントランスに設置。鯉のぼり設置なし。	-
れきぶんの七夕かざり	6月27日(土)~7月7日(火) 1階エントランス	短冊に願いことを書いて、笹竹に飾りつけるイベント。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今回は短冊をホームページで公開し持参していただいた短冊を飾りつけた。	41名
れきぶんのクリスマス	12月1日(火)~25日(金) 1階エントランス	カードにメッセージを書いて、ツリーに飾りつけるイベント。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、クリスマスツリーのみ設置。	-
奉行所もちつき	12月20日(日) 午前中 奉行所階段下	地域住民や来館者を対象にふるまい餅つきするイベント。 協力：上町自治会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	-
新年に向けての フラワーアレンジ	12月26日(土) ①10:30~11:30 ②14:00~15:00 1階エントランス	和モダンのアレンジで、お正月に飾る作品を作った。 対象：年長以上のお子様とその保護者 参加費：1組1,000円 講師：花芸安達流 伊達木百合子氏	①16名 ②22名
れきぶんおみくじ	1月1日(金祝)~11日(月祝) 2階常設展示室入口	常設展示に関する内容のオリジナルおみくじを設置した。 参加費：無料（※要常設展観覧料）	166名
日本のもようで バッジをつくろう！	1月1日(金祝)・10日(日) ①11:00~12:30 ②14:30~16:00 1階講座室 ※エントランスへ変更	色々な伝統文様をなぞって、縁起のよいバッジを作った。 参加費：無料 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため10日は中止。	(1日) ①5名 ②19名 (10日) -
パフォーマンス書道	1月2日(土) ①11:30~ ②15:00~ 1階エントランス	出演：長崎県立長崎西高等学校書道部 観覧料：無料 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	-
書き初め	1月2日(土) 13:00~14:30 1階エントランス	指導：長崎県立長崎西高等学校書道部 参加費：無料 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	-
よしの会 新春踊り初め・お弾き初め	1月3日(日) 13:00~14:00 1階エントランス	出演：長唄よしの会 観覧料：無料 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	-

イベント名	開催日・場所	内容	参加者
津軽三味線の演奏	1月3日(日) 15:00~16:00 1階エントランス	出演：津軽三味線石井流秀歩会 観覧料：無料 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	-
新春初弾	1月10日(日) 13:00~14:00 1階エントランス	出演：hミュージック、鎮西学院高等学校箏曲同好会、 長崎日本大学中学高等学校音楽部 観覧料：無料 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	-
長崎西高等学校書道部作品 展示	1月29日(金)~2月14日(日) 1階エントランス	1月2日のパフォーマンス書道が中止になったため、部活動で 仕上げた作品を当館で展示した。	4,395名
奉行所節分豆まき	2月2日(火) 15:30~16:00 奉行所書院・玄関	奉行所で古式に則った追儼(ついな)豆まきと、来館者へ福豆 まきを行うイベント。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、追儼豆まきのみ 実施。	20名

○新内寄席

イベント名	開催日・場所	内容	参加者
第29回 長崎奉行所・新内寄席 ～落語と新内の会～	9月27日(日)15:00~17:00 1階ホール	出演：桂まん我、新内枝幸太夫(新内弥栄派家元) 入場料：前売り2,000円(当日2,500円)	-
第30回 長崎奉行所・新内寄席 ～長崎枝幸会発表会～	3月13日(土)13:30~16:00 1階ホール	出演：新内枝幸太夫(新内弥栄派家元)、長崎枝幸会 入場料：1,000円(友の会会員800円)	-

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止。

○新内枝幸太夫 新内出稽古

日程	時間・場所	観覧者
4月7日(火)~9日(木)	常設展示室 町屋 13:00~17:00頃	-
5月14日(木)~16日(土)		-
6月16日(火)~18日(木)		-
7月7日(火)~9日(木)		-
8月4日(火)~6日(木)		-
9月24日(木)~26日(土)		-
10月20日(火)~22日(木)		-
11月13日(金)~15日(日)		-
12月8日(火)~10日(木)		-
1月19日(火)~21日(木)		2階 立山亭 13:00~17:00頃 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、場所変更。
2月16日(火)~18日(木)	-	
3月16日(火)~18日(木)	-	

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止。

○音楽イベント

イベント名	開催日・場所	内容	観覧者
れきぶんミュージアムコンサート2020			
GWホリデーコンサート	5月5日(火祝)15:30~16:30 1階エントランス	出演：野澤彩子(ピアノ)ほか 観覧料：無料	-
サマーコンサートⅠ	7月25日(土)15:30~16:30 1階エントランス	出演：長崎室内合唱団 観覧料：無料 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度3月22日 (日)「スプリングコンサートⅡ」から振替	-
サマーコンサートⅡ	7月26日(日)15:30~16:30 1階エントランス	出演：quatre 観覧料：無料	-
フレッシュコンサート	8月22日(土)15:30~16:30 1階エントランス	出演：長崎県新演奏家協会 観覧料：無料	-
開館記念コンサート	11月3日(火祝)15:30~16:30 1階エントランス	出演：Clarteほか 観覧料：無料	-
クリスマスコンサート	11月29日(日)15:30~16:30 1階エントランス	出演：レガリーノ 観覧料：無料	-
ニューイヤーコンサート	2021年1月11日(月祝) 15:30~16:30 1階エントランス	出演：長崎県新演奏家協会 観覧料：無料	-

イベント名	開催日・場所	内容	観覧者
スプリングコンサートⅠ	3月7日(日) 15:30～16:30 1階エントランス	出演：ジュニアオーケストラながさき (指揮) 志岐光昭 観覧料：無料	-
スプリングコンサートⅡ	3月21日(日)15:30～16:30 1階エントランス	出演：長崎室内合唱団 観覧料：無料 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、7月25日(土) 「サマーコンサートⅠ」から振替。	-

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止。

○環境学習会「エコ学ほ！」イベント

イベント名	開催日・場所	内容	参加者
地球温暖化って知ってるかな	5月2日(土)13:00～15:00 1階講座室	暮らしの中のエコ体験や昔の遊び、ゲームを通して、分かりやすく楽しく学ぶイベント。 協力：長崎県地球温暖化防止活動推進センター 参加費：無料	-
れきぶんエコフェス	8月8日(土)16:30～20:30 イベント広場	衣食住昔ながらの暮らしの中のエコ体験やエコ寸劇をとおして学ぶイベント。奉行所夏祭りに出店・出演 協力：長崎県地球温暖化防止活動推進センター 参加費：無料	-
地球温暖化って知ってるかな	12月5日(土)13:00～15:00 1階講座室	温暖化の原因、影響、私たちに出来ることなどを体験やゲームを通して、学ぶイベント。 協力：長崎県地球温暖化防止活動推進センター 参加費：無料	-

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止。

○食文化体験

季節の行事にあわせた長崎の伝統料理をいただくことを通して、地域の風土や歴史に育まれた長崎独特の食文化への理解を深めることを目的とする。

講師／脇山壽子氏(郷土料理研究家) 場所／レストラン銀嶺 定員／各回18名

参加費／1,800円 ※常設展観覧料を含む

	テーマ	開催日時	参加者
第1回	端午の節句	5月2日(土)17:00～18:00	-
第2回	長崎のお盆	8月8日(土)17:00～18:00	-
第3回	くち料理	10月2日(金)17:00～18:00	-
第4回	長崎雑煮	12月19日(土)17:00～18:00	-
第5回	節分料理	2月1日(月)17:00～18:00	-

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止。

○食文化体験 特別編

講師／脇山壽子氏(郷土料理研究家) 場所／レストラン銀嶺 定員／各回15名

参加費／3000円 ※常設展観覧料を含む その他／汁物の他はテイクアウト式とした。

	テーマ	開催日時	参加者
特別編	桃の節句+シュガーロード	①2月20日(土) ②3月13日(土) 16:00～19:00	①7名 ②15名

○その他

イベント名	開催日・場所	内容	参加者
長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産世界遺産登録2周年記念写真展「世界遺産巡礼の旅 その2」	6月27日(土)～7月19日(日) 1階エントランス	長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産が世界遺産に登録されてから2周年を記念して、当館館長水嶋英治が撮影した地中海文明の世界遺産を写真で紹介した。	560名
着物フリーデー	1月1日(金祝)～3日(日)	期間中に着物で来館された方を対象に常設展を無料で観覧いただくサービスを実施した。	4名
成人の日フリーデー	1月9日(土)～11日(月祝)	期間中に来館された新成人を対象に常設展を無料で観覧いただくサービスを実施した。	1名

○長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム関連イベント

イベント名	開催日	内容	参加者
孫文・梅屋庄吉ミュージアム開館記念コンサート	4月29日(水祝)15:30～16:30	出演：Clarte 観覧料：無料 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	-

イベント名	開催日	内容	参加者
夏休み 中国切り絵体験	8月1日(土)～31日(月) 10:00～16:00	幸せを願ってつくる中国の切り絵体験。 参加費：無料	51名
夏休み クイズラリー	8月1日(土)～31日(月)の 土日祝日 10:00～16:00	ミッションに挑戦して、ミュージアムを探検。 参加費：150円 ※県内小中学生無料	13名
孫文・梅屋の友情月間 県民無料招待	11月1日(日)～30日(月)	ミュージアムコンサートの無料開放毎日10名様に粗品進呈。	114名
孫文・梅屋の友情月間 ミュージアムでクイズラ ラリー	11月1日(日)～30日(月)の 土日祝日 10:00～16:00	ミッションに挑戦して、ミュージアムを探検。 参加費：150円 ※県内小中学生無料	41名
孫文・梅屋の友情月間 中国切り絵体験	11月1日(日)～30日(月) 10:00～16:00	幸せを願ってつくる中国の切り絵体験。 参加費：無料	82名
孫文・梅屋の友情月間 ミュージアムでかくれんぼ	11月1日(日)～30日(月) 10:00～16:00	孫文・梅屋庄吉ミュージアムのキャラクターほんしゅんさん を探しながら、ミュージアムを探検。 参加費：高校生以上300円 小中学生150円 ※県内在住者は無料	99名

※令和2年10月24日(土) NHK番組収録・放送 参加者数45名

番組名：「今夜も生でさだまさし～長崎は今日もさだだった～」

総合日曜日午前0時35分(土曜深夜)生放送

3 ボランティア活動

【長崎歴史文化博物館】

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度4～8、1～3月は活動休止。

寸劇ボランティアは、感染症拡大防止対策をとり臨時休館以外は公演実施。

○令和2年度登録者数(66名)

登録者数	①展示案内	31名
	②外国語	8名
	③教育普及	11名
	④広報	14名
	⑤IPM(保存環境)	9名
	⑥孫文・梅屋庄吉ミュージアム	4名
	○寸劇	17名

○活動内容

①展示案内ボランティアの活動について

歴史文化展示ゾーン・奉行所ゾーンにて、学校団体及び一般団体、個人客に展示案内・誘導等を行う。

②外国語ボランティアの活動について

歴史文化展示ゾーン・奉行所ゾーンにて、外国人客(英語)に展示案内・誘導等を行う。
寸劇台本、表示類の英訳。

③教育普及ボランティアの活動について

教育普及活動(こどもクラブ、おはなし会、企画展イベント、夏休みイベント、講座・講演会等)の運営。
企画展オープニングセレモニー等の受付。

④広報ボランティアの活動について

印刷物整理作業、新聞切り抜き作業、ボランティア通信「風説書」の発行、発送作業等。

⑤IPM(保存環境)ボランティアの活動について

文化財を皆で守り、伝えていくため博物館での文化財保存活動の一部を県民・市民と共に行うことを目的とする。IPM(Integrated Pest Management 総合的有害生物管理)の考えに基づき、現在露出展示のメンテナンス、展示室内環境モニタリング(目視点検)等を行う。

⑥長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムボランティアの活動について

来場されるお客様に対する案内や説明。
イベントや施設の運営補助。
その他、長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの業務に係わる事務作業の補助。

○寸劇ボランティアの活動について

当館収蔵の江戸時代の裁判記録「犯科帳」をもとに、寸劇仕立てで奉行所展示室お白洲にて紹介。

[上演日時]

土日祝日の 11:00～/13:30～/14:30～/15:30～

1日4回

[令和2年度の演目]

・「不義密通の強要事件」

令和2年4月4日(土)・5日(日)

7月4日(土)～8月30日(日)

・「くんち奉納踊り訴え」

9月5日(土)～11月1日(日)

・「唐人屋敷抜け穴掘り事件」

11月3日(火祝)～12月26日(土)

・「フェートン号事件」

令和3年1月1日(金祝)～3月28日(日)

※4/11(土)～6/28(日)まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公演中止。

※9/6(日)台風接近に伴う臨時休館のため、11:00の回のみ公演し午後3公演は中止。

※令和3年1/9(土)午後～1/10(日)午前まで積雪のため臨時休館。1/9の午後3公演、1/10の11:00の回は公演中止。

○ボランティア研修

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度スキルアップ研修は中止。

○新規ボランティア研修内容

※昨年度末実施予定を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度(令和2年度)実施。

	日程	内容
第1回	7月18日(土) 10:30～12:00	長崎歴史文化博物館の概要、ボランティア活動について 会場：ホール
第2回	7月25日(土) 10:00～16:00	【10:00～12:00】 歴史文化展示ゾーン、奉行所ゾーンについて 博物館の収蔵品について 資料の修復・保存について 【13:00～14:20】 常設展示室見学 会場：ホール(昼食会場：会議室) 【14:30～16:00】 ※移動時間含む ※現地解散 (15:00～15:30) 孫文・梅屋庄吉ミュージアムについて (15:30～16:00) 自由見学 会場：長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム
第3回	8月1日(土) ①10:30～12:30 ②14:00～16:00	博物館でのマナー、接客について 会場：ホール

4 開館15周年記念事業

○シンポジウム

イベント名	開催日・場所	内容	参加者
開館15周年記念講演・シンポジウム	11月14日(土) 13:30～15:40 1階ホール	主催：長崎歴史文化博物館 協力：長崎県美術館 (第1部) ■基礎講演「九博の15年、そしてこれから」 講師：島谷弘幸氏(九州国立博物館 館長) ■講演「美術館の過去と未来」 講師：小坂智子氏(長崎県美術館 館長) ■講演「文化遺産継承の責任と重み」 講師：水嶋英治(長崎歴史文化博物館 館長) (第2部) ■講演「美術館、博物館と街づくり」 講師：藤泉氏(長崎自動車株式会社 監査役) ■シンポジウム 「博物館・美術館の未来とあるべき姿」	76名



8 広報マーケティング

1 広報ツール

- ・印刷物（年間スケジュール、れきぶんニュース、その他単発イベント案内）
- ・プレスリリース
- ・WEB媒体（公式ホームページ、メールマガジン、Facebookページ、twitter、Instagram）
- ・広告出稿・PR活動（イベント告知）

○印刷物

年間スケジュール

企画展、スケジュールを掲載



年間スケジュール改訂版

企画展が新型コロナウイルス感染拡大防止対策で中止になったため改訂版を制作・発行



れきぶんニュースれきぶんニュース

通常年4回発行のところ、掲載予定の企画展が新型コロナウイルス感染拡大防止対策で中止になったため、夏と秋号を合併し年3回発行

vol.53 春号



2020年4月発行

(内容)

- コロナにおもう
- 《特集展示》
- 長崎の浮世絵
- 浦上一番崩れを読む
- 《開催記録》
- 世界遺産登録1周年記念講演会等開催事業
- 《お知らせ》
- ボランティア制度が変わります
- 《募集》
- 「長崎『旅』博覧会」の思い出を展示しませんか？

vol.54 夏秋号



2020年7月発行

(内容)

- 《收藏品展》
- 大変身!! れきぶんビフォーアフター
- あれもこれも黄檗!?展
- くんち三八六展
- 《特集展示》
- 水・陸・空いきものパビリオン
- 「青方文書」の世界その2
- 金唐革の世界
- 《お知らせ》
- 資料閲覧室のご利用について

vol.55 新春号



2021年1月発行

(内容)

- 《新年のごあいさつ》
- 世界の中の長崎、長崎の中の世界
- 《特集展示》
- つるツル展
- 《一年の歩み》
- 2020年の出来事をふりかえる
- 《お知らせ》
- 2021上期企画展・特集展示スケジュール
- 《活動報告》
- 15周年関連広報活動

展示PR用印刷物 (A4チラシ)

收藏品展

「大変身!! れきぶん ビフォーアフター」 くんち三八六展



收藏品展

「あれもこれも黄檗!?展」



イベント案内用印刷物 (A4チラシ)

れきぶんの夏休み2020



講演会・講座スケジュール (前期)



開館15周年関連制作物

15年の歩み 2005-2020



れきぶんのお正月2021



講演会・講座スケジュール (後期)



ほんしやんの夏休み

(長崎近代交流史と
孫文・梅屋庄吉ミュージアム)



その他

Nederland in Nagasaki
長崎歴史文化博物館×出島
紹介パンフレット (オランダ語)



○プレスリリース

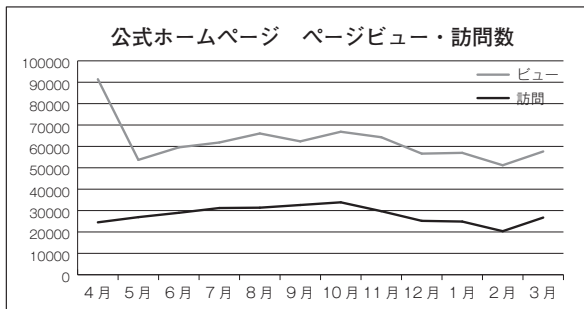
No	配信日	内容
News No.01	令和2年4月7日	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館について
News No.02	令和2年4月20日	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館の延長について
News No.03	令和2年4月27日	特別展「博覧会の世紀」開催中止のお知らせ
News No.04	令和2年5月5日	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館の延長について
News No.05	令和2年5月18日	開館のお知らせ
News No.06	令和2年5月26日	特集展示「浦上一番崩れを読む」
News No.07	令和2年5月26日	6・7月の講座のご案内
News No.08	令和2年6月19日	6・7月のイベントのご案内
News No.09	令和2年7月1日	れきぶんの夏休み2020
News No.10	令和2年7月13日	収藏品展 大変身! れきぶん ビフォーアフター
News No.11	令和2年7月23日	特別展「長崎の黄檗」「大恐竜展（仮称）」開催中止のお知らせ
News No.12	令和2年7月29日	収藏品展・特集展示のご案内
News No.13	令和2年8月24日	くんち三八六年展
News No.14	令和2年9月2日	臨時閉館のご案内
News No.15	令和2年9月5日	臨時休館のご案内
News No.16	令和2年9月15日	特集展示「青方文書」の世界 その2
News No.17	令和2年10月9日	収藏品展「あれもこれも黄檗!?展」開催のご案内
News No.18	令和2年9月24日	キャンパスメンバーズ
News No.19	令和2年10月26日	11月の講座のご案内
News No.20	令和2年10月26日	開館15周年記念行事のご案内
News No.21	令和2年11月18日	特集展示「金唐草の世界」
News No.22	令和2年12月9日	12月のれきぶん★トピック
News No.23	令和2年12月10日	れきぶんのお正月2021
News No.24	令和2年12月25日	年始・新春のイベント開催中止のお知らせ
News No.25	令和3年1月6日	特集展示、1月の講座・イベントのご案内
News No.26	令和3年1月7日	1月の講座・イベント 開催中止・延期のお知らせ
News No.27	令和3年1月9日	大雪による臨時休館のご案内
News No.28	令和3年1月28日	れきぶんの節分2021
News No.29	令和3年2月10日	食文化体験～桃の節句+シュガーロード
News No.30	令和3年2月15日	リモートでの学習支援が広がっています
News No.31	令和3年2月18日	特集展示「長崎奉行所展」
News No.32	令和3年2月24日	好評につき再び開催決定! 食文化体験～桃の節句+シュガーロード
News No.33	令和3年3月1日	特集展示「長崎奉行所展」令和の再発見
News No.34	令和3年3月19日	多言語対応の展示解説アプリ 導入のお知らせ
News No.35	令和3年3月23日	開館時間短縮終了のお知らせ

○WEB媒体

公式ホームページ

<http://www.nmhc.jp/>

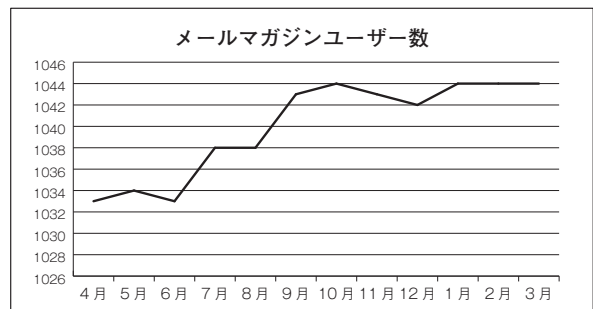
(平成24年5月2日リニューアル・運用開始)



メールマガジン (月2回発行)

令和3年3月現在の

登録者数：1,044



SNS (Twitter)

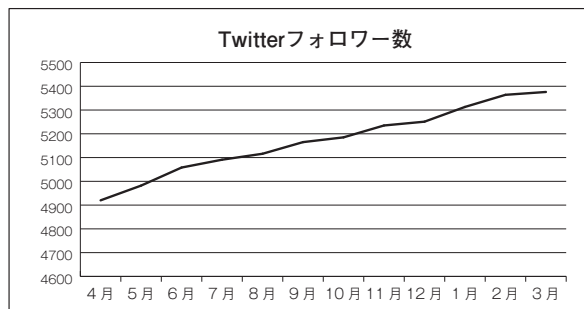
https://twitter.com/ngs_rekibun



平成24年10月運用開始

平成26年4月認証済みアカウント取得

令和3年3月現在のフォロワー数：5,376



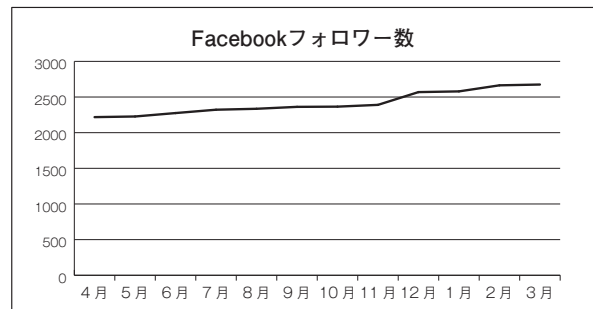
SNS (Facebookページ)

<https://www.facebook.com/rekibun/>



平成24年10月運用開始

令和3年3月現在のフォロワー数：2,675



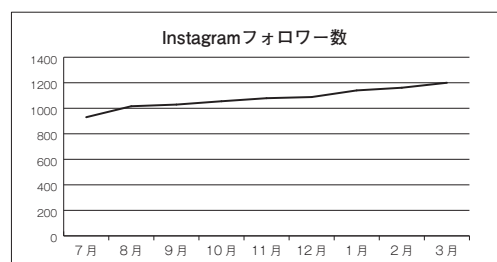
SNS (Instagram)

<https://www.instagram.com/rekibun/>



平成28年8月運用開始

令和3年3月現在のフォロワー数：1,200



○広告出稿・PR活動

開館15周年記念事業

■パンフレット	制作部数	内容
15年の歩み 2005-2020	1,000	15年間の主な出来事をまとめたパンフレット。
■雑誌タイアップ	発行日	内容
季刊誌「楽」vol.49	令和2年9月28日	イーズワークス発行。当館特集号。
■プレスリリース	配信日	内容
News No.20	令和2年10月26日	開館15周年記念行事のご案内

その他事業

■パンフレット	制作部数	内容
Nederland in Nagasaki	500	出島と当館をオランダ語で紹介するオランダ語版パンフレット

広報実績

○その他情報

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容	媒体区分
4月1日(水)	長崎ケーブルメディア	TVガイド	美を競う 肉筆浮世絵の世界	会員誌
4月2日(木)	日本経済新聞社	日経新聞夕刊(関西版)「時を刻む」	博覧会の世紀	新聞
4月3日(金)	KTNテレビ長崎	ヨジマル	スタッフ出演	テレビ
4月8日(水)	アルトネ編集部	アートカルチャーウェブマガジン ARTNE	特集展示「長崎の浮世絵」 https://artne.jp/event/1394	インターネット
	長崎新聞社	長崎新聞	臨時休館情報	新聞
4月10日(金)	KTNテレビ長崎	ヨジマル	臨時休館情報・新型コロナ関連 収蔵品紹介・スタッフ出演	テレビ
4月15日(水)	長崎県警察	でじま	収蔵品紹介	機関誌
4月17日(金)	KTNテレビ長崎	ヨジマル	スタッフ出演	テレビ
4月19日(日)	日本歴史学会	日本歴史 5月号	2020年度 企画展情報	雑誌
	長崎新聞社	長崎新聞	当館収蔵資料 掲載(長崎と感染症の歴史(上))	新聞
4月21日(火)	長崎新聞社	長崎新聞	新型コロナ関連情報(県美・歴文 休館延長)	新聞
4月22日(水)	長崎新聞社	長崎新聞	家庭学習サイト紹介/ 長崎県教委「おうちでれきぶん気分」紹介	新聞
4月23日(木)	NBCラジオ	あさカラ!	博覧会の世紀 思い出の品募集	ラジオ
4月24日(金)	KTNテレビ長崎	ヨジマル	スタッフ出演	テレビ
4月27日(月)	ながさきプレス	ながさきプレス 5月号	国際博物館の日フリーデー	雑誌
5月1日(金)	KTNテレビ長崎	ヨジマル!	「おうちでれきぶん気分」収蔵品・屏風づくり紹介	テレビ
	長崎ケーブルメディア	TVガイド	博覧会の世紀 思い出の品募集	会員誌
5月3日(日)	長崎新聞社	長崎新聞	長崎県観光連盟 STAY HOMEまとめ「おうちでれきぶん気分」紹介	新聞
5月4日(月祝)・5日(火祝)	長崎ケーブルメディア	「歩け! マツケン〜松平健の諸国漫遊〜」再放送	博物館紹介	テレビ
5月8日(金)	KTNテレビ長崎	ヨジマル!	「おうちでれきぶん気分」紹介、休館情報	テレビ
5月15日(金)	長崎県警察	でじま	収蔵品紹介	機関誌
5月17日(日)	長崎新聞社	長崎新聞	新型コロナ関連 収蔵品紹介	新聞
5月20日(水)	長崎新聞社	長崎新聞	県文化施設 臨時休館終了	新聞
5月21日(木)	NBCラジオ	あさカラ!	「おうちでれきぶん気分」紹介	ラジオ
5月24日(日)	KTNテレビ長崎	Live News IT!	再開館準備風景	テレビ
5月25日(月)	NCC長崎文化放送	ANNニュース	再開館 施設の様子	テレビ
	NIB長崎国際テレビ	ストレイトニュース	再開館 施設の様子	テレビ
	KTNテレビ長崎	ヨジマル!	新型コロナ関連 収蔵品紹介(鍾馗)	テレビ

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容	媒体区分
5月26日(火)	西日本新聞社	西日本新聞	再開館当日朝の様子	新聞
	毎日新聞社	毎日新聞	再開館情報	新聞
	長崎新聞社	長崎新聞	再開館情報	新聞
5月27日(水)	ながさきプレス	ながさきプレス 6月号	町屋端午の節句	雑誌
5月29日(金)	読売新聞社	読売新聞	再開館情報	新聞
6月1日(月)	長崎ケーブルメディア	TVガイド	特集展示「浦上一番崩れを読む」 告知	会員誌
6月2日(火)	NHK長崎放送局	ニュース(2回)	トピック展示「病と闘う」	テレビ
6月3日(水)	長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ	特集展示「浦上一番崩れを読む」	テレビ
6月5日(金)	KTNテレビ長崎	ヨジマル!	スタッフ出演・収蔵品紹介	テレビ
6月8日(月)	株式会社リクルート	「じゃらんnet」観光ガイド	特集展示「浦上一番崩れを読む」 https://www.jalan.net/ou/oup2000/ouw2002.do?eventId=260710	インターネット
	JR西日本	おでかけガイド	特集展示「浦上一番崩れを読む」 https://guide.jr-odekake.net/event/itak/260710	インターネット
	NHK長崎放送局	ニュース	古文書講座紹介	テレビ
6月10日(水)	NHK長崎放送局	ニュース	地域の歴史見つけ直す博物館	テレビ
6月12日(金)	長崎新聞社	長崎新聞	特集展示「浦上一番崩れを読む」	新聞
	KTNテレビ長崎	ヨジマル!	スタッフ出演・収蔵品紹介	テレビ
6月13日(土)	朝日新聞社	朝日新聞	トピック展示「病と闘う」	新聞
6月15日(月)	長崎市	にゃがさき市 公式Instagram	ミュージアムショップ 商品紹介	インターネット
	長崎県警察	でじま	収蔵品紹介	機関誌
6月19日(金)	ライフ企画	ライフさせば	特集展示「浦上一番崩れを読む」	FP
	KTNテレビ長崎	ヨジマル!	スタッフ出演・収蔵品紹介	テレビ
6月21日(日)	長崎新聞社	長崎新聞	研究紀要 紹介	新聞
6月25日(木)	NHK長崎放送局	ヒルミテ	地域の歴史見つけ直す博物館(再放送)	テレビ
6月26日(金)	長崎新聞社	ととって motto!	特集展示「浦上一番崩れを読む」	新聞・FP
	長崎新聞社	長崎新聞	イベント情報(写真展)	新聞
	KTNテレビ長崎	ヨジマル!	スタッフ出演・収蔵品紹介	テレビ
6月27日(土)	読売新聞社	読売新聞	新型コロナ関連 収蔵品紹介	新聞
	住navi	ワイヤーママ 7月号	特集展示「浦上一番崩れを読む」	FP
	長崎新聞社	長崎新聞	イベント情報(7/4おはなし会)	新聞
7月1日(水)	長崎ケーブルメディア	TVガイド	特集展示「浦上一番崩れを読む」 告知	会員誌
7月2日(木)	毎日新聞社	毎日新聞	樋口家資料寄贈	新聞
7月3日(金)	KTNテレビ長崎	ヨジマル!	スタッフ出演・収蔵品紹介	テレビ
7月5日(日)	長崎新聞社	長崎新聞	出張古文書講座・古文書講座 告知	新聞
7月6日(月)、 17日(金)	NHK長崎放送局	ヒルミテ	特集展示「浦上一番崩れを読む」 告知	テレビ
7月10日(金)	長崎新聞社	文化とコロナ	水嶋館長インタビュー	新聞
	KTNテレビ長崎	ヨジマル!	スタッフ出演・収蔵品紹介	テレビ
	リクルート	じゃらんnet	特集展示「浦上一番崩れ」 告知	インターネット
7月14日(火)	みらい長崎ココウォーク	ココウォーク WEBサイト	常設展チケット提示でココウォーク観覧車無料	インターネット
7月15日(水)	長崎県警察	でじま	収蔵品紹介	機関誌
7月17日(金)	KTNテレビ長崎	ヨジマル!	スタッフ出演・大変身!!れきぶんビフォーアフター展紹介	テレビ
7月25日(土)	長崎新聞社	長崎新聞	新型コロナで中止・延期の展覧会	新聞
7月29日(水)	長崎新聞社	長崎新聞	RING ART「8+9 2020」	新聞
7月31日(金)	NIB長崎国際テレビ	まちが★スキー https://www.ncbank.co.jp/machisuki/	長崎刺繍・嘉勢氏インタビュー、塾生紹介	テレビ
8月1日(土)	長崎ケーブルメディア	TVガイド	大変身!!れきぶんビフォーアフター 告知	会員誌
8月2日(日)	テレビさせば	スポット イン 佐世保	出張古文書講座紹介	テレビ
8月5日(水)	NHK(全国版)	くらし☆解説	ミュージアム コロナで展示が変わる?(館紹介)	テレビ
8月7日(金)	KTNテレビ長崎	ヨジマル!	RING ART「8+9 2020」折り鶴オブジェ紹介・スタッフ出演	テレビ
	ライフ企画	99view	大変身!!れきぶんビフォーアフター 紹介	FP

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容	媒体区分	
8月9日(日)	長崎ケーブルメディア	被爆75年特別番組	RING ART「8+9 2020」	テレビ	
	長崎新聞社	長崎新聞	石だたみ(町屋の精霊船)	新聞	
8月11日(火)	協同組合インフォメーションテクノロジー 関西	JR西日本「おでかけガイド」 https://guide.jr-odekake.net/event/78188	大変身!!れきぶんビフォーアフター 告知	インターネット	
		株式会社リクルート「じゃらんnet」観光ガイド https://www.jalan.net/oup2000/oup2002.do?eventId=262628	大変身!!れきぶんビフォーアフター 告知	インターネット	
8月14日(金)	長崎新聞社	長崎新聞	大変身!!れきぶんビフォーアフター 取材記事	新聞	
	KTNテレビ長崎	ヨジマル!	スタッフ出演・收藏品紹介	テレビ	
8月15日(土)	長崎県警察	でじま	收藏品紹介	機関誌	
8月16日(日)	長崎新聞社	長崎新聞	特集展示「水・陸・空いきものパビリオン」 取材記事	新聞	
8月20日(木)	長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ	特集展示「水・陸・空いきものパビリオン」 取材	テレビ	
8月21日(金)	NHK長崎放送局	県内ニュース(昼・夕方)	大変身!!れきぶんビフォーアフター 取材	テレビ	
	KTNテレビ長崎	ヨジマル!	スタッフ出演	テレビ	
8月25日(火)	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎	龍馬像・館長出演	テレビ	
8月30日(日)	ドキュメンタリージャパン	NHK BS-1	BS1スペシャル「江戸時代の知恵に学べ〜コロナ時代を生きる術〜」	テレビ	
	長崎新聞社	長崎新聞	樋口家文庫 長崎市に寄贈	新聞	
9月1日(火)	朝日新聞社	美術館・博物館表 九州版夕刊	くんち三八六年展 告知	新聞	
	アートネ編集部	アートカルチャーウェブマガジン ARTNE	くんち三八六年展 https://artne.jp/event/1470	インターネット	
	長崎ケーブルメディア	TVガイド	くんち三八六年展 告知	会員誌	
	ながさきプレス	ながさきプレス	くんち三八六年展 告知	雑誌	
9月2日(水)	NHK長崎放送局	イブニング長崎	くんち三八六年展取材	テレビ	
	イベントバンク	Yahoo!ロコ(地域情報)	https://loco.yahoo.co.jp/nagasaki/event/?q=%E3%81%8F%E3%82%93%E3%81%A1%E4%B8%89%E5%85%AB%E5%85%AD%E5%B9%B4%E5%B1%95		インターネット
		BIGLOBE旅行	https://travel.biglobe.ne.jp/family/event/detail/10393423.html		
		日本旅行	http://www.nta.co.jp/kokunai/special/eventinfo/10393423.htm		
		J:COM ZAQおでかけガイド	https://odekake.zaq.ne.jp/b/zaq/info/eb10393423/?poi=event		
		トラベルバリュー(たびゲーター)	https://travel-value.jp/guide/articles/10393423		
		大東建託 進化する暮らし	https://dk-kurashi.com/events/10393423		
		goo地図	https://map.goo.ne.jp/event/search/address/42201/		
		ゆこゆこネット	https://www.yukoyuko.net/guide/search/event/L10/P42/		
		Walkerplus(KADOKAWA)	https://www.google.co.jp/search?hl=ja&lr=lang_ja&q=%22%E3%81%8F%E3%82%93%E3%81%A1%E4%B8%89%E5%85%AB%E5%85%AD%E5%B9%B4%E5%B1%95%22+site:www.walkerplus.com		
		いこーよ	https://iko-yo.net/search?q=%E3%81%8F%E3%82%93%E3%81%A1%E4%B8%89%E5%85%AB%E5%85%AD%E5%B9%B4%E5%B1%95		
		シュミカツ!	https://segask.jp/search?select_g=1&keyword_g=%E3%81%8F%E3%82%93%E3%81%A1%E4%B8%89%E5%85%AB%E5%85%AD%E5%B9%B4%E5%B1%95		
			CableGate、大東建託 進化する暮らし、ドコモ iコンシェル、my daiz、いこーよ、BIG X COONNECT、SmartNews、Japan Travel Guide、小田急アプリ、Yahoo! MAP		
	ながさきプレス	ながさきプレスWEB	くんち三八六年展	インターネット	
9月3日(木)	読売新聞社	読売新聞	台風9号 臨時休館	新聞	
9月4日(金)	KTNテレビ長崎	ヨジマル!	スタッフ出演	テレビ	

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容	媒体区分
9月5日(土)	NIB長崎国際放送	ひるじげドン	くんち三八六年展 告知	テレビ
9月8日(火)	長崎県観光振興課	Go!Go!ともっち	くんち三八六年展 告知	インターネット
9月10日(木)	読売新聞社	読売新聞	くんち三八六年展 取材	新聞
9月11日(金)	長崎新聞社	ととってmotto!	くんち三八六年展 告知	新聞・FP
	長崎新聞社	長崎新聞	くんち三八六年展 取材	新聞
	KTNテレビ長崎	ヨジマル	くんち三八六年展 取材	テレビ
	NBC長崎放送	Pintl	くんち三八六年展 取材	テレビ
	長崎ケーブルメディア	なんでんcafé	くんち三八六年展 取材	テレビ
9月14日(月)	公益財団法人 関西・大阪21世紀協会	文化力 No.134 (関西・大阪)	特別展「博覧会の世紀」展	FP
9月15日(火)	エース出版	E-Cale Vol.80	あれもこれも黄檗!?展 告知	FP
	エー・アール・ティー	月刊九州王国	長崎刺繍、嘉勢氏インタビュー、館紹介	雑誌
	長崎県警察	でじま	収蔵品紹介	機関誌
9月18日(金)	KTNテレビ長崎	ヨジマル!	スタッフ出演	テレビ
9月19日(土)	毎日新聞社	毎日新聞	くんち三八六年展	新聞
9月25日(金)	長崎新聞社	ととってmotto!	町屋くんち	新聞・FP
9月26日(土)	朝日新聞社	朝日新聞	くんち三八六年展・町屋 取材	新聞
9月27日(日)	住navi	ワイヤーママ長崎10月号	くんち三八六年展 告知・読者プレゼント	FP
9月28日(月)	NBCラジオ	ザ・チャージ!	くんち三八六年展紹介(研究員電話生出演)	ラジオ
	イーブワークス	楽 49号	長崎歴史文化博物館 特集	雑誌
9月30日(水)	JAF長崎支部	まーちゃんの長崎探訪 長崎くんち編	くんち三八六年展 取材	インターネット
10月1日(木)	ながさきプレス	ながさきプレス	特集展示「青方文書」の世界その2	雑誌
	長崎ケーブルメディア	TVガイド	くんち三八六年展 告知	会員誌
10月2日(金)	長崎新聞社	長崎新聞	キャンパスメンバーズ 認定式 取材	新聞
10月5日(月)	株式会社エディキューブ	刀剣画報	博物館・収蔵品紹介	雑誌
10月9日(金)	長崎新聞社	長崎新聞	特集展示「青方文書」の世界その2(取材記事)	新聞
		ととってmotto! No.19	あれもこれも黄檗!?展 告知	新聞・FP
	ライフ企画社	99view	特集展示「青方文書」の世界その2	雑誌・FP
10月10日(土)	公益社団法人 瓊林会	NAGASAKI WALKS	博物館紹介	facebook
10月15日(木)	イベントバンク	BIGLOBE旅行	https://travel.biglobe.ne.jp/family/event/detail/10396701.html	インターネット
		日本旅行	http://www.nta.co.jp/kokunai/special/eventinfo/10396701.htm	
		J:COM ZAQおでかけガイド	https://odekake.zaq.ne.jp/b/zaq/info/eb10396701/?poi=event	
		トラベルバリュー(たびゲーター)	https://travel-value.jp/guide/articles/10396701	
		大東建託 進化する暮らし	https://dk-kurashi.com/events/10396701	
		goo地図	https://map.goo.ne.jp/event/search/address/42201/	
		ゆこゆこネット	https://www.yukoyuko.net/guide/search/event/L10/P42/	
		Walkerplus (KADOKAWA)	https://www.google.co.jp/search?hl=ja&lr=lang_ja&q=%22%E3%81%82%E3%82%8C%E3%82%82%E3%81%93%E3%82%82%E9%BB%84%E6%AA%97%EF%BC%81%EF%BC%9F%E5%B1%95%22+site:www.walkerplus.com	
		いこーよ	https://iko-yo.net/search?q=%E3%81%82%E3%82%8C%E3%82%82%E3%81%93%E3%82%82%E9%BB%84%E6%AA%97%EF%BC%81%EF%BC%9F%E5%B1%95	
		シュミカツ!	https://segask.jp/search?select_g=1&keyword_g=%E3%81%82%E3%82%8C%E3%82%82%E3%81%93%E3%82%82%E9%BB%84%E6%AA%97%EF%BC%81%EF%BC%9F%E5%B1%95	
CableGate、大東建託 進化する暮らし、ドコモ iコンシェル、my daiz、いこーよ、BIG X COONNECT、SmartNews、Japan Travel Guide、小田急アプリ、Yahoo! MAP				

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容	媒体区分
10月15日(木)	長崎県警察	でじま	收藏品紹介	機関誌
10月18日(日)	長崎新聞社	長崎新聞	雑誌「楽」博物館特集号 紹介	新聞
10月22日(木)	NHK長崎放送局	ニュース(昼) イブニング長崎	あれもこれも黄檗!?展 長崎刺繍再発見塾 取材	テレビ
	アートネ編集部	アートカルチャーウェブマガジン ARTNE	あれもこれも!?黄檗展 https://artne.jp/event/1507	インターネット
10月23日(金)	長崎新聞社	とととってmotto! No.20	「青方文書」の世界その2 告知	新聞・FP
	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演	テレビ
10月27日(火)	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎 「還暦記者どこへ?」	寸劇紹介(ごぼんについて)	テレビ
	朝日新聞マリオン編集部	朝日新聞(九州版夕刊)	美術館・博物館情報 (あれもこれも黄檗!?展 告知)	新聞
10月30日(金)	KTNテレビ長崎	マルっと!	開館15周年関連イベント 告知	テレビ
10月31日(土)	エース出版長崎株式会社	E・Cale Vol.82	あれもこれも黄檗!?展、特集展示「金唐革の世界」	FP
11月1日(日)	長崎ケーブルメディア	TVガイド	あれもこれも黄檗!?展 告知	会員誌
	長崎新聞社	長崎新聞	開館15周年記念講演会・シンポジウム 告知	新聞
11月3日(火祝)	NCC長崎文化放送	ANNニュース長崎、 スーパーJチャンネル長崎	開館15周年	テレビ
	NIB長崎国際放送	NNNストレイトニュース、 ニュースevery	開館15周年	テレビ
11月4日(水)	長崎新聞社	長崎新聞	あれもこれも黄檗!?展 取材記事	新聞
11月5日(木)	読売新聞社	読売新聞	あれもこれも黄檗!?展 情報掲載	新聞
11月6日(金)	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演	テレビ
11月9日(月)	NIB長崎国際テレビ	ニュース(昼)、 news.every(夕方)	秋の火災予防運動	テレビ
	NBC長崎放送	ニュース(昼)、Pint(夕方)	秋の火災予防運動	テレビ
	KTNテレビ長崎	ニュース(昼)	秋の火災予防運動	テレビ
	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎 (夕方)	秋の火災予防運動	テレビ
11月13日(金)	長崎新聞社	長崎新聞	小説家澤田氏 来館 取材記事	新聞
	長崎新聞社	長崎新聞	開館15周年記念講演会・シンポジウム 告知	新聞
	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演	テレビ
11月14日(土)	長崎新聞社	長崎新聞	あれもこれも黄檗!?展	新聞
11月15日(日)	長崎新聞社	長崎新聞	開館15周年記念講演会・シンポジウム 取材 記事	新聞
	長崎県警察	でじま	收藏品紹介	機関誌
11月19日(木)	長崎県観光振興課	長崎旅ネット GO!GO!ともっちブログ	金唐革の世界 紹介	インターネット
	株パイ インターナショナル	めでたしめずらし 瑞獣珍獣	收藏品・博物館紹介	書籍
11月20日(金)	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演	テレビ
11月22日(日)	朝日新聞社	朝日新聞	あれもこれも黄檗!?展	新聞
	毎日新聞社	毎日新聞	あれもこれも黄檗!?展	新聞
11月25日(水)	長崎新聞社	長崎新聞	開館15周年記念講演会 詳報	新聞
11月26日(木)	読売新聞社	読売新聞	金唐革の世界 取材記事	新聞
11月27日(金)	ながさきプレス	ながさきプレス12月号	金唐革の世界	雑誌
	長崎新聞社	とととってmotto! No.22	金唐革の世界	新聞・FP
	住navi	ワイヤーママ長崎 12月号	金唐革の世界 告知・読者プレゼント	FP
	ホビージャパン	刀剣聖地巡礼ガイド 西国かたな旅	博物館紹介	ムック
	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演	テレビ
11月30日(月)	エース出版長崎株式会社	E・Cale	金唐革の世界、つるツル展 告知	FP
	長崎新聞社	長崎新聞	長崎学公開学習会(高島秋帆)	新聞
12月1日(火)	長崎ケーブルメディア	TVガイド	特集展示「金唐革の世界」告知	会員誌

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容	媒体区分
12月4日(金)	長崎新聞社	長崎新聞	金唐草の世界 取材記事	新聞
	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演	テレビ
12月6日(日)	日本経済新聞社	憧れの長崎-西遊の系譜 (1) (NIKKEI The STYLE)	収蔵資料	新聞
12月11日(金)	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演	テレビ
12月13日(日)	日本経済新聞社	憧れの長崎-西遊の系譜 (2) (NIKKEI The STYLE)	唐蘭館絵巻 他 収蔵資料	新聞
12月15日(火)	長崎県警察	でじま	収蔵品紹介	機関誌
12月17日(木)	長崎新聞社	長崎新聞	蓄積型体験学習 取材記事	新聞
12月18日(金)	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演、正月イベント、つるツル展告知	テレビ
12月20日(日)	日本経済新聞社	憧れの長崎-西遊の系譜 (3) (NIKKEI The STYLE)	唐蘭館絵巻 他 収蔵資料	新聞
12月22日(火)	朝日新聞社	九州版夕刊さんさんネット	つるツル展 告知	新聞
12月24日(木)	NBCラジオ	あさカラ!	れきぶんのお正月告知(入り中)	ラジオ
12月25日(金)	長崎新聞社	とととってmotto! No.22	つるツル展 告知	新聞・FP
	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演	テレビ
12月27日(日)	日本経済新聞社	憧れの長崎-西遊の系譜 (4) (NIKKEI The STYLE)	河童図屏風 他 収蔵資料	新聞
1月1日(金祝)	長崎新聞社	新年号 第三部 開港450年特集記事	南蛮人来朝之図 収蔵資料	新聞
	長崎ケーブルメディア	TVガイド	特集展示「つるツル展」告知	会員誌
1月4日(月)~	日本自動車連盟	JAFナビ	友の会1年無料プレゼント	インターネット
1月6日(水)	長崎新聞社	長崎新聞	長崎歴史文化博物館 来訪情報	新聞
1月7日(木)	長崎県観光連盟	長崎旅ネット 「G o!G o!ともっち」	町屋正月飾りほか(長崎伝統の正月習俗)	インターネット
1月8日(金)	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演	テレビ
1月10日(日)	読売新聞社	読売新聞	各地で雪(臨時休館情報)	新聞
1月14日(木)	読売新聞社	読売新聞	ギャラリー(つるツル展情報)	新聞
1月15日(金)	KTNテレビ長崎	マルっと!	収蔵資料紹介 干支(丑)、スタッフ出演	テレビ
	長崎県警察	でじま	収蔵品紹介	機関誌
1月19日(火)	長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ	特集展示「つるツル展」	テレビ
1月22日(金)	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演	テレビ
1月23日(土)	TBS系列局	世界ふしぎ発見!	シーボルト特集 常設展示室・奉行所	テレビ
1月27日(水)	住navi	ワイヤーママ長崎 2月号	特集展示 長崎奉行所展 告知・読者プレゼント	FP
1月29日(金)	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演	テレビ
1月31日(日)	毎日新聞社	毎日新聞	町屋 節分料理(取材記事)	新聞
	西日本新聞社	西日本新聞	町屋 節分料理(取材記事)	新聞
2月1日(月)	長崎ケーブルメディア	TVガイド	特集展示「長崎奉行所展」告知	会員誌
2月2日(火)	NBC長崎放送	Pintl	町屋 節分料理、追儺豆まき	テレビ
	KTNテレビ長崎	マルっと!	追儺豆まき	テレビ
	NIB長崎国際テレビ	ニュースevery	追儺豆まき	テレビ
2月3日(水)	長崎新聞社	長崎新聞	追儺豆まき	新聞
	NBC長崎放送	Pintl	長崎検定	テレビ
2月5日(金)	ライフ企画社	99view	特集展示「長崎奉行所展」	雑誌・FP
	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演	テレビ
2月6日(土)	TBS 公式YouTube	世界ふしぎ発見! オフショット	三浦按針関連取材(末次船絵馬) https://www.youtube.com/watch?v=Y70ssmkaQEI&feature=youtu.be	インターネット
2月7日(日)	長崎新聞社	長崎新聞	博物館大看板 井川惺亮氏作品紹介	新聞
2月12日(金)	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演	テレビ
2月15日(月)	長崎県警察	でじま	収蔵品紹介	機関誌
2月17日(土)	朝日新聞社	朝日新聞	開港450年事業 長崎市予算案	新聞
2月18日(木)	読売新聞社	読売新聞	イベント情報(銀嶺食文化体験募集)	新聞
2月19日(金)	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演	テレビ
2月20日(土)	朝日新聞社	朝日新聞(関東版)	オンライン修学旅行	新聞
2月21日(日)	大阪日日新聞社	大阪日日新聞	博覧会の世紀大阪で開幕	新聞

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容	媒体区分
2月23日(火祝)	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎	還暦記者どこへ? フェートン号事件	テレビ
	旅鶴編集室	GO TOKYO ONLINE	http://gotokyoonline.org (博物館概要紹介)	インターネット
2月26日(金)	長崎新聞社	とととってmotto!	特集展示「長崎奉行所展」	新聞・FP
	長崎新聞社	長崎新聞	食文化体験 告知	新聞
	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演	テレビ
3月1日(月)	長崎ケーブルメディア	TVガイド	特集展示「長崎奉行所展」 告知	会員誌
	NBC長崎放送	Twitter (MINIATURE LIFE展 in長崎)	ミニチュアライフ展2開催決定	インターネット・SNS
3月5日(金)	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演	テレビ
3月10日(水)	長崎新聞社	長崎新聞	特集展示「長崎奉行所展」 取材記事	新聞
	長崎新聞社	長崎新聞	当館収蔵品 記事	新聞
3月12日(金)	NBC長崎放送	ホームページ	イベント・コンサート情報(長崎開港450周年記念展告知) ミニチュアライフ展2開催告知	インターネット
	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演	テレビ
3月15日(月)	長崎県警察	でじま	収蔵品紹介	機関誌
3月16日(火)	長崎県観光振興課	GO!GO!ともっち ブログ	特集展示「長崎奉行所展」 取材記事	インターネット・SNS
	NBC長崎放送	Twitter (MINIATURE LIFE展 in長崎)	ミニチュアライフ展2開催告知	インターネット・SNS
3月19日(金)	西日本新聞社	お知らせ本舗	特集展示「長崎奉行所展」 告知	新聞
	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演・博物館インスタグラム紹介	テレビ
3月21日(日)	毎日新聞社	毎日新聞	博覧会の世紀 紹介記事	新聞
3月24日(水)	長崎新聞社	長崎新聞	来訪	新聞
3月26日(金)	KTNテレビ長崎	マルっと!	スタッフ出演・特集展示「長崎奉行所展」紹介	テレビ
	グローバルインデックス	ドリームニュース	早稲田システム開発「ポケット学芸員」長崎歴史文化博物館に導入	インターネット
3月29日(月)	アウトソーシングテクノロジー	ICT教育ニュース	早稲田システム開発「ポケット学芸員」長崎歴史文化博物館に導入	インターネット

○孫文・梅屋ミュージアム

掲載日・放送日	会社名	番組名・紙名・雑誌名	内容	媒体区分
4月8日(水)	NHK	歴史秘話ヒストリア	激闘!中国革命に賭けた日本人 孫文と梅屋庄吉	テレビ
	長崎新聞社	長崎新聞	臨時休館情報	新聞
5月22日(金)	長崎新聞社	石だたみ	ほんちゃんさん	新聞
10月25日(日)	NHK	今夜も生でさだまさし	館内から生放送	テレビ
11月6日(金)	長崎県観光振興課	長崎旅ネット GO!GO!ともっちブログ	孫文梅屋庄吉M、友情月間 紹介	インターネット
3月2日(火)	秋田魁新報社	秋田魁新報社	建築家・下田菊太郎、施設 紹介	新聞

2 営業活動

【営業目的】

- ①修学旅行・一般団体(募集ツアー含む)を誘致活動。
- ②市内宿泊施設への宣伝活動をホテル・ゲストハウス等への施設数拡大による強化。
- ③県内宿泊施設・観光・立寄施設等への宣伝活動の地域拡大・訪問回数増による強化。
(県央・島原・小浜・雲仙地区)
- ④本年度以降の企画展に対する協賛企業及び後援団体の継続訪問活動。
- ⑤学校法人向け、新規会員制度(キャンパスメンバーズ)への営業活動。

【主な活動内容】

- ※前年度より新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、下記の営業活動はできなかった。
例年のインバウンドツアー(クルーズ船客)・イベント客(帆船まつり、ランタンフェスティバル等)への誘致活動の停止、ならびに、県外旅行会社への訪問自粛(県・市の観光誘致団体との、連携営業活動含む。)
- ※修学旅行誘致活動は、本年度、下見来館が、本体実施日間際の訪問が多かった。出来るだけ面談して、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等細かく案内対応した。
- ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等案内については、休館・短縮開館含め、九州管内顧客の修学旅行扱い旅行代理店中心に、メールFAX等で、細かく情報交換した。

《4月》

- 3日 小浜/雲仙温泉宿泊施設・立ち寄り観光施設へ料金改定告知・セールス活動。(計：21社)
※新型コロナウイルス感染拡大防止対策による臨時休館告知。
(4/10～5/24休館)

- 《5月》 ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策による臨時休館延長ならびに、開館時間短縮等の告知。

- 《6月》 ※学校法人へのキャンパスメンバーズの提案説明活動。
29日 小浜温泉地区宿泊施設ならびに、企業へ「大変身!!れきぶんビフォーアフター展」告知活動。(計：13施設)

- 《7月》 ※学校法人へのキャンパスメンバーズの提案説明活動。
15日 長崎県観光連盟令和2年度通常総会出席。
会場：ホテルニュー長崎

- 《8月》 ※夏休み期間 修学旅行下見対応校実績(43校 教職員数150名)
24日 島原地区の旅行会社へ県内振替修学旅行の誘致ならびに、収蔵品展(くんち展・あれもこれも黄檗展)告知による一般団体誘致活動。(計：7社)
28日 県北地区の県内振替修学旅行ならびに、収蔵品展(くんち展・あれもこれも黄檗展)告知による誘致活動。(計：11社)

- 《9月》 ※修学旅行下見(13校-40名)、修学旅行(55校-1,960名)受入対応。
14日 小浜・雲仙温泉地区宿泊施設ならびに、企業へ収蔵品展(くんち展・あれもこれも黄檗展)告知による誘致活動。(計：13施設)

- 《10月》 ※修学旅行(7校-15名)下見対応と、修学旅行(152校-7,110名)受入対応中心となった。

- 《11月》 ※修学旅行下見(4校-10名)、修学旅行(146校-7,437名)受入対応。
※学校法人へのキャンパスメンバーズの提案説明活動。(長崎国際大学)
6・18日 県央・北旅行会社へ、商品造成での送客お礼ならびに、地域共通券利用促進お礼。(計6社)

- 《12月》 ※修学旅行下見(3校-9名)、修学旅行(58校-1,641名)受入対応。
18日 小浜/雲仙温泉宿泊施設・立ち寄り観光施設へ告知協力お礼ならびに、情報交換。(計：11社)

- 《1月》 ※例年の観光関連機関新春賀詞交歓会中止。
修学旅行(2校-61名)受入対応。

- 《2月》 ※修学旅行下見(6校-7名)、修学旅行(3校-99名)受入対応。

- 《3月》 ※修学旅行下見(令和3年4-6月予定関西の中学校10校-37名)、修学旅行(20校-1,125名)受入対応。
キャンパスメンバーズ、更新・契約確認で各学校法人訪問活動実施。
次年度(令和3年度)更新・新入会の、大学4校
(長崎外国語大学・活水女子大学・長崎大学・長崎純心大学)

9

利用状況

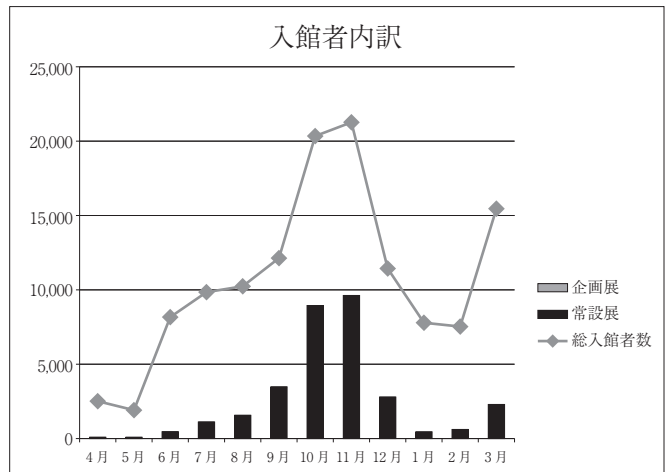
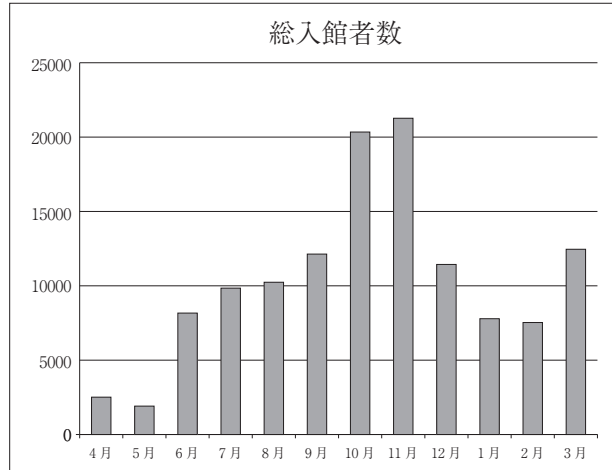
1 来館者統計

【長崎歴史文化博物館】

ア) 入館者数

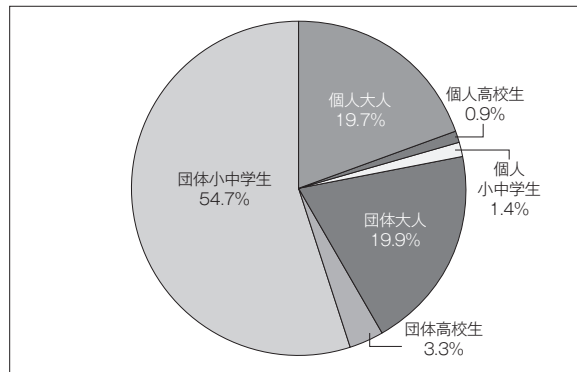
	総入館者数	常設展	企画展
4月	2,513	86	0
5月	1,911	85	0
6月	8,167	459	0
7月	9,845	1,113	0
8月	10,240	1,563	0
9月	12,134	3,471	0
10月	20,341	8,948	0
11月	21,268	9,622	0
12月	11,437	2,788	0
1月	7,789	446	0
2月	7,532	612	0
3月	12,458	2,293	0
合計	125,635	31,486	0

- ※1 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い
4/10～5/24臨時休館
- ※2 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い
企画展中止



イ) 常設展入館者内訳

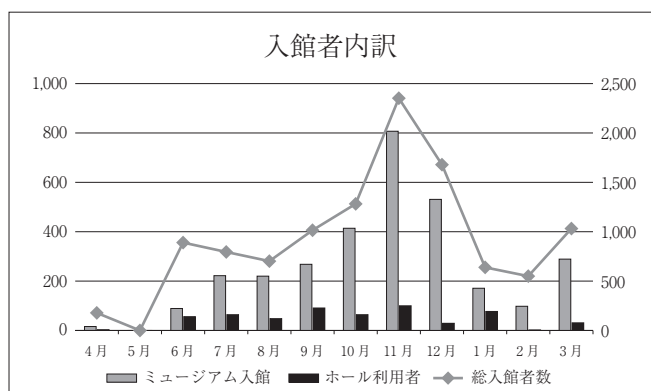
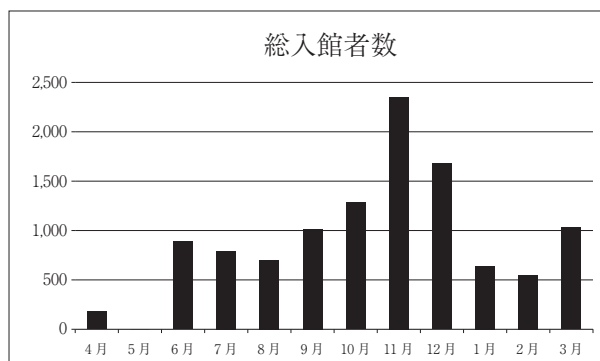
個人	大人	6,217	19.7%
	高校生	299	0.9%
	小中学生	448	1.4%
団体	大人	6,267	19.9%
	高校生	1,029	3.3%
	小中学生	17,226	54.7%
		31,486	100.0%



【長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館/長崎近代交流史と孫文梅屋庄吉ミュージアム】

ア) 入館者数

	総入館者数	ミュージアム入館	ホール利用者
4月	178	16	3
5月	0	0	0
6月	890	89	56
7月	795	222	64
8月	702	220	48
9月	1,015	268	91
10月	1,282	414	64
11月	2,352	807	100
12月	1,679	531	29
1月	639	171	77
2月	550	98	2
3月	1,032	289	31
合計	11,114	3,125	565



2 主な出来事と来館者

【長崎歴史文化博物館】

月日	内容
4月10日～5月24日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館
4月25日～6月14日	企画展「美を競う肉筆浮世絵の世界」開催中止
5月25日	再開館 特集展示「浦上一番崩れを読む」、トピック展示「病と闘う」開幕（7月19日（日）まで）
6月1日	長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館 再開館
6月7日	これから始める古文書講座 再開
7月18日～8月30日	企画展「博覧会の世紀」開催中止
7月18日～8月30日	収藏品展「大変身!! れきぶん ビフォーアフター」開催
7月22日～9月13日	特集展示「水・陸・空 いきものパビリオン」開催
7月26日～8月16日	長崎市被爆75周年記念事業 8+9 2020 -ナガサキの地でアートを考える（主催:RING ART運営委員会）開催
8月10日	ペーター ファン・デル・フリート オランダ王国大使 来館
9月2日～10月11日	「くんち三八六年展」開催
9月16日～11月15日	特集展示「青方文書」の世界 その2 開催
9月26日～11月23日	特別展「長崎の黄檗—隠元禅師と唐寺をめぐる物語」開催中止
10月1日	キャンパスメンバーズ認定式
10月5日	開館15周年スペシャルチケット、れきぶんの福袋「れきぶくろ」発売
10月14日～11月23日	収藏品展「あれもこれも黄檗!展」開催
11月3日	開館15周年記念日
11月9日	秋の火災予防運動 消防訓練実施
11月14日	開館15周年記念講演・シンポジウム開催
11月18日～12月20日	特集展示「金唐革の世界」
12月19日～令和3年1月末日	企画展「大恐竜展（仮称）」開催中止

月日	内容
12月13日	長崎大学教育学部 蓄積型体験学習 最終発表会
12月23日～ 令和3年2月14日	特集展示「つるツル展」
令和3年2月10日	香川県・高松第一高等学校とのオンライン講座実施
令和3年2月17日 ～5月16日	特集展示「長崎奉行所展」
令和3年2月18日	神奈川県立相模原総合高等学校バーチャルツアー実施
令和3年2月20日、 3月13日	食文化体験「桃の節句+シュガーロード」開催
令和3年3月20日～	多言語対応の展示解説アプリ「ポケット学芸員」導入
令和3年3月31日	開館時間短縮終了

3 貸館・貸室

■令和2年度 貸し施設状況（有料）

	件数	人数
ホール	29	1,572
イベントの間	29	702
会議室	53	576
講座室	69	1,378
その他（イベント広場、企画展示室等）	7	764
合計	187	4,992

10 収 支

【長崎歴史文化博物館】 〈負担金事業〉

単位：円

		協定予算額 ①	実績額 ②	予算との差異 ②-①
収入 合計		362,279,000	362,198,914	▲ 80,086
設置者負担金		361,703,000	361,703,000	± 0
利用者負担金収入		576,000	278,500	▲ 297,500
指定管理者負担金		0	217,414	+ 217,414
支出 合計		362,279,000	362,198,914	▲ 80,086
管理運営人件費		129,087,000	134,853,571	+ 5,766,571
運営事業費	長崎学生涯学習支援事業	16,702,000	15,079,007	▲ 1,622,993
	調査研究事業	16,984,000	16,235,397	▲ 748,603
光熱水費		72,418,000	63,437,583	▲ 8,980,417
維持管理費	施設設備保守点検業務	48,100,000	48,528,839	+ 428,839
	清掃、警備、樹木管理、修繕業務	39,644,000	43,557,693	+ 3,913,693
	受付案内業務	35,200,000	35,199,936	▲ 64
	発券機、車両リース	4,144,000	4,049,588	▲ 94,412
	コロナウイルス感染症対策経費	0	1,257,300	+ 1,257,300
負担金事業収支		0	0	± 0

〈利用料金及びその他自主事業〉

単位：円

		予算額 ①	実績額 ②	予算との差異 ②-①
収入 合計		141,018,375	29,384,689	▲ 111,633,686
観覧料	常設展観覧	26,590,000	7,730,460	▲ 18,859,540
	企画展観覧	60,946,000	0	▲ 60,946,000
	友の会	1,196,000	671,000	▲ 525,000
	協賛金等収入	0	0	0
その他利用料金	駐車場収入	8,760,000	2,733,351	▲ 6,026,649
	施設貸し出し収入	3,768,000	3,161,970	▲ 606,030
ミュージアムショップ収入		25,356,375	9,548,004	▲ 15,808,371
飲食施設収入		14,402,000	5,539,904	▲ 8,862,096
支出 合計		134,926,923	40,407,890	▲ 94,519,033
展覧会事業費	常設展示事業費	3,202,000	2,395,259	▲ 806,741
	展覧会・企画展事業費	63,551,200	4,492,338	▲ 59,058,862
業務経費	広報費	6,600,000	2,692,788	▲ 3,907,212
	営業・マーケティング経費	3,273,600	412,137	▲ 2,861,463
	駐車場運営費	924,000	70,000	▲ 854,000
	その他利用料金事業	17,679,788	10,107,131	▲ 7,572,657
ミュージアムショップ営業支出		25,294,335	11,950,079	▲ 13,344,256
飲食施設営業支出		14,402,000	8,288,158	▲ 6,113,842
利用料金及びその他自主事業 収支		6,091,452	▲ 11,023,201	▲ 17,114,653

【長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム】

〈負担金事業〉

単位：円

		協定予算額 記念館+ミュージアム	実績額 記念館+ミュージアム	予算との差異 記念館+ミュージアム
収入 合計		18,620,600	19,114,547	+ 493,947
設置者負担金		18,620,600	19,025,591	+ 404,991
利用者負担金収入		0	0	±0
指定管理者負担金		0	88,956	+ 88,956
支出 合計		19,877,000	19,310,622	▲ 566,378
管理運営人件費		12,300,000	12,747,558	+ 447,558
運営事業費		2,001,000	1,339,354	▲ 661,646
光熱水費		2,300,000	1,901,395	▲ 398,605
維持管理費	施設設備保守点検業務	383,000	567,259	+ 184,259
	清掃、警備、樹木管理、修繕業務	2,893,000	2,755,056	▲ 137,944
負担金事業収支		▲ 1,256,400	▲ 196,075	+ 1,060,325

〈利用料金事業〉

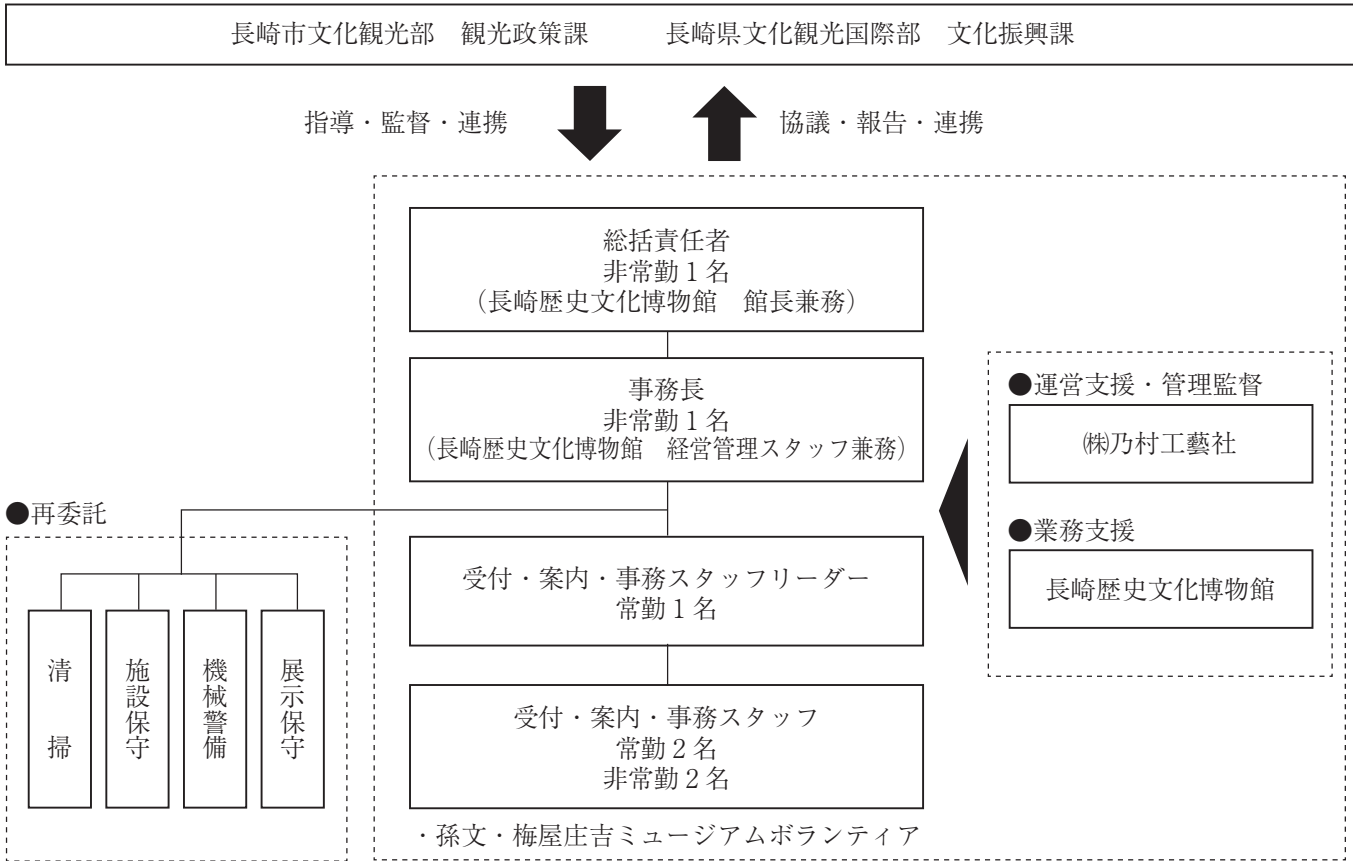
単位：円

		予算額 記念館+ミュージアム	実績額 記念館+ミュージアム	予算との差異 記念館+ミュージアム
収入 合計		3,056,400	642,775	▲ 2,413,625
観覧料収入		1,800,000	561,460	▲ 1,238,540
貸ホール収入		1,256,400	70,515	▲ 1,185,885
その他利用料金収入		0	10,800	10,800
支出 合計		1,800,000	120,779	▲ 1,679,221
展覧会事業費	常設展示事業費	975,000	91,520	▲ 883,480
	展覧会・企画展事業費	0	0	0
業務経費	広報・マーケティング費	360,000	0	▲ 360,000
	その他利用料金事業	465,000	29,259	▲ 435,741
利用料金事業 収支		1,256,400	521,996	▲ 734,404

〈参考：その他自主事業〉

単位：円

		予算額 記念館+ミュージアム	実績額 記念館+ミュージアム	予算との差異 記念館+ミュージアム
ミュージアムショップ収入		1,050,000	285,553	▲ 764,447
ミュージアムショップ営業支出		1,050,000	204,636	▲ 845,364
その他自主事業 収支		0	80,917	80,917



〈職員構成〉

総括責任者	1
事務長	1
受付・案内・事務スタッフリーダー	1
スタッフ（常勤）	2
スタッフ（非常勤）	2
<hr/>	
合計	7

総括責任者（館長兼務）	水嶋 英治
事務長（兼務）	真崎 俊介
受付・案内・事務スタッフリーダー	本村 明子
スタッフ	板倉 加奈
スタッフ	池田 憲彦
スタッフ	金氣奈々美
スタッフ	藤瀬 紀子

2 友の会

○令和2年度

個人会員	79人
賛助会員	9団体

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
個人会員	287人	148人	140人	189人	180人
賛助会員	7団体	14団体	22団体	11団体	14団体
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	178人	199人	153人	181人	122人
	13団体	13団体	13団体	12団体	11団体

賛助会員

(令和2年度)

アイティーアイ株式会社 JR九州サービスサポート株式会社 有限会社葵巧芸社 崎永海運株式会社 有限会社藤勝苑 扇精光ホールディングス株式会社 長崎空港ビルディング株式会社 学校法人長崎学院 長崎外国語大学 ほか

新型コロナウイルスの影響により企画展を中止したことで、例年実施している友の会会員向けの企画展特別鑑賞会は中止した。

〈個人会員〉

○年会費 5,200円

○有効期間 1年間

○特典

1. 常設展を無料でご観覧いただけます。
2. 当館主催企画展等を無料でご観覧いただけます。
3. 長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムを無料でご観覧いただけます。
4. 「長崎れきぶんNEWS」を年4回お届けいたします。
5. 館内ミュージアムショップで1割引のお買い物ができます。
6. 館内レストランは1割引でご利用いただけます。
7. 当館主催の企画展の開会式にご招待いたします。
8. 各種催しのご案内を送付します。
9. 佐賀宇宙科学館及び壱岐市立一支国博物館に割引で入場できます。
10. 長崎県美術館・大分県立美術館・熊本県立美術館・九州国立博物館主催の企画・常設展を割引料金でご覧いただけます。

※九州国立博物館は文化交流展のみとなります

〈賛助会員〉

○年会費 1口 52,000円

○有効期間 1年間

○特典

1. 会員証のご提示により同伴1名まで常設展及び当館主催企画展を無料でご観覧いただけます。
2. 当館主催企画展チケット、1口50枚をお渡しいたします。常設展チケット、1口30枚をお渡しいたします。
3. 当館主催の企画展の開会式に1名ご招待いたします。
4. 長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムを無料でご観覧いただけます。
5. 「長崎れきぶんNEWS」を年4回お届けいたします。
6. 館内ミュージアムショップで1割引のお買い物ができます。
7. 館内レストランは1割引でご利用いただけます。
8. 佐賀宇宙科学館及び壱岐市立一支国博物館に割引で入場できます。
9. 館内貸室は2割引でご利用できます。
10. 1階エントランスにて賛助会員名を掲示させていただきます。
11. 長崎県美術館・大分県立美術館・熊本県立美術館・九州国立博物館主催の企画・常設展を割引料金でご覧いただけます。

※九州国立博物館は文化交流展のみとなります

1 長崎歴史文化博物館

○建築概要

館名 長崎歴史文化博物館 Nagasaki Museum of History and Culture
 設置者 長崎県、長崎市
 運営者 指定管理者（株）乃村工藝社

（指定期間：平成28年4月1日～令和4年3月31日 6年間）

博物館法分類 相当施設

開館年月日 平成17年11月3日

所在地 〒850-0007 長崎県長崎市立山1丁目1-1

Tel：095-818-8366 Fax：095-818-8407

建築構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造、3階建

建築設計 （株）黒川紀章建築都市設計事務所

建築施工 竹中・親和・古賀特定建設工事共同企業体

展示設計施工 （株）乃村工藝社

敷地面積 14,413㎡

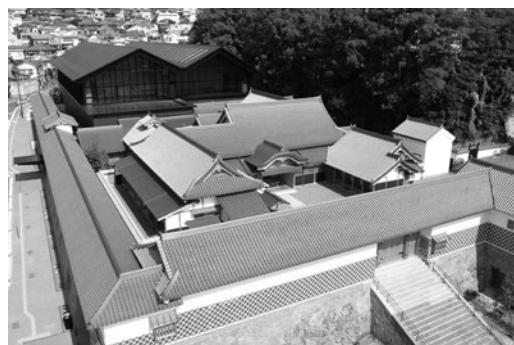
建築面積 5,091㎡

延床面積 13,309㎡（駐車場2,581㎡を含む）

建築工事 平成15年7月19日～平成17年8月31日

展示工事 平成15年10月3日～平成17年8月31日

総事業費 約80億円（長崎県：長崎市＝2：1）県53億円・市27億円



施設面積

展示関係	常設展示室	1,273.3㎡	教育普及関係	資料閲覧室/長崎学相談コーナー	140.0㎡
	長崎奉行所展示室	380.6㎡		閉架書庫	114.2㎡
	長崎奉行所立山役所（木造部分）	494.6㎡		ホール	178.3㎡
	企画展示室	1,030.8㎡		講座室	66.2㎡
収蔵関係	収蔵庫1	491.0㎡	調査研究関係	ボランティア室	47.1㎡
	収蔵庫2	158.5㎡		学芸資料室・情報処理室	175.9㎡
	収蔵庫前室	88.4㎡		研究室・資料整理室	92.4㎡
	文書収蔵庫	312.9㎡		外来研究室	37.9㎡
	文書収蔵庫前室	26.0㎡			

設備概要

電 気：高圧受電（6600V）トランスで低圧変換後各EPSに配電

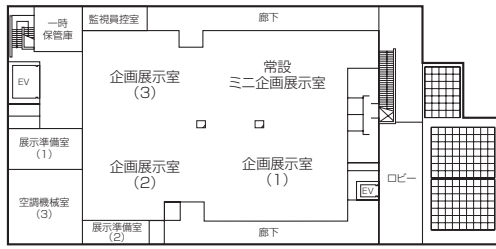
給 排 水：上水/雨水処理2系統加圧直送給水方式、汚水排水/屋内外合流方式・公共下水道放流

消 火：消火器とハロゲン化合物消火設備

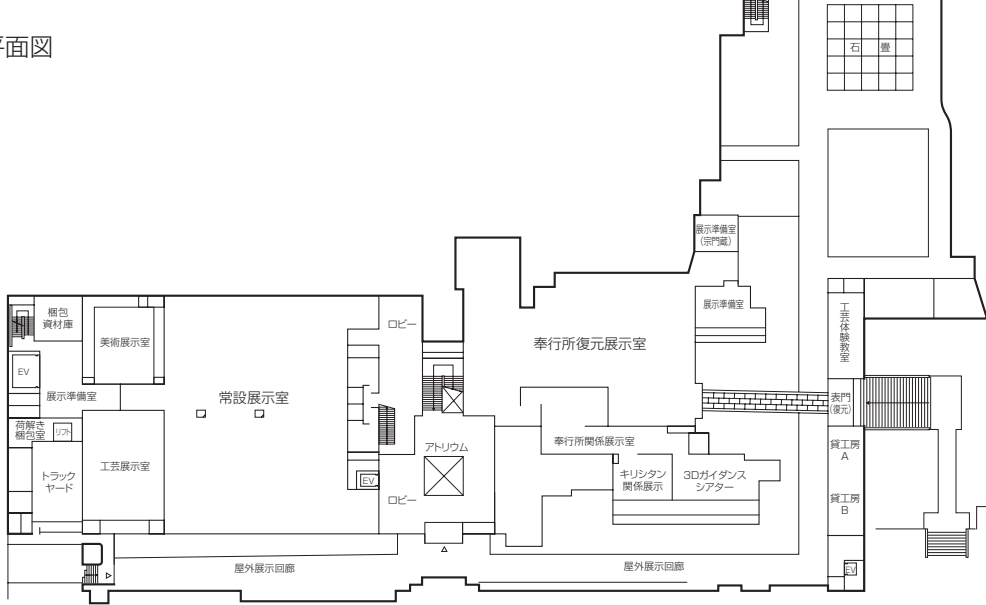
空調設備：熱源/ガス炊吸収冷温水発生機

空調方式：エアハンドリングユニット 定風量単一ダクト方式、中央監視システム

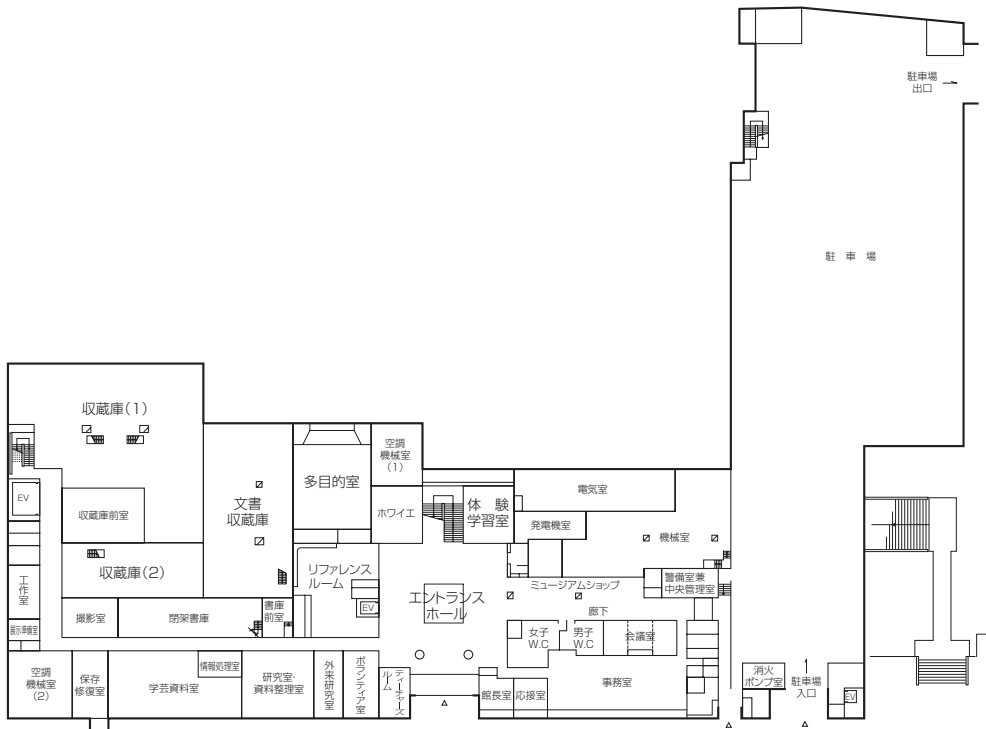
○施設平面図



2階平面図



1階平面図

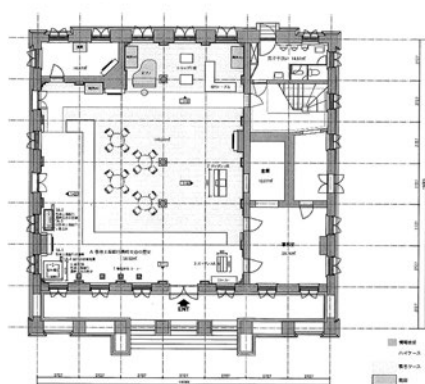


地下1階平面図

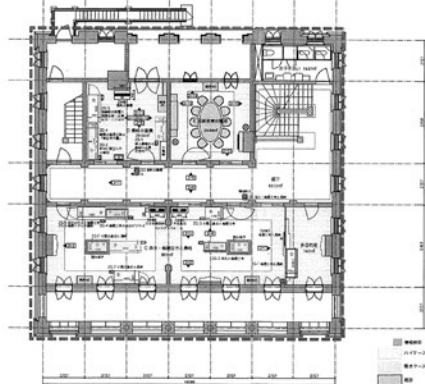
2 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム

○施設平面図 長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館

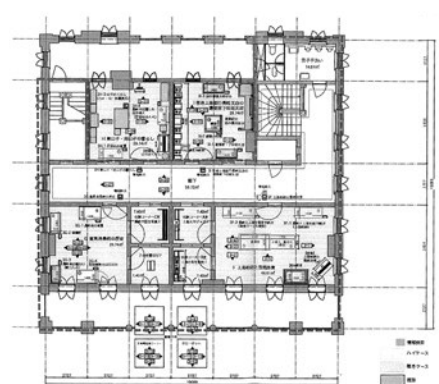
1 F
(施設名: 長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館)



2 F
(施設名: 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム)



3 F
(施設名: 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム)



○長崎近代史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム各室説明

	記念館または ミュージアムの別	室名	用途	床面積 (m ²)	天井高 (cm)	床	壁	天井
1F	記	ホール	展示	58.92	470	石・木板	漆喰	漆喰
	記	ホール	ホール	149.29	470	木板	漆喰	漆喰
	記	事務室	事務室	29.74	470	木板	漆喰	漆喰
	記	支店長室	応接室	14.87	470	木板	漆喰	漆喰
	記	男子手洗い	トイレ	14.87	470	木板	漆喰	漆喰
	記	階段室	階段室	14.87	470	木板	漆喰	漆喰
	記	倉庫	倉庫	12.07	470	木板	漆喰	漆喰
	記	エントランス (裏口)	エントランス (裏口)	12.09	470	木板	漆喰	漆喰
2F	ミュ	多目的室	多目的室	14.9	380	木板(絨毯張)	漆喰	漆喰
	ミュ	孫文・梅屋庄吉と長崎	展示	88.9	380	木板(絨毯張)	漆喰	漆喰
	ミュ	応接室兼会議室	展示	29.64	380	木板(絨毯張)	漆喰	漆喰
	ミュ	長崎の華僑 (華人)	展示	29.64	380	木板	漆喰	漆喰
	ミュ	廊下	廊下	60.53	380	木板(絨毯張)	漆喰	漆喰
	ミュ	女子手洗い	トイレ	14.87	380	石	漆喰	漆喰
	ミュ	ボランティア室	ボランティアスタッフ控え室	14.87	380	木板	漆喰	漆喰
	ミュ	階段室	階段	14.58	380	木板	漆喰	漆喰
	ミュ	ベランダ (国道側)		52.05	380	塗膜舗装	石	漆喰
ミュ	ベランダ (裏側)		22.3	380	塗膜舗装	石	漆喰	
3F	ミュ	上海航路と国際通信	展示	44.61	380	木版	漆喰	漆喰
	ミュ	貿易港長崎の歴史	展示	29.74	380	木版	漆喰	漆喰
	ミュ	体験コーナー 1	体験室	7.4	380	木版	漆喰	漆喰
	ミュ	体験コーナー 2	体験室	7.4	380	木版	漆喰	漆喰
	ミュ	体験コーナー 3	体験室	7.4	380	木版	漆喰	漆喰
	ミュ	クローゼット	クローゼット	7.4	380	木版	漆喰	漆喰
	ミュ	廊下	廊下	56.72	380	木板(絨毯張)	漆喰	漆喰
	ミュ	男子手洗い	トイレ	14.87	380	石	漆喰	漆喰
	ミュ	階段室	階段	14.58	380	木板(絨毯張)	漆喰	漆喰
	ミュ	ベランダ (国道側)		52.05	380	塗膜舗装	石	漆喰
	記	香港上海銀行長崎支店の建築家 下田菊太郎	展示	29.74	380	木版	漆喰	漆喰
	記	東山手・南山手の暮らし	展示	29.74	380	木版	漆喰	漆喰
	記	ベランダ (裏側)		29.74	380	塗膜舗装	漆喰	漆喰
記	倉庫	倉庫	7.43	380	木版	漆喰	漆喰	

※参考までに「記念館」の部分も記載

13 関連法規

○長崎歴史文化博物館条例

平成16年10月15日
長崎県条例第56号

長崎歴史文化博物館条例をここに公布する。

長崎歴史文化博物館条例

(設置)

第1条 貴重な長崎の歴史及び文化に関する資料（以下「資料」という。）の観覧及び学習の機会を提供することを通じて、情報の交流と文化活動の活性化を図り、もって長崎の学術及び文化の発展並びに地域の振興に寄与するため、長崎県は長崎市と共同して長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という。）を長崎市に設置する。

(事業)

第2条 博物館は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行うものとする。

- (1) 資料の収集、保管、修理、展示及び利用に関する事業
- (2) 資料に係る情報の提供に関する事業
- (3) 資料に係る調査及び研究に関する事業
- (4) 生涯学習に対応した講演会、講座等に関する事業
- (5) 広報、出版等の普及活動に関する事業
- (6) 学校との連携に関する事業
- (7) 他の博物館、美術館等との連携を図る事業
- (8) 前各号に掲げる事業の企画その他この条例の目的を達成するために必要な事業

(博物館の管理)

第3条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

(指定管理者の業務)

第4条 指定管理者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 博物館の利用の許可に関する業務
- (2) 博物館の利用に係る利用料金に関する業務
- (3) 博物館施設、その附属設備等の維持及び修繕に関する業務
- (4) 第2条各号に掲げる事業に関する業務（同条第1号に掲げる事業にあつては、その決定に係る知事の権限に属するものを除く。）
- (5) 前各号に掲げるもののほか、この条例の目的を達成するために必要な業務

(指定管理者の指定の手續)

第5条 第3条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に次の各号に掲げる書類を添えて、知事に対しその定める時期までに提出しなければならない。

- (1) 博物館の管理運営に関する事業計画書
- (2) 前号に掲げるもののほか、規則で定める書類

(指定管理者の指定の基準)

第6条 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次の各号に掲げる基準により指定管理者の候補を選定し、議会の議決を経て指定管理者の指定をするものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、住民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、第4条各号に掲げる業務を行うことにより、博物館の効用を最大限に発揮させるとともに、その管理運営に係る経費の縮減を図ることができるものであること。
- (3) 指定を受けようとするものが有する物的能力及び人的能力が、事業計画書に沿った博物館の管理運営を安定して行うことができるものであること。
- (4) この条例の目的に照らして、長崎県との連携が十分に図られるものであること。
- (5) 県内に事務所を有する法人であること。

(開館日)

第7条 博物館は、指定管理者が定める月に1回の施設の保守点検等のための休館日を除き開館するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を得て、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

(開館時間)

第8条 博物館の開館時間は、規則で定める。

(利用の許可等)

第9条 博物館を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の許可を受けようとする者の利用が次の各号のいずれかに該当するときは、当該利用の許可をしてはならない。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 集团的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- (3) 資料、博物館施設、その附属設備等をき損し、又は汚損するおそれがあると認められるとき。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、博物館の管理運営上支障があると認められるとき。

3 指定管理者は、第1項の許可に、博物館の管理運営上必要な範囲内で条件を附することができる。

4 第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、その権利を第三者に譲渡し、若しくは担保に供し、又は許可を受けた場所の全部若しくは一部を転貸してはならない。

(利用の許可の取消及び利用の中止)

第10条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

- (1) その利用が前条第2項各号のいずれかに該当することが明らかになったとき。
- (2) 前条第3項の規定による条件に違反したとき。
- (3) 前条第4項の規定に違反したとき。
- (4) 虚偽その他不正な行為により前条第1項の許可を受けたとき。
- (5) 公益上やむを得ない事由が生じたとき。

(利用許可事項の変更)

第11条 利用者が第9条第1項の規定により許可を受けた事項を変更し、又は利用を中止しようとするときは、指定管理者の承認を受けなければならない。

(利用料金)

第12条 利用者は、その利用に係る利用料金を納めなければならない。

- 2 指定管理者は、この条例の定めるところにより、利用料金を定めるものとする。
- 3 指定管理者は、利用料金を定める場合は、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。これを変更しようとする場合も、同様とする。
- 4 知事は、前項の規定により承認の申請があった場合において、当該申請に係る利用料金が博物館と規模、形態等において類似の博物館の同種料金と比較して、均衡のとれたものであると認めるときは、承認をするものとする。
- 5 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(利用料金の減免)

第13条 指定管理者は、公益上その他特別の理由があると認めるときは、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(利用料金の還付)

第14条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 第10条第5号の規定に該当することを理由として、同条の規定により利用の許可を取り消され、又はその利用を中止されたとき。
- (2) 利用者の責めに帰することができない理由により、第11条の規定による利用の許可の変更又はその利用の中止に係る承認を受けたとき。

(原状回復)

第15条 利用者は、博物館の利用を終了したとき又は第10条各号のいずれかの規定に該当することにより利用の許可を取り消され、若しくは利用を中止させられたときは、速やかに原状に回復しなければならない。

(損害賠償等)

第16条 資料、博物館施設、その附属設備等をき損し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第17条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理運営に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して1年2月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。ただし、第2条から第6条までの規定及び第17条の規定は公布の日から、第9条から第14条までの規定は公布の日から起算して1年を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(平成17年規則第69号で附則本文に規定する規則は平成17年11月3日から施行)

(平成17年規則第69号でただし書に規定する規則は平成17年8月5日から施行)

○長崎歴史文化博物館条例

平成16年9月30日

長崎市条例第145号

(設置)

第1条 本市は、長崎の歴史及び文化に関する資料を収集し、保存し、及び展示して市民の利用に供し、あわせてこれらの資料に関する調査研究を行うとともに、長崎の歴史及び文化に関する情報及び交流の場を提供し、もって学術及び文化の発展に寄与するため、長崎県と共同で長崎歴史文化博物館を長崎市立山1丁目1番1号に設ける。

2 長崎歴史文化博物館に長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムを、長崎市旧居留地建造物条例（平成6年長崎市条例第17号）第3条の表旧香港上海銀行長崎支店の項に規定する位置に設ける。

(平25条72・一部改正)

(事務の委託)

第2条 地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の14第1項の規定により、長崎歴史文化博物館に関する事務を長崎県に委託する。

附 則

この条例は、教育委員会規則に定める日から施行する。

(平成17年教育委員会規則第7号で平成17年11月3日から施行)

附 則（平成25年12月25日条例第72号）

この条例は、平成26年4月26日から施行する。

○長崎歴史文化博物館条例施行規則

平成17年8月5日
長崎県規則第68号

長崎歴史博物館条例施行規則をここに公布する。

長崎歴史文化博物館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、長崎歴史文化博物館条例（平成16年長崎県条例第56号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定申請)

第2条 条例第5条に規定する申請書は、長崎歴史文化博物館指定管理者指定申請書（別紙様式第1号）によるものとする。

2 条例第5条第1号に規定する事業計画書は、長崎歴史文化博物館に係る次に掲げる事項を記載するものとする。

- (1) 長崎歴史文化博物館の管理運営方針に関する事項
- (2) 中期計画に関する事項
- (3) 事業項目及びその内容に関する事項
- (4) 収支計画に関する事項
- (5) 組織及び人員に関する事項
- (6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

3 条例第5条第2号に規定する規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- (2) 役員の名簿及び履歴書
- (3) 団体の概要に関する書類
- (4) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

(開館時間)

第3条 条例第8条に規定する博物館の開館時間は、午前8時30分から午後9時までとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を得て、これを変更することができる。

(その他)

第4条 この規則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第3条の規定は平成17年11月3日から施行する。

別紙様式第1号

長崎歴史文化博物館及び長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの 管理運営に関する基本協定書

長崎県（以下「甲」という。）と長崎歴史文化博物館条例（平成16年10月15日付長崎県条例第56号、以下「条例」という。）第3条の規定に基づき指定管理者として指定する株式会社乃村工藝社（以下「乙」という。）とは、長崎歴史文化博物館及び長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの管理にあたり、次のとおり基本協定を締結する。

（趣旨）

第1条 この協定は、長崎歴史文化博物館及び長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムにおいて乙が行う指定管理者の業務（以下「指定管理業務」という。）の遂行にあたり、必要な基本的事項を定めることを目的とする。

（管理運営を行う施設等）

第2条 甲は乙に次の施設等（以下「施設等」という。）の管理運営業務を委任する。

（1）長崎歴史文化博物館

ア 名称 長崎歴史文化博物館

イ 所在地 長崎市立山1丁目1番1号

ウ 施設等 別添図面の範囲の土地（植栽を含む）、建物、付帯設備及び別に甲が提示する物品台帳登載の物品

（2）長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム

ア 名称 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム

イ 所在地 長崎市松が枝4番27号

ウ 施設等 記念館（3階建て）の2階、3階の一部、（別添配置図及び「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム各室説明」のとおり）

（指定期間）

第3条 長崎歴史文化博物館の指定管理期間は、平成28年4月1日から平成34年3月31日までとする。

（事業年度）

第4条 指定管理期間は、各年4月1日から翌年3月31日までを一事業年度として区分する。

（使命、基本理念及び基本的性格）

第5条 長崎歴史文化博物館に課せられた使命は、別紙1「長崎歴史文化博物館の使命」及び長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの基本理念及び基本的な性格は、別紙2「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの管理運営に関する基本理念及び基本的な性格」のとおりであり、指定管理者はこの使命の達成に努めなければならない。

（指定管理者の業務範囲）

第6条 条例第4条に基づく、乙の指定管理業務の範囲は、別紙3「長崎歴史文化博物館指定管理業務の範囲」及び別紙4「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム指定管理業務の範囲」のとおりとする。

（施設等の利用）

第7条 甲は、指定管理業務を遂行するために必要な施設等を、無償で乙に利用させるものとする。

（法令等の遵守）

第8条 乙は、指定管理業務の遂行にあたっては、次に掲げる法令等を遵守しなければならない。

（1）地方自治法

（2）文化財保護法

（3）長崎歴史文化博物館条例

（4）長崎歴史文化博物館条例施行規則

（5）労働基準法

（6）その他、当該指定管理業務の遂行に関連する法令等及び長崎歴史文化博物館及び長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムに関し議会の議決した事項

（基本的遵守事項）

第9条 乙は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

（1）指定管理業務の遂行にあたっては、善良なる管理者の注意義務をもってあたらなくてはならない。

（2）公の施設として、住民の公平かつ平等な利用を確保しなければならない。

（3）長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの管理運営にあたっては、重要文化財の中に設置されていることに鑑み、保存に影響を及ぼす行為をしてはならない。

(事業計画)

第10条 乙は、甲との協議に基づき、事業年度ごとに事業計画を策定する。

2 事業計画の内容については、事業年度ごとに細目協定として締結するものとする。

3 乙は事業計画に沿って、指定管理業務を実施するものとする。

4 乙が事業計画を変更しようとするときは、事前に甲と協議するものとする。

5 乙は毎年3ヵ年の事業計画を策定し、甲に提示するものとする。

(利用の許可に関する事項)

第11条 乙は、条例第9条及び第10条並びに第11条の規定に基づき、利用許可事務を行うものとする。

(開館日)

第12条 乙は、条例第7条第2項の規定に基づき、月に1回の施設の保守点検等のための休館日以外の日に休館する場合、又は臨時に休館日に開館する場合は知事への承認申請を行わなければならない。

(利用料金・利用料金の減免)

第13条 利用料金とは施設等の観覧料金及び使用料金を指し、乙が収受する。

2 乙は、条例第12条第3項の規定に基づき、利用料金について知事への承認申請を行わなければならない。

3 乙は、条例第13条の規定に基づき、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(その他事業)

第14条 乙は条例第2条第8項の規定に基づき、ミュージアムショップや飲食施設をはじめとした条例の目的を達成するために必要なその他の事業（以下「その他自主事業」という。）を行うことができる。

2 前項の収入については乙が収受する。

(管理に要する経費の負担)

第15条 甲は、乙に対し、乙が行う指定管理業務の遂行に要する事業経費のうち、利用料金及びその他自主事業収入を適用しない経費（以下「負担金」という。）を負担する。

2 利用料金及びその他自主事業収入を適用する経費ならびに、負担金の内容区分については、別紙3「事業経費区分表」のとおりとする。

(負担金の支弁方法等)

第16条 負担金は、事業年度ごとに支弁するものとし、その額及び支弁方法については、毎事業年度前に、事業計画の内容等を考慮し、甲乙協議のうえ、事業年度ごとに締結する細目協定により定める。

(リスク分担)

第17条 指定管理業務に関する甲と乙のリスク分担については、別紙4「リスク分担表」のとおりとする。

2 前項に定める事項以外の不測のリスクが生じた場合は、甲乙協議のうえでリスク分担を決定する。

(個人情報保護)

第18条 乙は、長崎県個人情報保護条例（平成16年3月23日付長崎県条例第3号）第11条第4項の規定に基づき、指定管理業務を行うため個人情報を取り扱う場合は、別紙5「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

2 乙が、指定管理者業務の遂行にあたり、その一部を業務委託する場合には、個人情報取扱特記事項第7の規定に基づき、予め甲の承認を得ること。

(業務報告)

第19条 乙は、毎日閉館後に次に掲げる事項を甲に報告するものとする。

(1) 入館者数、前日の売上

(2) 実施した事業の内容及び実績

2 前項のほか、主要な事業の実績について必要な都度、乙は甲に報告するものとする。

(事業報告)

第20条 乙は、毎事業年度終了後、指定期日までに管理業務に係る事業報告書を甲に提出し、その承認を得なければならない。

2 前項の事業報告に記載する事項及び提出指定期日は、次のとおりとする。

(1) 指定管理業務の実施状況：毎事業年度終了後1ヶ月以内

(2) 施設の利用状況：毎事業年度終了後1ヶ月以内

(3) 利用料金及びその他自主事業の収入見込、支出の実績見込：毎事業年度終了後1ヶ月以内

(4) 負担金の実績：毎事業年度終了後7日以内

(事業評価)

第21条 乙は、毎事業年度、事業分野の各項目毎に目標値を設定し、実績等をもとに自己評価を行い、毎事業年度終了後、2ヶ月以内に事業評価報告書を甲に提出しなければならない。

(事故の報告)

第22条 乙は、指定管理業務の遂行等において、事故が発生したときは、これを甲に速やかに報告しなければならない。

(損害賠償)

第23条 乙は、指定管理業務の遂行にあたり、乙の責めに帰すべき事由により、甲又は第三者に損害を与えた場合は、その損害を賠償しなければならない。

(権利の譲渡の禁止)

第24条 乙は、この協定により生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、若しくは継承させ、又は権利を担保に供することはできない。

2 乙は、その業務の全てを再委託することはできない。ただし、その業務の一部について、甲の承諾を得たうえで、業務委託を行うことができる。

(指定管理者への指示)

第25条 甲は、長崎歴史文化博物館及び長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの管理の適正を期するため、乙に対して指定管理業務及び経理の状況に関し報告を求め、実地について調査及び評価を行い、又は必要な指示をすることができる。

(指定管理者の指定の取消し)

第26条 地方自治法第244条の2第11項の規定に基づき、乙が、前条の指示に従わないとき、その他乙による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて指定管理業務の全部又は一部の停止を命ずることができる。

2 乙は、前項の規定により、指定を取り消された場合には、第15条に定める指定管理者負担金を返還しなければならない。また、前項の規定により、期間を定めて管理業務の全部又は一部の停止を命じられた場合は、当該停止期間中の経費相当分について、これを甲へ返還しなければならない。

(指定期間終了に伴う原状回復)

第27条 乙は、指定期間の満了又は指定の取消しにより長崎歴史文化博物館の指定管理業務が終了したときは、速やかに原状に回復のうえ、甲に返還するものとする。

(情報公開について)

第28条 乙は、指定管理業務の遂行にあたって、作成し、又は取得した文書、図面及び電磁的記録（電子的方式）、磁気的方式その他人の知覚によって認識することができない方式で作られた記録をいう。）であって、乙の従業員が組織的に用いるものとして、乙が保有しているものについて、乙が別に定める情報開示基準により、開示するものとする。

2 乙は、前項の情報開示基準を定めるにあたっては、甲と協議して定めるものとする。

(疑義の決定)

第29条 この協定に関して、疑義が生じたときは、甲乙協議して定めるものとする。

この協定の成立を証明するため、本書2通を作成し、甲乙が記名押印のうえ、各自1通を保有するものとする。

平成28年3月30日

甲 長崎市江戸町2番13号
長崎県
長崎県知事 中村 法道

乙 東京都港区台場2丁目3番4号
株式会社 乃村工藝社
代表取締役社長 榎本 修次

長崎歴史文化博物館の使命

長崎歴史文化博物館は、長崎県総合計画チャレンジ2020において「交流でにぎわう長崎県」という基本戦略を推進するため、長崎の歴史・文化の魅力を発信する拠点施設として具体的に位置づけられるとともに、長崎市第四次総合計画においては「個性輝く世界都市・希望あふれる人間都市」実現のための重要な施策として位置づけられている。この基本理念・施策を実現するために長崎歴史文化博物館は、歴史資料の保存・研究・展示という基本的な使命の遂行に加え、従来型の博物館像にとらわれず、地域に求められている重要な機能のひとつであるという認識のもと、中長期的なビジョンに沿って、長崎独自の歴史や文化を整理・編集し、地域の魅力として発信し、現在及び未来に生きる県民・市民ひとりひとりの豊かな暮らしの実現と地域の活性化に努めなければなりません。長崎歴史文化博物館に課せられた使命は、下記1～10のとおりである。

使命1. 多くの人に鑑賞・学習・体験の機会を提供する

海外交流史を中心とする常設展示室においては、館が所蔵するコレクションや他館等から借用している資料を活用し、初めての来館者からヘビーユーザーまで、誰がいつ来ても本県独自の歴史・文化に親しみ楽しく学べるよう充実した展示を行う。企画展示室においては、県民ニーズに沿った展覧会と、専門的かつ質の高い展覧会をバランスよく開催すること。レファレンスサービスにおいても、館の資料や情報等の的確かつ円滑な提供に努めること。また、展示室以外の施設やスペースにおいても、長崎の歴史・文化の魅力に触れることのできる活用策を積極的に講じる。

さらに来館がかなわない県民・市民のために、遠隔授業や移動博物館など様々な手法を講じ、一人でも多くの方に長崎の歴史・文化の魅力を再認識する機会を提供する。

使命2. 所蔵資料の保存・管理を適切に行う

県民・市民の財産である貴重な歴史資料を適切に保管、管理、修復するとともに、長崎の歴史のデータバンクとして、それらの情報を必要としている利用者の要望に対して十分にかつ円滑に対応できる体制を整え、資料の価値を最大限に発揮させる。

使命3. 長崎学の研究を推進し、その成果を具体的に地域に還元する

長崎歴史文化博物館と県、市が連携を図り、さらに館外の研究者との相互協力関係のもと充実した研究体制を構築し、長崎に関する歴史・文化の調査、研究を多角的に行う。さらに、その研究成果を様々な形で県民・市民、地域に還元するとともに、地域活性化の様々な取り組みの素材として各方面の活用に応じる。特に、県内各地の歴史・文化を紹介する地域展の開催を通じて、地域間交流による活性化を積極的に促進する。

長崎歴史文化博物館の施設、環境を最大限に活用し、歴史・文化の研究、体験等を通じて県民ひとりひとりが自己実現を図り、豊かな人生を築くための生涯学習の場を提供する。

使命4. 博物館に親しみ、ふるさとに誇りを持つ子どもたちを育てる

長崎歴史文化博物館の施設の活用や貴重な歴史資料の様々な展示により、長崎の歴史の重要さや魅力を子ども達に理解してもらい、長崎に生まれたこと、暮らすことを誇りに思い、長崎への愛着を醸成する取り組みを進める。長崎歴史文化博物館ならではの楽しいユニークな体験を提供する。特に、子どもたちには博物館に行くという習慣を身につけてもらい、成長し大人になったら子どもを連れて博物館に足繁く通う、という好循環を創り出す。また、長崎に暮らす人々にとって、ふるさとを訪れた大切なお客様を招待し長崎の歴史を紹介する場所として愛される施設となるよう努める。

使命5. 交流人口の拡大に寄与する

県、市の活性化の重要なキーワードのひとつに「交流人口の拡大」がある。

長崎独自の歴史の魅力を活かして広く情報発信を行い、長崎を訪れる人々を増やし、長崎の新しい観光地として地域の活性化に寄与する。

使命6. 地域活性化、まちづくりの拠点として活動する

長崎の歴史が持つ魅力を最大限に活用し、さまざまな知識・情報・資料を集積し、創造性を発揮して編集し長崎発の新しい文化を創りだす。このような博物館活動を通じて、コミュニティの維持・再構築を図るとともに、産業化、商品化を視野に入れた歴史・文化のコンテンツ化に積極的に取り組む。

また、長崎の様々な祭りやイベントと連携し、長崎歴史文化博物館はじめ他の文化・観光施設との相乗効果を生み出しながら地域の活性化の拠点として積極的に活動する。

さらに、大学や企業、民間団体と連携し、歴史・文化を活用した地域の活性化や様々な課題への対応ができる体制整備と人材育成に取り組む。

使命7. 県の中核的博物館として県内の博物館や地域の指導・育成に努める

長崎県美術館と連携し、県内の博物館、美術館、資料館、さらに市町など、地域の歴史を活かした活性化に取り組む様々な組織体に対し、中核博物館として協力、指導を行い、県全体及び各地域の歴史による魅力づくり、情報発信などを通じた地域ブランドの向上を図る。

使命8. 新しい運営方針を示し、ビジネスモデルを構築する

緻密なマーケティングと総合的なマネジメントによる博物館運営を行い、効率的な経営と質の高い博物館活動という相反しがちな両面について、高い次元で両立させる。

マネジメントをも熟知した学芸・研究部門と、歴史・文化をも理解している管理部門の両者が、密接な連携を図り、高い相乗効果を発揮することが求められ、そのためには職員の育成も不可欠である。

また、館単独での収支バランスを適正に保つことはもとより、来館者による経済効果、商品開発、本県の地場産地との連携による産業振興など、歴史・文化を切り口とした経済・産業振興上の役割も求められている。

使命9. 建築理念を管理運営に活かす

由緒ある諏訪の森地区に復元された長崎奉行所立山役所の重厚で落ち着いたたたずまいなど、立地条件、設計・デザインの優位性を最大限に活かしたイベントや仕掛けを工夫し、長崎歴史文化博物館そのものを愛するファンを生み出す。

さらにその中から一部の人々にはボランティア活動を通して一人ひとりの生き甲斐を長崎歴史文化博物館に見いだして頂くなど、運営面においても開かれた博物館を具現化する。

使命10. 周辺と一体となった運営を行う

県民・市民の憩いの場である諏訪の森地区など周辺の歴史的地区、さらに近隣の企業・ホテル、地元商店街・自治会、各種団体、大学・学校などと連携し、人が行き交い、楽しさに満ち溢れたまちのにぎわいを創り出す。

(別紙1-2)

長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの管理運営に関する 基本理念及び基本的な性格

(1) 基本理念

中国をはじめとする東アジアとの近代交流史を一覧できる拠点として「発信・連携・交流」を基本理念とする。国の重要文化財である「旧香港上海銀行長崎支店の紹介」と、「孫文と梅屋庄吉」の関係、及び二人にとってゆかりの地であり近世以降も重要な役割を果たした「長崎」の近代交流史に関する展示や関連事業を通じて広く情報発信する。また、国内外の博物館等と連携するとともに、県民、市民に開かれ、国内はもとより、中国をはじめ東アジアの要人も訪れる友好のシンボルとなる施設として、今後の友好交流に寄与することを目指す。

(2) 基本的な性格

①魅力的な展示

旧香港上海銀行長崎支店の紹介と、孫文と梅屋庄吉を核とした長崎近代交流史を紹介するとともに、上海航路や国際通信など長崎がその中で果たした役割等についても幅広く紹介する。また常に魅力ある展示とするため、可能な限り実物での展示を行うと同時に、定期的に資料の展示替えを行う。

②生涯学習・教育普及

多くの県民・市民への生涯学習・教育普及の場の一つとして、利用者の要望にあわせて知識・教養を深めることのできる身近な施設を目指す。

③国内外への情報発信

長崎の近代における交流の歴史、中国をはじめとする東アジアに関する情報等はもとより、長崎県内、長崎市内の観光情報等もICT機能を活用しながら発信することを目指す。

※ICT：情報通信技術

④他施設等との連携

資料収集、資料保管、アーカイブ、閲覧、レファレンス機能については、長崎歴史文化博物館が主体となって行う。また、必要に応じ他施設等とも十分な連携を図る。

※アーカイブ：「記録」や「資料」の総称。またそれをまとめて保存すること。その場所、機関。

レファレンス：「資料相談」「資料参照」等のサービス。

⑤調査・研究

上記の事業を進めるため、長崎の近代交流史に関する調査研究については、「長崎学」の拠点施設である長崎歴史文化博物館等で行う。また、県内大学をはじめ、国内外の研究者とも交流し、調査研究の熟度を高める。

※長崎学：県下各地を対象とし、国内外の交流史や文化史など様々な角度から長崎をとらえる学問の総称。

⑥県民、市民参加・憩いの場

多くの県民、市民が訪れ、積極的なボランティアの参加による住民参加型の施設であるとともに、来館者にとって憩いの場となるような施設を目指す。

⑦長崎歴史文化博物館との関係

長崎歴史文化博物館においては、長崎学の推進を一つの使命として調査研究を進め、その成果を具体的に展覧会等を通じて還元しているところである。長崎の近代交流史をテーマとするミュージアムは、長崎歴史文化博物館とともにその展示の場となり、講演や国内外の孫文関係館との交流など、友好交流拠点施設となることを目指す。

(別紙2)

指定管理業務の範囲

1. 長崎歴史文化博物館にかかる指定管理業務の範囲は下記(1)～(13)のとおりとする。

記

(1) 管理運営業務基準への対応

①開館日

開館日は、長崎歴史文化博物館条例第7条の規定に基づき、原則として次に掲げる日を除き、開館するものである。

・指定管理者が定める月1回の施設保守点検等のための休館日

②開館時間

午前8時30分から午後9時までの12時間30分を基本とする。

(常設展示は午前8時30分から午後7時まで)

③公平性の確保

長崎歴史文化博物館の管理運営にあたっては、住民の公平な利用について確保する。

④禁止行為

公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるもの。

集团的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるもの。

収蔵資料、歴文博施設及びその附属設備等をき損し、又は汚損するおそれがあると認められるもの。

⑤人権への配慮

展示や教育普及事業、情報発信、その他全ての博物館活動において、人権の保護に最大限の配慮を行うこと。

⑥管理運営を通じて取得した個人に関する情報の取扱い

指定管理者は、長崎県個人情報保護条例第11条の規定に基づき、別途締結する協定書において、「受託者が講ずべき安全確保の措置」として県が明示した措置を実施するものである。また、個人情報取扱事務に従事している者又は従事していた者は、当該事務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない(退職後もその対象となるものである)。違反した場合は、同条例の罰則規定の適用がある。

⑦情報公開

長崎県情報公開条例第31条の2の規定に基づき、指定管理者が保有する情報のうち、長崎歴史文化博物館の管理に係るものの公開に積極的に努める必要がある。

⑧環境マネジメントシステムへの取組

管理運営にあたっては、県が推進している環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた環境保全の活動に積極的に取り組む必要がある。

⑨危機管理体制の構築

不特定多数の人が集まる公の施設として、災害、有事、伝染病等の緊急時には県、市、警察、消防など関係者との協議のうえ、適切な対応をとらなければならない。そのためには事前に県と協議し、危機管理体制の整備、職員への講習等を行うものとする。

⑩県及び市との緊密な連携

管理運営にあたって県及び市との緊密な連携のため、以下の業務を行う必要がある。

- ・日報による入館者数及び売上報告
- ・定例会(業務進捗報告、施設管理報告等)
- ・緊急時、非常時の対応マニュアル作成及び連絡体制の確立
- ・事業報告(年度末、約半年毎、重要事項については随時)

(2) 収蔵資料の収集・保管・修復・利用及び展示に関する業務

①収蔵資料の収集に関する調査

収蔵資料を基に、より特色のある質の高いコレクションの形成を行うため、以下の収集方針に基づき、収集のための調査及び県への支援を行う。資料1-1「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱」、資料1-2「長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱」を参照すること。なお、長崎歴史文化博物館として収集した資料の所有権は県又は長崎市に帰属する。

- ・海外交流史に関する資料
- ・近世長崎の美術資料、工芸資料
- ・長崎奉行所に関する資料
- ・長崎文化に関する資料
- ・長崎の近代交流史に関する資料
- ・その他関連する資料

② 収蔵資料の保管業務と修復業務

ア) 管理状況の確認

資料の材質や性質に適した保存環境を維持するため、収蔵庫や展示室等の日常的な空調管理及び湿度管理を実施するとともに、損傷、カビや害虫、空気環境など危険因子に対する適切な処置を行う。

イ) 修復

収蔵資料の安全な保存・展示のために、計画的に、修復・汚損除去・保護用ガラス装着等の適切な処置を行う。

ウ) 収蔵品及びデータベースの管理・更新

収蔵資料の情報を適正に管理、更新するとともに、収蔵資料については、年間1,000点以上の点検を行い指定期間中に全ての資料を確認する。うち、重要物品である収蔵資料については毎年全数点検を行う。

※ここで言う重要物品とは評価額100万円以上の資料及び指定文化財を指す。

③ 収蔵資料の利用（貸出）等

他館等への収蔵資料の貸出について、資料2「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料の管理等基準」に基づき貸出しを行う。また、収蔵資料の撮影、画像の使用等についても同様の業務を行う。

なお、資料の貸出しにあたっては、原則として、所有者である県及び長崎市との協議を行う。

④ 歴史・美術資料の展覧会業務

展覧会を行う際の主な業務内容

- ア) 展覧会の企画及び当該企画を実現するための調査業務
- イ) 展覧会の企画を実現するための他館の歴史・美術資料等の貸借に係る交渉業務
- ウ) 展覧会に係る歴史・美術資料運搬（立会、付添い）等の業務
- エ) 展覧会に係る広報等の集客業務
- オ) 展覧会に係る図録、報告書等の作成業務
- カ) 展覧会の歴史・美術資料監視・点検業務
- キ) 展覧会の歴史・美術資料説明業務
- ク) 健全な展示環境の確保業務

〈1〉 常設展示

- 1) 館の特色や姿勢を表す博物館活動の柱と位置づけ、県民・市民の長崎の歴史と文化に対する関心を高め、観光客に対しても長崎の歴史と文化をアピールする。

- ・通史展示（古代から現代までの長崎の歴史を一覧できる）
- ・近世長崎の海外交流史を主題とした歴史文化展示
- ・美術、工芸展示

- ・長崎奉行所関連・情景展示
- ・常設ミニ企画展（常設展を補完する地域展やテーマ展示など）

- 2) オランダのライデン国立民族学博物館から、資料を借用し、常設展示室のライデンコーナーで展示する。

- 3) 東京国立博物館から、重要文化財「長崎ゆかりのキリシタン資料」を2年毎に借用し、奉行所展示室で展示する。

〈2〉 企画展示

常設展示だけでは十分に紹介できない長崎の多彩な歴史・文化等について、様々な視点で企画する展覧会を開催する。

また、長崎学の研究拠点を目指す立場から、展覧会の開催を通して長崎学に関する情報を世界に発信し、集客範囲を国内のみならず、アジアはじめとする海外までを対象にした活動を行う。

- ・独自の調査研究に基づく自主企画展
- ・県内の地域の歴史や文化を取り上げる展覧会
- ・他館や新聞社・放送局等との共同企画による展覧会
- ・国内外の博物館と連携して所蔵資料を相互利用し企画・巡回する展覧会等

(3) 長崎の歴史・文化に関する調査及び研究に関する業務

- ①歴文博の収蔵資料に関する調査研究
- ②資料の保存修復に関する調査研究
- ③展覧会企画に関する調査研究
- ④生涯学習支援に関する調査研究
- ⑤長崎の歴史・文化に関する調査研究
- ⑥長崎市長崎学研究所と連携した調査研究

(4) 教育普及・生涯学習支援に関する業務

- ①様々な世代や幅広い層のニーズに対応した、近世長崎の歴史文化や美術に関する研究の成果等に関する講演会や講座、各種イベント等を行い、施設を有効活用した生涯学習活動に取り組む。なお、参加者から受講料として、一部利用者負担を求められることができる。
- ②修学旅行生、観光客等の来館者に対する体験学習、資料の解説等を行う。
- ③伝統工芸体験工房で、長崎の伝統工芸を伝え、来館者が体験できる工房を設置運営する。
- ④県民、市民の博物館参加を推進し、ボランティア制度の充実を図る。
- ⑤学校教育の一環として館を利用してもらうなど、学校との連携を積極的に行い、子どもたちの利用促進を図る。
- ⑥離島等の遠隔地や様々な理由で文化的資産にふれる機会が少ない人々を対象として、遠隔授業や移動博物館を実施する。

(5) 長崎の歴史・文化情報の提供に関する業務

レファレンスルームや長崎県内の文化施設が所有する情報を一度に検索できるミュージアムネットワークシステムの適切な管理運営を図るとともに、情報提供サービスとして資料等に関する情報、収蔵図書に関する情報、県内の史跡等の情報、全国の博物館情報等の提供を行う。
なお、「ながさきミュージアムネットワークシステム」のデータ更新や管理運営作業、収蔵資料のデジタルデータ化作業を適宜行う。

(6) 広報・マーケティング業務

年間総入館者数40万人以上を達成するため、効率的で効果的な広報・マーケティング業務を行う。

- ①積極的にマーケティング活動を行う。
- ②展覧会ごとに戦略的な広報活動及び集客活動を行う。
- ③会員事業を実施する。
- ④定期的なアンケートの実施及び県への報告を行う。
- ⑤館の利用促進を図るためのイベント等を開催する。

(7) 他の博物館・美術館、学校等との連携、支援に関する業務

- ①県内の中核博物館としての取組（各種技術指導を含む）
- ②県及び長崎市の政策に基づく国内外の博物館等と多角的な連携による事業を推進
- ③オランダのライデン国立民族学博物館等との交流・連携
- ④中華人民共和国の福建博物院との交流・連携
- ⑤中華人民共和国湖北省3館との交流・連携
- ⑥大韓民国釜山博物館との交流・連携

(8) 博物館の利用許可及び利用料金に関する業務

- ①利用料金の設定、変更に関する業務
利用料金の設定及び変更にあたっては、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。
- ②利用許可申請の受付、利用許可証の交付及び利用料金の徴収業務
ホール、講座室、イベントの間、会議室、イベント広場等の施設貸出について利用促進を図るとともに、住民の公平な利用を確保すること。
- ③観覧券の発券及び観覧料金の徴収業務

(9) ミュージアムショップ・レストランの運営に関する業務

①ミュージアムショップの管理運営

収蔵資料及び展覧会に関連した商品や長崎の歴史や文化にちなんだ商品の開発及び販売を行う。

②レストランの管理運営

来館者の休憩・飲食・会食の場として、料理や飲料等を提供するレストランを運営する。

(10) 博物館施設及び附属設備等の維持管理及び修繕に関する業務

①指定管理者は、県との緊密な連携の下、善良な管理者の注意義務をもって施設及び附属設備等を適正に維持管理する。収蔵品を除く物品については、年1回全数点検を行う。なお、物品のうち収蔵品については、(2)②ウ)による。

②施設及び附属設備等の維持管理にあたっては、各種マニュアルに従って行う。

③施設及び附属設備等(物品を含む)の構造・造作を改変することはできないものである。ただし、あらかじめ県の承認を得た場合はこの限りではない。

④原則として、1件あたり100万円以下の少額修繕については、指定管理者の責任において行うものである。1件あたり100万円以上の修繕については、県と指定管理者が協議のうえ、責任分担を決定する。

⑤県及び長崎市が館の管理運営に必要と認めた備品については、県及び長崎市が貸与するので、原則として設置者負担金での備品購入は認めない。

⑥施設及び附属設備等に係る維持管理業務の詳細については、資料3-1の「博物館施設及び附属設備等の維持管理に関する業務仕様」とおりである。

(11) 地域づくりと観光振興に資する業務

長崎歴史文化博物館は県内の博物館等の中核施設として、また、長崎市内を中心に長崎県内の歴史文化資源を紹介する中核施設として、長崎県内の様々な歴史文化施設、史跡、観光施設、祭り・イベント、自治会・団体等と連携しながら、新しい視点で地域の活性化に貢献することを目指した事業展開を推進し、交流人口の拡大による本県の活性化に寄与する。

さらに、大学や民間団体等と連携して、歴史・文化を活用した活性化や地域が抱える様々な課題に対する施策の推進と人材育成に取り組む。

(12) 評価システム・モニタリングシステムの構築、運用

県との協定に基づく博物館活動について、中期的視点から適正に評価し、さらなる県民サービスの向上、博物館活動の充実につなげるため、県と協議のうえ評価システムを構築、運用する。また、年間の業務の進捗管理と業務改善を行うため、業務のモニタリングシステムの構築と実効性のある運用を行う。

(13) その他設置目的や長崎歴史文化博物館の使命を達成するために必要となる業務

県及び長崎市の文化振興及び地域振興に資する業務に取り組む。

2. 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムにかかる指定管理業務の範囲は下記のとおりとする。

(1) 指定管理者業務基準への対応

①開館日

開館日は、長崎歴史文化博物館条例第7条の規定に基づき、原則として次に掲げる日を除き、開館するものである。

・指定管理者が定める月1回の施設保守点検等のための休館日を設定

②開館時間

午前9時から午後5時までの8時間を基本とする。

③公平性等の確保

・ミュージアムの管理運営にあたっては、住民の公平な利用について確保する。
・高齢者、障害者等の利用については、十分な配慮を行う。

④外国人利用者への配慮

⑤禁止行為

公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるもの。
集团的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるもの。
展示資料、ミュージアム施設及びその附属設備等をき損し、又は汚損するおそれがあると認められるもの。

⑥人権への配慮

展示や教育普及事業、情報発信、その他全ての博物館活動において、人権の保護に最大限の配慮を行うこと。

⑦管理運営を通じて取得した個人に関する情報の取扱い

指定管理者は、長崎県個人情報保護条例第11条の規定に基づき、別途締結する協定書において、「受託者が講ずべき安全確保の措置」として県が明示した措置を実施するものである。

また、個人情報取扱事務に従事している者又は従事していた者は、当該事務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない（退職後もその対象となるものである）。違反した場合は、同条例の罰則規定の適用がある。

⑧情報公開

長崎県情報公開条例第31条の2の規定に基づき、指定管理者が保有する情報のうち、長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの管理に係るものの公開に積極的に努める必要がある。

⑨環境マネジメントシステムへの取組

管理運営にあたっては、県が推進している環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた環境保全の活動に積極的に取り組む必要がある。

⑩危機管理体制の構築

不特定多数の人が集まる公の施設として、災害、有事、伝染病等の緊急時には県、長崎市、警察、消防など関係者との協議のうえ、適切な対応をとらなければならない。そのためには事前に県と協議し、危機管理体制の整備、講習等を行うものとする。

⑪県及び長崎市との緊密な連携

管理運営にあたって県及び長崎市との緊密な連携のため、以下の業務を行う必要がある。

- ・日報による入館者数及び売上報告
- ・長崎歴史文化博物館での定例会（業務進捗報告、施設管理報告、資料管理報告等）…週1回程度
- ・業務モニタリング（年数回の業務進捗状況の確認）
- ・緊急時、非常時の対応マニュアル作成及び連絡体制の確立
- ・事業報告（年度末、約半年毎、重要事項については随時）

(2) 収蔵資料の利用及び展示に関する業務

①展示業務

展覧会を行う際の主な業務は以下のとおりである。

- (ア) 展示の企画及び当該企画を実現するための調査
- (イ) 展示の企画を実現するための他館の資料等の貸借に係る交渉
- (ウ) 展示に係る歴史・美術資料運搬（立会、付添い）等
- (エ) 展示に係る広報等の集客
- (オ) 展示に係る図録、報告書等の作成
- (カ) 展示資料監視・点検

- (キ) 展示資料説明
- (ク) 健全な展示環境の確保

(3) 長崎の近代交流史に関する調査及び研究に関する業務

調査研究に関する主な業務は以下のとおりである。

- ① 歴文博の収蔵資料に関する調査研究
- ② 資料の保存修復に関する調査研究
- ③ 展覧会企画に関する調査研究
- ④ 生涯学習支援に関する調査研究
- ⑤ 長崎の近代交流史に関する調査研究

(4) 教育普及・生涯学習支援に関する業務

教育普及・生涯学習支援に関する主な業務は以下のとおりである。

- ① 様々な世代や幅広い層のニーズに対応した、長崎の近代交流史に関する研究成果等の講演会や講座、各種イベント等を行い、施設を有効活用した生涯学習活動に取り組む。
なお、参加者から実費相当額程度の利用者負担を求めることができる。
- ② 修学旅行生、観光客等の来館者に対する体験学習、資料の解説等を行う。
- ③ 県民、市民の博物館参加を推進し、ボランティア制度の充実を図る。
- ④ 学校教育の一環として館を利用してもらうなど、学校との連携を積極的に行い、子供たちの利用促進を図る。
- ⑤ 離島等の遠隔地や様々な理由で文化的資産にふれる機会が少ない人々を対象として、遠隔授業や移動博物館を実施する。

(5) 長崎の近代交流史の情報提供に関する業務

レファレンスやミュージアムネットワークシステムの適切な管理運営を図るとともに、情報提供サービスとして資料等に関する情報、収蔵図書に関する情報、県内の史跡等の情報、国内外の博物館情報等の提供を行う。

なお、「ながさきミュージアムネットワークシステム」のデータ更新や管理運営作業、収蔵資料のデジタルデータ化作業を適宜行うこと。

(6) 広報・マーケティング業務

年間総入館者数3万人以上を達成するため、効率的で効果的な広報・マーケティング業務を行う。

- ① 積極的にマーケティング活動を行う。
- ② 戦略的な広報活動及び集客活動を行う。
- ③ 定期的なアンケートの実施及び県への報告を行う。
- ④ ミュージアムの利用促進を図るため、「長崎さるく」などの各種イベントとの連携を図る。

(7) 他の博物館・美術館、学校等との連携、支援に関する業務

・ 県及び長崎市の政策に基づく国内外の博物館等と多角的な連携による事業を推進

(8) 施設の利用料金に関する業務

- ① 利用料金の設定、変更に関する業務
利用料金の設定及び変更にあたっては、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。
- ② 観覧券の発券及び料金の徴収業務

(9) ミュージアムの附属設備等の維持管理及び修繕に関する業務

- ① 指定管理者は、県との緊密な連携の下、国指定重要文化財であることを鑑み、善良な管理者の注意義務をもって附属設備等を適正に維持管理する。収蔵品を除く物品については、年1回全数点検を行う。なお、物品のうち収蔵品については、長崎歴史文化博物館にて行う。
- ② 附属設備等の維持管理にあたっては、各種マニュアルに従って行う。
- ③ 附属設備等（物品を含む）の構造・造作を改変することはできない。ただし、あらかじめ県の承認を得た場合はこの限りではない。
- ④ 原則として、1件あたり100万円未満の少額修繕については、指定管理者の責任において行うものとする。1件あたり100万円以上の修繕については、県と指定管理者が協議のうえ、責任分担を決定する。

- ⑤県及び長崎市が管理運営に必要と認めた備品については、県及び長崎市が貸与するので、原則として設置者負担金での備品購入は認めない。
- ⑥附属設備等に係る維持管理業務の詳細については、資料3-2の「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの附属設備等の維持管理に関する業務仕様」のとおりである。

(10) 地域づくりと観光振興に資する業務

長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムは、長崎県内の様々な歴史文化施設、史跡、観光施設、祭り・イベント、自治会・団体等と連携しながら、新しい視点で地域の活性化に貢献することを目指した事業展開を推進し、交流人口の拡大による本県の活性化に寄与する。

さらに、大学や民間団体等と連携して、歴史・文化を活用した活性化や地域が抱える様々な課題に対する施策の推進と人材育成に取り組む。

(11) 評価システム・モニタリングシステムの構築、運用

県との協定に基づく博物館活動について、中期的視点から適正に評価し、さらなる県民サービスの向上、博物館活動の充実につなげるため、県と協議のうえ評価システムを構築、運用する。また、年間の業務の進捗管理と業務改善を行うため、業務のモニタリングシステムの構築と実効性のある運用を行う。

(12) その他ミュージアムの設置目的を達成するために必要となる業務

県及び長崎市の文化振興及び地域振興に資する業務に取り組む。

〈資料1-1〉

長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料取扱要綱に基づき、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館（以下「美術館・博物館」という。）に収蔵し、展示するために収集する資料（以下「資料」という。）について、必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この要綱において、収集とは県が資料を購入、寄贈、又は寄託を受けることをいう。

(収集の基本方針)

第3条 資料の収集は、次の基本方針に基づいて行うものとする。

(1) 長崎県美術館の基本方針

- 一 長崎ゆかりの美術や郷土作家の作品
- 二 須磨コレクションを起点とするスペイン美術
- 三 美術館にふさわしい優れた美術作品

(2) 長崎歴史文化博物館の基本方針

- 一 海外交流史に関する資料
- 二 近世長崎の美術資料、工芸資料
- 三 長崎奉行所に関する資料
- 四 長崎文化に関する資料

(寄贈)

第4条 県へ資料を寄贈しようとする者は、寄贈申込書（様式第1号）を提出するものとする。

2 県は、寄贈の受納が決定したときは、申込者に対し、寄贈受領書（様式第2号）を通知するとともに、寄贈品台帳を備え、常に保有状況を明らかにしておくものとする。

(寄託)

第5条 県へ資料を寄託しようとする者は、美術館・博物館資料寄託申込書（様式第3号）又は美術館・博物館資料寄託承諾書（様式第4号）を提出するものとする。

2 県は、申込者に対し、寄託証書（様式第5号）を交付するとともに、寄託品台帳を備え、常に保有状況を明らかにしておくものとする。

3 寄託者は、資料の返還を受けようとする場合には、返還を受けようとする日の1月前までに県に返還請求書（様式第8号）を提出するものとする。

4 寄託者の氏名、商号若しくは住所等に変更があったときは、寄託者は、所有者等変更届書（様式第9号）に変更内容を証する書類及び寄託証書を添えて、県に提出するものとする。

(資料調査)

第6条 収集にあたっては、あらかじめ県及び美術館・博物館の学芸員等が資料調査を行い、県に調査報告を行うものとする。

(預かり)

第7条 前条による調査資料は、所有者の了解を得て、美術館・博物館において必要な期間、次の条件を付して預かることができる。

- 一 預かった資料は長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館収蔵資料管理基準により、一時保管庫に保管する。
- 二 美術館・博物館が預かり資料の模写、模造、撮影若しくは図書等に掲載する必要が生じたとき、又は美術館・博物館外に持ち出す必要が生じた場合は、事前に所有者の承諾を受けること。
- 三 資料を預かるにあたっては、預かる期間、輸送等に要する経費（輸送費、保険料等）の負担及び資料の評価額を事前に所有者と協議すること。

- 2 資料を預かる場合は、資料預かり書（様式第6号）を所有者に交付し、資料預かり簿（様式第7号）に、資料名、所有者、預かり期間、担当者等の必要事項を記載すること。
- 3 やむを得ず、預かり期間を延長する必要がある場合は、所有者と協議のうえ決定すること。

（資料収集委員会及び価格評価委員会）

第8条 資料の収集にあたって、県は資料収集委員会（以下「収集委員会」という。）を設置する。また、価格評価にあたっては価格評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置する。

- 2 収集委員会及び評価委員会に関する事項は別に定める。

（収集）

第9条 県は収集委員会及び評価委員会が提出する答申に基づいて収集の可否を判断する。

（資料の管理）

第10条 収集した資料は美術館・博物館に収蔵し、管理は美術館・博物館の指定管理者がそれぞれ行う。

附則 この要綱は、平成19年 1月24日より施行する。

附則 この要綱は、平成29年 9月28日より施行する。

〈資料1-2〉

長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱（市資料分）

（目的）

第1条 この要綱は、長崎市が長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という。）において取得、保管及び活用する資料について必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この要綱において、取得とは長崎市が購入、又は寄贈もしくは寄託を受けることをいう。

（取得する資料の範囲）

第3条 長崎市が博物館において保管活用するために取得する資料は次の各号のとおりとする。なお、資料の製作・伝来時期は、概ね長崎の開港から外国人居留地が廃止された時期とする。

- （1）長崎における海外交流史に関する資料
- （2）長崎奉行所に関する資料
- （3）長崎の美術工芸資料
- （4）その他、市長が博物館の事業に必要と認めた資料

（事前調査）

第4条 市長は、資料を取得しようとするときは、事前に調査を行い、資料調書を作成しなければならない。

2 前項に規定する資料調書には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

- （1）名称（フリガナ）
- （2）作家・著者
- （3）生産地
- （4）製作・伝来時期
- （5）コレクション・文庫等の名称
- （6）員数（単位）
- （7）サイズ
- （8）素材・技法
- （9）形態・形状
- （10）付属品
- （11）箱・箱書き等
- （12）署名・落款・印章・サイン・賛等
- （13）文化財指定等の状況
- （14）資料を取得することが望ましい理由
- （15）その他、市長が必要と認める事項

（資料の一時保管）

第5条 市長は、資料の事前調査及び取得に要する手続きを行う期間中、所有者の承諾を得て、取得しようとする資料を博物館に保管することができる。なお、必要な輸送費などの経費の負担については、市長と所有者で協議して定める。

2 前項の規定により資料を保管する場合は、市長は、所有者に預書（様式第1号）を発行しなければならない。

3 第1項の規定に基づき資料を保管する場合は、長崎市が所蔵する資料と同じ注意をもって保管するものとする。

（博物館資料取得委員会の設置）

第6条 資料の取得について、その適正を期するため、必要により長崎歴史文化博物館資料取得委員会（以下「取得委員会」という。）を置く。

（取得委員会の組織）

第7条 取得委員会は、資料の数量と内容に応じて委員2人以上20人以内をもって組織する。

2 取得委員会の委員（以下「委員」という。）は、次に掲げるすべての条件を満たす者のなかから市長が委嘱する。

- (1) 資料に関する学識を有する者
- (2) 人格高潔であり、公正な判断ができる者
- (3) 収集する資料に対する利害関係のない者

(委員の任期)

第8条 委員の任期は、当該審議及び報告が終了するまでの間とする。

(取得委員会の所掌事務)

第9条 取得委員会は、市長の求めに応じ、取得しようとする資料の学術的価値および価格について審議し、資料取得の是非及び価格を報告する。

2 前項に定める報告を行う場合、取得委員会は、次に掲げる事項を記載した資料の評価調書を作成し、委員全員が署名及び捺印して市長に提出しなければならない。

- (1) 名称（フリガナ）
- (2) 作家・著者
- (3) 生産地
- (4) 製作・伝来時期
- (5) コレクション・文庫等の名称
- (6) 員数（単位）
- (7) サイズ
- (8) 素材・技法
- (9) 形態・形状
- (10) 付属品
- (11) 箱・箱書き等
- (12) 署名・落款・印章・サイン・賛等
- (13) 文化財指定等の状況
- (14) 評価金額
- (15) その他、市長が必要と認める事項

(取得委員会の会長)

第10条 取得委員会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、取得委員会を代表する。
- 3 会長に事故があるときは、会長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

(取得委員会の会議)

第11条 取得委員会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 取得委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 取得委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(謝礼金)

第12条 委員が取得委員会に出席した場合には、市長は委員に対して長崎市会計規則（昭和39年長崎市規則第21号。以下「会計規則」という。）が定める方法により、謝礼金を支払う。

(守秘義務)

第13条 委員は、取得委員会において知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。ただし、資料の所有者及び市長の許可を得た場合は、この限りではない。

(台帳への登載)

第14条 市長は、寄贈を受け、又は購入した資料につき博物館収蔵資料管理データベースに登載するとともに会計規則に定める備品台帳に登載し、常に保有を明らかにしておかななければならない。

- 2 市長は、寄託された資料を適切に管理するため、前項に規定する備品台帳に準じた台帳を別途作成しなければならない。

(管理の委託)

第15条 市長は、資料を取得したときはその旨を長崎県に通知し、長崎歴史文化博物館条例（平成16年長崎市条例第145号）第2条の規定により、当該資料の管理を長崎県に委託する。

(県との協議)

第16条 長崎市と長崎県が共同で資料を取得しようとするときは、この要綱にかかわらず長崎市と長崎県が協議しておこなう。

(取得に関する事務)

第17条 この要綱に規定する資料の取得に関する一切の事務は、文化観光部文化財課が処理する。

(委任)

第18条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は市長が定める。

附則

この要綱は、平成20年5月12日から施行する。

〈資料2〉

長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料の管理等基準

(目的)

第1条 この基準は長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料取扱要綱に基づき、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館（以下「美術館・博物館」という。）において収蔵し、展示する資料（以下「資料」という。）の管理について、必要な事項を定める。

(管理者)

第2条 資料の管理は、美術館・博物館の指定管理者（以下「指定管理者」という。）が行う。

2 指定管理者は、善良なる管理者の注意をもって、資料を適正に保存管理し、取り扱わなければならない。

(管理基準)

第3条 資料の適正な保存管理及び取扱については、次の基準による。

- (1) 指定管理者は、資料を取り扱う職員及び保存担当の職員に必要な研修を行うこと。
- (2) 美術館に収蔵する資料は、収蔵庫1、収蔵庫2、収蔵庫3、展示室、一時保管庫、城栄町収蔵庫（以下「美術館収蔵庫等」という。）で保管すること。博物館に収蔵する資料は、第1収蔵庫、第2収蔵庫、文書収蔵庫、展示室、一時保管庫（以下「博物館収蔵庫等」という。）で保管すること。
- (3) 収蔵する資料は、その性質に応じて適正な温湿度に保つこと。
- (4) 指定管理者は、美術館・博物館収蔵庫等の温湿度のデータを前月分のデータを翌月5日までに県に報告すること。
- (5) 展示している資料については、毎日目視による点検を行い、それを記録すること。異常があるときは直ちに県に報告すること。
- (6) 展示替え、貸し出し、修理等により資料を移動する場合は、県学芸員等の指示または立会により点検を行い、それを記録すること。
- (7) 美術館・博物館収蔵庫等及びその周辺は常時点検を行い清潔に保つこと。虫等が発見された場合は、直ちに必要な処置を行い、県に報告すること。
- (8) 預かり等により新たに美術館・博物館に持ち込んだ資料は、必ず観察室に入れて虫や菌の付着がないか調査すること。必要な場合はくん蒸等の処置を行ってから保管すること。
- (9) 鍵の管理、美術館・博物館収蔵庫等の入室者管理、夜間の警備は厳重に行うこと。
- (10) 美術館・博物館収蔵庫等及びその周辺に第三者が立ち入らないようにすること。開館時間中の展示室内には、警備員を配置して安全管理を図ること。

(指導助言)

第4条 県は、資料の管理状況を、随時点検するとともに、指定管理者に対して適切な指導助言を行う。

(資料の貸し出し)

第5条 指定管理者は、資料を借用しようとする者の主催する展覧会での出品を目的とし、その展覧会が公共性の高いものであると認められる場合、又は特に必要と認められる場合に限り、資料を貸し出すことができる。

2 貸し出しを許可するにあたって指定管理者は、あらかじめ県と協議しなければならない。

(貸し出しを許可する施設)

第6条 資料を貸し出すことのできるのとは、次の条件を満たしている施設とする。

- (1) 保管、展示場所の温湿度の管理が適正に行われていること。
- (2) 資料の保管、展示に係る保安体制等が整っていること。
- (3) 貸し出しする資料の取り扱いを適正に行うことができる学芸員等が配置されていること。

(貸し出し条件)

第7条 資料の貸し出しにあたっては、次の条件を付するものとする。

- (1) 資料の取扱いについては、県及び美術館・博物館の学芸員の指示に従うこと。
- (2) 資料の展示先の施設についてのファシリティレポートを提出すること。
- (3) 寄託資料の貸し出しを受けようとする者は、自己の責任を持って、寄託者に承諾を得ること。

- (4) 資料の展示にあたっては、「長崎県美術館蔵」又は「長崎歴史文化博物館蔵」など、美術館・博物館に収蔵している資料であることを明記すること。寄託資料の場合は、寄託者の意思に従うこと。
 - (5) 貸し出し先の負担により、適正な保険を付保すること。
- 2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

(借用)

第8条 指定管理者は美術館・博物館での展示のために、他に所蔵する資料を借用することができる。但し、県において借用することが適当な場合は、県が借用の手続きを行う。

- 2 借用資料の管理については、第2条及び第3条に準じる。

(閲覧等)

第9条 指定管理者は、次にあげる場合を除いて、資料の閲覧及び特別閲覧（以下「閲覧等」という。）を許可することができる。

- (1) 閲覧等により、資料の保存に悪影響が生じることが認められる場合
 - (2) 展示室での展示等、美術館・博物館の運営に影響が生じるおそれがあると認められる場合
 - (3) 公序良俗に反する用途に供するために閲覧等が行われると認められる場合
 - (4) その他、閲覧等を許可することが適当でないと認められる場合
- 2 閲覧等を許可するにあたって指定管理者は、必要に応じて県と協議しなければならない。

(閲覧等許可条件)

第10条 閲覧等を許可するにあたっては次の条件を付するものとする。

- (1) 閲覧等は、原則として美術館・博物館内で、県及び美術館・博物館の学芸員等立会のもとで行うこと。
 - (2) 閲覧等にあたっては、県及び美術館・博物館学芸員等の指示に従うこと。
- 2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

(写真利用等)

第11条 指定管理者は、次にあげる場合を除いて、資料写真の利用、撮影、模写・模造（以下「写真利用」等という）を許可することができる。

- (1) 写真利用等により、資料の保存に悪影響が生じることが認められる場合
 - (2) 展示室での展示等、美術館・博物館の運営に影響が生じるおそれがあると認められる場合
 - (3) 公序良俗に反する用途に供するために写真利用等が行われると認められる場合
 - (4) その他、写真利用等を許可することが適当でないと認められる場合
- 2 写真利用等を許可するにあたって、指定管理者は、必要に応じて県と協議しなければならない。

(写真利用許可条件)

第12条 写真利用等を許可するにあたっては次の条件を付するものとする。

- (1) 事前に申請した目的以外に使用しないこと。
 - (2) 寄託資料については、事前に所有者の承諾を得ること。
 - (3) 掲載等の場合には、「長崎県美術館蔵」及び「長崎歴史文化博物館蔵」を明記すること。
 - (4) 提供した写真等は、使用後速やかに美術館・博物館に返却すること。
 - (5) 新たに資料を撮影した場合、撮影したフィルム又は画像データを一部納付すること。
 - (6) 掲載等の場合には、その掲載誌紙を2部以上、美術館・博物館に無償で納付すること。
 - (7) デジタルデータを使用した場合は、使用後必ずデータの削除を行うこと。
 - (8) CDやDVD、インターネットなどのデジタルデータでの掲載にあたっては、二次使用が不可能な措置をとること。
- 2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

博物館施設及び附属設備等の維持管理に関する業務仕様

1 維持管理の対象

長崎歴史文化博物館の敷地内及び建物全体とする。

2 要求水準

建物の点検等は、原則として国土交通大臣官房営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」の最新版に基づき実施するものであるが、以下の点にも留意する必要がある。

(1) 建築物一般に関する事項

- ア 屋根
 - ・漏水がない状態を保つこと。
 - ・瓦屋根の割れや浮き、ずれがないこと。
 - ・ルーフトレイン及び樋等が詰まっていないこと。
 - ・金属部分の錆や腐食がないこと。
 - ・落ち葉、ごみ、砂等が集積していないこと。
- イ 外壁
 - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
 - ・金属部分の錆や腐食がないこと。
- ウ 建具
 - ・可動部分が円滑に動くこと。
 - ・設計図書に定められた水密性、気密性、耐風圧性が保たれていること。
 - ・ガラスの破損、ひび割れがないこと。
 - ・自動扉は正常に作動すること。
 - ・開閉、施錠装置が正常に作動すること。
 - ・金属部分の錆、腐食がないこと。
- エ 天井、内壁
 - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
 - ・結露やカビが生じないこと。
- オ 床、階段
 - ・汚損やひび割れ、浮き、磨耗等がないこと。
 - ・展示や来館者の通行等に支障をきたさないこと。

(2) 外構に関する事項

- ア 工作物
 - ・汚損や破損等がないこと。
 - ・門扉や塀等については、防犯対策に考慮し、良好な状態を保つこと。
- イ 植栽等
 - ・敷地内の緑樹を保護し、周辺環境と調和した景観を保持すること。
 - ・剪定、除草、施肥、散水及び害虫防除等を計画的に行い、植栽を良好な状態に保つこと。

(3) 博物館特有の事項

設計図書（建築設計、展示設計）に定められた所用の性能及び機能を保ち、収蔵資料、展示資料及び来館者に支障をきたさないこと。

- ア 収蔵庫
 - ・室内環境について、仕上げ材の調湿性、断熱性、中性性を保持すること。
 - ・収蔵庫扉の耐火性及び気密性を保持すること。
 - ・収蔵棚等の維持管理を適切に行うこと。
- イ 展示室
 - ・展示造作物、展示機器等を、適切な状態に保つこと。
 - ・展示壁面について、展示替えに伴う修復を行うこと。
 - ・展示壁面について、しみや汚れがないこと。
- ウ 空調管理
 - ・収蔵庫、展示室内の環境管理を適切に行い、恒温恒湿状態を保つこと。（展示ケース内も同様とする。）

(4) 清掃に関する事項

施設的环境、衛生を維持し、博物館としての快適な空間を保つため、清掃業務を行う。目に見える埃、汚れがない状態を維持し、衛生的でなければならない。

- ア 建物内清掃
 - ・毎日実施する日常清掃は、できる限り博物館運営の妨げにならないように行う。
 - ・清掃に使用する洗剤等は、展示資料に影響を及ぼす有害物質を発生しないものを使用

すること。

- イ 外構清掃
 - ・日常清掃とワックス塗布等の定期清掃を組み合わせて、館内の良好な環境を保つこと。
 - ・敷地内のごみ、落ち葉、泥汚れ等を除去し、敷地内の環境を良好に保つとともに、近隣に迷惑を及ぼさないようにすること。
- ウ ごみの収集
 - ・舗装面等に雑草が繁茂するのを除去すること。
 - ・ごみは、所定の場所に集積し、保管すること。
 - ・分別等は、長崎市の収集方法に従うこと。

(5) 警備に関する事項

施設のすべての財産を保全するために、常駐警備及び機械警備による警備業務を実施すること。警備業務の詳細については、あらかじめ県と協議すること。

また、展示室では、展示資料の保全を図るために、監視員を配置する必要がある。

(6) 保守管理記録の作成

施設の保守管理記録等を作成し保管すること。なお、修理等において設計図面に変更が生じた場合は、変更箇所を反映させておくこと。

・点検記録 ・補修記録 ・事故記録 ・営繕工事完成図書

(7) 緊急時、非常時の対応

施設内において破損、火災、事故等が発生し、緊急に対処する必要がある場合は、あらかじめ県と協議の上作成したマニュアルに従い、被害防止に必要な措置を取るとともに、県及び関係先へ至急報告すること。

台風等の事前に想定される非常事態の場合は、休館及び閉館の決定、一般人への周知方法、来館者対応、博物館職員等の対応、施設設備及び附属設備の運営等について、事前に県と協議を行うこと。

また、定期連絡及び事後報告も行うこと。

3 業務内容

事業計画書を作成するにあたり、維持管理業務について想定される項目を次に掲げているので参考にすること。(追加すべき業務項目がある場合は、適宜、業務項目を追加すること。)

(1) 保守管理運営業務

ア 施設全体の統括管理業務

建築物環境衛生管理技術者を配置し、建物管理の全体スケジュールの調整等を行うこと。

イ 環境衛生管理業務

- ・空気環境測定 法定点検：6回／年 (27箇所)
- ・雑用水大腸菌群検査 法定点検：6回／年 ・雑排水槽清掃 2回／年 (法定)
- ・雑用水PH測定 法定点検：2回／年 ・ばい煙測定 2回／年 (法定)
- ・中水残留塩素測定 法定点検：1回／週 ・グリーストラップ 12回／年
- ・薫蒸装置保守点検 必要に応じ ・プラスタートラップ清掃 2回／年
- ・(活性炭撤去及び廃棄) 使用回数による
- ・害虫駆除 法定点検 2回／年

ウ 設備常駐管理業務

- ・建物・設備の維持管理、操作盤監視、日常点検、電球交換等
1名以上常駐 (8:00~17:00 1人、12:30~21:00 1人)

エ 清掃管理業務

- ・一般日常清掃 建物内を清潔に保つための日常清掃
- ・特別清掃 ワックス掛け等の特殊清掃 (床1回／月)
(常設展示室：6回／年)
(企画展示室：4回／年)
ガラス清掃6回／年 (外部4回／年、内部1回／年)

オ 警備管理業務 常駐管理1名以上常駐 (開館日1名 (24H)) (休館日1名24H)

カ 電気設備点検保守業務

- ・受変電設備 (年次・月次) 法定点検：12回／年
- ・漏電測定 法定点検：12回／年

・非常用発電機	法定点検：12回／年
キ 空調設備保守点検業務	
・直燃吸収式冷温発生器	定期点検：6回／年
・冷却式HPチラー	定期点検：1回／年
・冷却塔（開放式）	定期点検：2回／年
・水処理装置	定期点検：1回／年
・冷却水管理装置	定期点検：1回／年
・軟水装置	定期点検：1回／年
・薬注ポンプユニット	定期点検：1回／年
・蒸気ボイラー	定期点検：2回／年
・ファンコイルユニット	定期点検：2回／年
・パッケージエアコン	定期点検：2回／年
・セパレートエアコン	定期点検：2回／年
・空調機コンパクト型	定期点検：3回／年
・空調機天吊型ほか	定期点検：2回／年
・自動制御・中央監視装置	定期点検：2回／年
・トイレ換気口点検	定期点検：12回／年
・送・排風機	必要に応じ
・中性能フィルター	フィルター交換：必要に応じ
・ケミカルフィルター	フィルター交換：必要に応じ
ク 消防設備保守点検業務	法定点検：2回／年（機器点検・総合点検）
・消火器、消火栓、自動火災警報機、非常放送、誘導灯等	定期点検等
ケ 昇降機設備業務（4基）	法定点検：12回／年
コ 給排水設備業務	
・雨水濾過機	定期点検：2回／年
・自動給水ポンプ	定期点検：1回／年
・電気温水器	定期点検：12回／年

（2）その他付帯設備等に関する業務

ア 自動ドア装置保守点検	2回／年
イ シャッター保守点検	1回／年
ウ 放送設備保守点検	2回／年
エ 電話交換機保守点検	2回／年
オ 調光装置設備保守点検	4回／年（うち自主2回）
カ 音響設備保守点検	1回／年
キ 駐車場料金システム保守点検	3回／年
ク ながさきミュージアムネットワークシステム保守 （ハードウェア保守、ソフトウェア更新）	12回／年

（3）収蔵庫内等燻蒸 必要に応じ

（4）展示ケース内の環境保全 必要に応じ

（5）光熱水費等に係る業務

電気料金、ガス料金、水道料金、下水道料金に係る業務等

（6）その他当該施設の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

指定管理者の施設管理について、特に知事が必要と認める場合は、業務内容の変更・追加をすることがある。

〈資料3-2〉

長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの附属設備等の維持管理に関する業務仕様

1 維持管理の対象

記念館内の2階・3階の一部とする。

2 要求水準

建物の点検等は、原則として国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」の最新版に基づき実施するものであるが、以下の点にも留意する必要がある。

(1) 建築物一般に関する事項

- ア 建具
 - ・可動部分が円滑に動くこと。
 - ・ガラスの破損、ひび割れがないこと。
 - ・開閉、施錠装置が正常に作動すること。
 - ・金属部分の錆、腐食がないこと。
- イ 天井、内壁
 - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
 - ・結露やカビが生じないこと。
- ウ 床、階段
 - ・汚損やひび割れ、浮き、じゅうたんの磨耗等がないこと。
 - ・展示や来館者の通行等に支障をきたさないこと。

(2) ミュージアム特有の事項

所用の性能及び機能を保ち、収蔵資料、展示資料及び来館者に支障をきたさないこと。

- ア 展示室
 - ・展示造作物、展示機器等を、適切な状態に保つこと。
 - ・展示壁面について、展示替えに伴う修復を行うこと。
 - ・展示壁面について、しみや汚れがないこと。
- イ 空調管理
 - ・収蔵庫、展示室内の環境管理を適切に行い、恒温恒湿状態を保つこと。
(展示ケース内も同様とする。)

(3) 清掃に関する事項

施設的环境、衛生を維持し、ミュージアムとしての快適な空間を保つため、清掃業務を行う。

目に見える埃、汚れがない状態を維持し、衛生的でなければならない。

- ア 建物内清掃
 - ・毎日実施する日常清掃は、できる限りミュージアム運営の妨げにならないように行う。
 - ・清掃に使用する洗剤等は、展示資料に影響を及ぼす有害物質を発生しないものを使用すること。
 - ・日常清掃とワックス塗布等の定期清掃を組み合わせ、ミュージアム内の良好な環境を保つこと。
- イ ごみの収集
 - ・ごみは、所定の場所に集積し、保管すること。
 - ・分別等は、長崎市の収集方法に従うこと。

(4) 警備に関する事項

施設のすべての財産を保全するために、機械警備による警備業務を実施すること。警備業務の詳細については、あらかじめ県及び長崎市と協議すること。

(5) 保守管理記録の作成

施設の保守管理記録等を作成し保管すること。なお、修理等において設計図面に変更が生じた場合は、変更箇所を反映させておくこと。

・点検記録 ・補修記録 ・事故記録 ・営繕工事完成図書

(6) 緊急時、非常時の対応

施設内において破損、火災、事故等が発生し、緊急に対処する必要がある場合は、あらかじめ県と協議の上作成したマニュアルに従い、被害防止に必要な措置を取るとともに、県及び関係先へ至急報告すること。

台風等の事前に想定される非常事態の場合は、休館及び閉館の決定、一般人への周知方法、来館者対応、ミュー

ジウム職員等の対応、施設設備及び附属設備の運営等について、事前に県及び長崎市と協議を行うこと。また、定期連絡及び事後報告も行うこと。

3 業務内容

事業計画書を作成するにあたり、維持管理業務について想定される項目を次に掲げているので参考にすること（追加すべき業務項目がある場合は、適宜、業務項目を追加すること。）。

(1) 保守管理運営業務

- ア 清掃管理業務
- ・一般日常清掃 施設内を清潔に保つための日常清掃
 - ・特別清掃 ワックス掛け等の特殊清掃（床1回／月）
（常設展示室：6回／年）
ガラス清掃6回／年 （外部4回／年、内部1回／年）

イ 空調設備保守点検業務

【参考】現在、長崎市で行っている点検内容

- ・室内機4台 定期点検：1回／年
- ・室外機4台 定期点検：1回／年
- ・フィルター清掃 定期点検：1回／年

(2) 光熱水費等に係る業務

電気料金、水道料金、下水道料金に係る業務等

(3) その他当該施設の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

指定管理者の施設管理について、特に知事が必要と認める場合は、業務内容の変更・追加をすることがある。

(別紙3)

事業経費区分表

長崎歴史文化博物館における指定管理業務の遂行に要する事業経費の区分を以下のとおりとする。

■負担金等の対象となる業務経費

- 1 人件費（ショップ、レストラン等に係る従業員の人件費を除く）
- 2 施設維持管理業務費
 - (1) 光熱水費
 - (2) 施設維持管理費
 - ①施設設備保守点検費等
 - ②清掃、警備、樹木管理等
 - ③施設の修繕費・消耗品費
 - ④受付案内業務費等
- 3 事業活動費
 - (1) 調査研究業務費
 - (2) 教育普及・生涯学習支援業務費
 - (3) 資料修復費等
- 4 その他、県が負担金で支出することが適当と認めた業務費

■利用料金等の対象となる業務経費

- 1 事業活動費
 - (1) 展覧会及び展示事業費
 - ①常設展示、展示替えに係る経費
 - ②企画展示に係る経費
 - ③図録等の作成費
 - (2) 業務経費
 - ①広報、マーケティング費用
 - ②寸劇、イベント等自主事業費
 - ③駐車場運営費
 - ④施設貸出業務費
 - (3) ボランティア経費
 - (4) ミュージアムショップ経費
 - (5) レストラン経費
- 2 その他

博物館の管理運営に係る業務で、指定管理者が独自に実施する業務費

リスク分担表

リスクの種類	内 容	負担者	
		県	指定管理者
物価変動	人件費、物品費等物価変動に伴う経費の増		○
金利変動	金利の変動に伴う経費の増		○
周辺施設・住民及び施設利用者への対応	地域との協調		○
	施設管理、運營業務内容に対する住民及び施設利用者からの訴訟、反対や要望への対応		○
	上記以外	○	
法令の変更	施設の管理運営に影響を及ぼす法令変更	○	
	上記以外		○
税制度の変更	施設の管理運営に影響を及ぼす税制変更	○	
	一般的な税制変更		○
事業の変更	県の責めによる理由から、施設管理、運營業務の継続に支障が生じた場合、又は業務内容の変更を余儀なくされた場合の経費及びその後の維持管理経費における当該事情による増加経費負担	○	
	上記以外		○
不可抗力	不可抗力（暴風、豪雨、洪水、地震、落盤、火災、争乱、暴動、その他の県又は指定管理者のいずれの責めにも帰することのできない自然的又は人為的な現象）に伴う、施設、設備、資料の修復による経費の増加及び事業履行不能	○	
施設・設備の損傷	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外で相手方が特定できないもの	○	
資料等の損傷	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外で相手方が特定できないもの	○	
第三者への賠償	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外	○	
セキュリティ	警備不備による情報漏洩、犯罪発生		○
事業終了時の費用	指定管理者の期間が終了した場合又は期間中途における業務を廃止した場合における事業者の撤収費用		○

(別紙5)

個人情報取扱特記事項

(基本的事項)

第1 乙は、個人情報(長崎県個人情報保護条例(以下「条例」という。)第2条第1号に規定する個人情報をいう。以下同じ。)の保護の重要性を認識し、この契約による業務を行うに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の取扱いを適正に行わなければならない。

(秘密の保持)

第2 乙は、この契約による業務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

(収集の制限)

第3 乙は、この契約による業務を行うために個人情報を収集するときは、業務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。

(適正管理)

第4 乙は、この契約による業務に関して知り得た個人情報について、漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

(事業所内からの個人情報の持出しの禁止)

第5 乙は、甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による業務に関して知り得た個人情報を、乙の事業所の外に持ち出してはならない。

(目的外利用及び提供の禁止)

第6 乙は、甲が指示したときを除き、この契約による業務に関して知り得た個人情報を、契約の目的以外の目的に利用し、又は第三者に提供してはならない。

(複写又は複製の禁止)

第7 乙は、甲が承諾したときを除き、この契約による業務を行うため甲から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

(再委託の禁止)

第8 乙は、甲が承諾したときを除き、この契約による個人情報を取り扱う業務については、自ら行うものとし、第三者に委託してはならない。

(資料等の返還)

第9 乙は、この契約による業務を行うため甲から提供を受け、又は乙自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、この契約の終了後直ちに甲に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、甲が別に指示したときはその指示に従うものとする。

(業務に従事している者への周知)

第10 乙は、この契約による業務に従事している者に対して、在職中及び退職後においても、当該業務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は当該業務の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知しなければならない。

(従事者等の特定)

第11 乙は、この契約による業務に従事する者及びその責任者(以下「従事者等」という。)を特定し、その管理及び実施体制について、甲に書面で報告しなければならない。なお、当該報告をした後にその内容が変更になった場合も同様とする。

(従事者等に対する教育)

第12 乙は、従事者等に対し、個人情報の取扱いについての教育及び監督をしなければならない。

(特記事項の遵守状況の報告)

第13 乙は、甲から求めがあったときは、この特記事項の遵守状況について甲に対して報告しなければならない。

(調査)

第14 甲は、乙がこの契約による業務を行うに当たり、取り扱っている個人情報の状況について、随時調査することができる。

(事故報告)

第15 乙は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、その指示に従うものとする。

(個人情報の取扱いに関する罰則)

第16 条例に規定される個人情報の取扱いに関する罰則は、以下のとおりである。

(1) 業務に従事している者又は従事していた者に対する刑罰

①正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された公文書であって、個人の氏名、生年月日その他の記述等により当該個人を容易に検索することができるように体系的に構成されたもの（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含む。）を提供したとき	2年以下の懲役又は100万円以下の罰金 (条例第63条)
②正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された公文書（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含み、前述のものを除く。）を提供したとき	1年以下の懲役又は50万円以下の罰金 (条例第64条)
③その業務に関して知り得た保有個人情報を自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的で提供し、又は盗用したとき	1年以下の懲役又は50万円以下の罰金 (条例第65条)

(2) (1)の行為についての受託者に対する刑罰

この契約による業務に従事している者又は従事していた者が行った(1)の①から③までの行為については、乙(条例第68条第1項の法人又は人をいう。)に対しても、①から③までに掲げる罰金刑が科せられる。

(特定個人情報の取扱いに関する罰則)

第17 特定個人情報(行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(以下「番号法」という。)第2条第8項に規定する特定個人情報をいう。)の取扱いに関する罰則は、以下のとおりである。

(1) 個人番号利用事務(番号法第2条第10項に規定する個人番号利用事務をいう。以下同じ。)又は個人番号関係事務(番号法第2条第11項に規定する個人番号関係事務をいう。以下同じ。)に従事する者又は従事していた者に対する刑罰

①正当な理由がないのに、その業務に関して取り扱った個人の秘密に属する事項が記録された特定個人情報ファイル(その全部又は一部を複製し、又は加工した特定個人情報ファイルを含む。)を提供したとき	4年以下の懲役若しくは200万円以下の罰金又はこれらの併科(番号法第67条)
②業務に関して知り得た個人番号を自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的で提供し、又は盗用したとき	3年以下の懲役若しくは150万円以下の罰金又はこれらの併科(番号法第68条)

(2) (1)の行為についての受託者に対する刑罰

個人番号利用事務又は個人番号関係事務に従事する者又は従事していた者が行った(1)の①又は②の行為については、乙(番号法第77条の法人又は人をいう。)に対しても、①又は②に掲げる罰金刑が科せられる。

(留意事項)

本特記事項の運用に当たっては、以下の事項に留意すること。また、本留意事項は、契約書に綴じ込まないこと。

- 1 「甲」は委託者である長崎県（実施機関）を、「乙」は受託者を指す。
- 2 「特定個人情報の適正な取扱いに関するガイドライン（行政機関等・地方公共団体等編）（平成26年特定個人情報保護委員会告示第6号）」及び「長崎県特定個人情報の取扱いに関する取扱規程（平成28年1月13日総務部長（最高情報セキュリティー責任者）通知）」を踏まえたうえで、委託等の内容に合わせて適宜必要な事項を追加若しくは変更し、又は不要な事項を削除することができる。
- 3 本特記事項は、契約書の一部として契約書に綴じ込み割り印を押印すること。

長崎歴史文化博物館資料の貸し出しに関する規程

(目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料の取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）が収蔵する資料の貸し出しに関し、必要な事項を定めるものとする。

(資料の借用願)

第2条 博物館が収蔵する資料（以下「資料」という）の借用を受けようとする者は、長崎歴史文化博物館資料借用申請書（様式第1号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項による申請書類のほかに、次に挙げる書類を提出しなければならない。

- (1) 施設案内（リーフレット、ガイドブックなど）
- (2) 展示室写真もしくは図面
- (3) ファシリティレポート
- (4) 企画展又は展覧会の概要
- (5) 輸送方法及び輸送計画

(借用の許可)

第3条 館長は、前条の申請があたるときは、当該申請者が次の各号の一に該当し、かつ当該貸出が博物館の業務に支障がないものと認められるときは、長崎県と協議し承認を受けた後に、申請の許可をするものとする。

- (1) 博物館法（昭和29年法律第285号）第2条の規定による登録を受け、又は同法第29条の規定により博物館に該当する施設として都道府県の教育委員会の指定を受けたものであるとき
- (2) 資料の貸し出しを受けようとするものが、国又は地方公共団体の設置する博物館、美術館又はこれらに準ずる施設であるとき
- (3) その他館長が特に適当と認めたとき

(貸出許可証の発行)

第4条 館長は、前条の貸し出しの許可をしたときは、長崎歴史文化博物館資料貸出許可証（様式第2号）を発行する。

(貸出の期間)

第5条 資料の貸し出し期間は、輸送日を含めて3ヶ月以内とする。ただし、館長が特別に認めたときは、この限りではない。

(貸出の条件)

第6条 資料の貸し出しの許可を受けたものは、次の各号に掲げる貸し出しの条件を遵守しなければならない。

- (1) 貸し出しを受けた資料は、取り扱いに細心の注意を払うとともに、博物館が指示する条件のもので展示し、または保管すること。
- (2) 資料の借用に関しては、博物館が指定する金額によるドア・ツー・ドアの保険をかけるものとする。
- (3) 貸し出しを受けた資料をき損し、若しくは汚損し、又は滅失したときは、当該資料を現状に回復し、又はそれによって生じた損害を賠償すること
- (4) 当該資料の輸送及び維持管理に要する経費の一切を負担すること
- (5) 当該資料の写真撮影、模写、模造及び印刷物掲載等については、あらかじめ、館長の承認を受けること
- (6) 当該資料を貸し出しの許可に係る使用目的以外に使用し、又は展示場所及び保管場所を変更しないこと
- (7) 貸し出し期間満了の日までに指定された場所に返還すること
- (8) 資料の返還後、展示の様子が分かる写真及び、展覧会図録を2部以上提出すること
- (9) 前各号に掲げられるもののほか、館長が指示する事項

(資料の引渡し及び返還)

第7条 資料の引渡し及び返納については原則として博物館で行うものとする。

2 資料の借用の許可を受けたものは、当該資料の引渡しを受ける際、長崎歴史文化博物館資料借用書（様式第3号）を館長に提出しなければならない。

- 3 資料の引渡しをする際には、両者立会いのものと、資料の破損等を確認し、検査調査書を作成するものとする。
- 4 館長は、資料の返還を受けたときは、貸出を受けたものに資料借用書を返却するものとする。
- 5 第2項の引渡し及び返還は、当事者双方において貸与した資料の破損等を、引渡し前に記入した検査調査書と確認したうえで行うものとする。

(貸出料)

第8条 資料の貸出しは、無料とする。

(返還請求)

第9条 館長は、資料の貸出しを受けたものが次の各号の一つに該当したときは、貸出期間にかかわらず貸出した資料の返還を請求することができる。

- (1) 第6条の規定に違反したとき
- (2) 館長が指示した事項に従わないとき

(委任)

第10条 この規定に定めるもののほか必要な事項については、館長が別に定める。

付 則

この規程は、平成17年11月3日から施行する。

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

長崎歴史文化博物館資料特別閲覧に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料の取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）が収蔵する資料の閲覧および特別閲覧について必要な事項を定めるものとする。

(資料の閲覧)

第2条 博物館が収蔵する資料（以下「資料」という）の閲覧および特別閲覧を受けようとする者（以下「閲覧者」という）は、原則として閲覧希望日の10日前までに長崎歴史文化博物館資料特別閲覧申請書（様式第1号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、その許可を受けなければならない。

- 2 館長は、前項による申請内容について必要があると認めるときは、その他の関係書類の提出を求め、又は事情聴取を行うものとする。
- 3 特別閲覧が必要な資料については別途定めるものとする。

(特別閲覧の許可)

第13条 館長は、前条の申請があった場合において、次の各号に掲げる項目に該当した場合を除いて、特別閲覧を許可する。

- (1) 資料の保存に悪影響が生じることが認められるとき
- (2) 博物館の事業及び運営に支障をきたすとき
- (3) 公序良俗に反すると認められるとき
- (4) 過去において、第8条の規定による損害を与えたもの、又は第9条の規定による特別閲覧の取り消しを受けたものであるとき。
- (5) その他館長が特に不適切であると認めるとき

(特別閲覧許可の発行)

第14条 館長は、第3条の特別閲覧の承認をしたときは、長崎歴史文化博物館資料特別閲覧許可証（様式第2号）（以下「許可証」という）を発行するものとする。

- 2 特別閲覧を許可しない場合も、その理由を付した文書をもって通知するものとする。

(特別閲覧の時間等)

第15条 特別閲覧のできる時間は原則として午前9時30分から午後6時までとする。

(特別閲覧の条件)

第16条 閲覧者は、次の各号に掲げる条件を遵守しなければならない。

- (1) 職員の立会いのもとで閲覧すること
- (2) 閲覧中は職員の指示に従うこと
- (3) 承認を受けていないものを同伴しないこと

(特別閲覧の開始及び終了)

第17条 閲覧者は、特別閲覧当日に発行された許可証を持参しなければならない

(損害賠償)

第18条 閲覧者は、この規程に違反し、又は故意若しくは過失により閲覧を許可された資料をき損し、若しくは汚損し、又は滅失したときは、当該資料等を原状に回復し、又はそれによって生じた損害を賠償しなければならない。

(特別閲覧の取消)

第19条 館長は、閲覧者がこの規程に違反し、又は不都合な行為があると認めるときは、直ちに閲覧の許可を取り消し、必要な措置を講じることができる。

(委 任)

この規程に定めるもののほか必要な事項については、館長が別に定める。

付 則

この規程は、平成17年11月3日から施行する。

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

長崎歴史文化博物館資料撮影および画像利用に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）における資料撮影および画像利用に関して、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 ここで定める写真利用等とは、資料写真の利用、撮影、模写・模造（以下「写真利用等」という）をいうものとし、画像とは、博物館に収蔵する資料のポジフィルム、ネガフィルム、デジタルデータなどのフィルム原版（以下「画像」という）をいうものとする。

(資料の撮影および画像利用願)

第3条 博物館が収蔵する資料の写真利用等を希望する者は、資料の写真撮影を希望する場合は長崎歴史文化博物館資料撮影申請書（様式第1号）を、画像の利用を希望する場合は長崎歴史文化博物館画像利用申請書（様式第2号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、許可を受けなければならない。

(資料撮影および画像利用の許可)

第4条 館長は、前条の申請があった場合において、次の各号に掲げる項目に該当した場合を除いて、資料撮影および画像利用を許可する。

- (1) 資料の保存に悪影響が生じることが認められるとき
- (2) 博物館の事業及び運営に支障をきたすとき
- (3) 公序良俗に反する用途に供すると認められるとき
- (4) 寄託資料について、所有者の承諾が得られないとき
- (5) その他館長が特に不適切であると認めたとき

(許可証の発行)

第5条 館長は、前条の利用の許可をしたときは、長崎歴史文化博物館資料撮影許可証（様式第3号）、または長崎歴史文化博物館画像利用許可証（様式第4号）を発行する。

(資料撮影および画像利用の条件)

第6条 資料撮影および画像利用の許可を受けた者は、次の各号に掲げる条件を遵守しなければならない。

- (1) 申請時以外の用途には使用しないこと。
- (2) 雑誌、印刷物等に掲載する場合は、「長崎歴史文化博物館蔵」を明記すること。
- (3) 掲載等の場合は、その印刷物及び、掲載誌等を2部以上、博物館に無償で納付すること。
- (4) 当該画像を複製し、第三者に譲渡しないこと。
- (5) 利用目的等が申請時の内容と変更になるときは、速やかに博物館に申し出ること。
- (6) 撮影した画像を再度利用しようとする場合は、必ず博物館に申請すること。
- (7) 当該画像は申請者側で責任を持って保管し、損失等のないように管理すること。
- (8) 当該画像の使用期間を守り、使用後は速やかに博物館まで返却すること。
- (9) 原則として撮影後のデータ及びフィルムはすべて博物館へ納付すること。
- (10) デジタルデータを使用した場合は、使用後必ずデータの削除を行うこと。
- (11) CDやDVD、インターネットなどのデジタルデータでの掲載にあたっては、2次使用が不可能な措置を設定すること。
- (12) その他、館長が指示する事項

(画像の引渡し及び返却)

第7条 利用する画像の引渡し及び返却方法については、申請者の負担により次の各号に掲げる方法をとることとする。

- (1) 直接博物館で引渡し及び返却を行う。
- (2) 簡易書留または宅配便により引渡し及び返却を行う。
- (3) 電子メールによって引渡しを行う。ただし、電子メールの場合は、申請者側で使用後のデータ削除を必ず行うこと。

(4) その他、適切と思われる方法による。

- 2 申請者は、利用した画像の返却を行った際に、前条に挙げた印刷物及び掲載誌を館長まで納付しなければならない。ただし、返却期日までに印刷物等が完成していない場合は、完成次第博物館に納付すること。

(写真の使用料および撮影料)

第8条 写真の使用料については別途定めるものとする。

- 2 使用料の支払については、写真使用期間中に支払うこと。
- 3 支払い方法については、郵便為替もしくは現金書留による支払いとする。

(損害賠償)

第9条 資料の撮影および画像利用に関して、当該規定を遵守せずに博物館に損害が認められた場合は、申請者はその賠償責任を負うこととする。

(委 任)

この規程に定めるもののほか、必要な事項については、館長が別に定める。

附 則

この規定は、平成17年11月3日から施行する。

この規定は、平成19年4月1日から施行する。

14 利用案内

【長崎歴史文化博物館】

1) 開館時間

展示室・ショップ	4月～11月	8:30～19:00
(展示室の最終入館30分前)	12月～3月	8:30～18:00
資料閲覧室	9:30～18:00 (年末年始は閉室、令和元年度は12/28～1/5)	
レストラン「銀嶺」	10:30～21:00 (オーダーストップ1時間前)	
伝統工芸体験工房・貸工房	9:00～18:00	
施設貸出	9:00～21:00	
駐車場	8:30～22:00	
※12/30～1/3は駐車場を除き	10:00～18:00	

2) 定休日

毎月第3月曜日休館(祝日の場合は翌日) ※その他メンテナンスのため休館する場合あり。

3) 観覧料

●常設展示

大人 630円〔500円〕 小中学生 310円〔250円〕

※〔 〕内は15名以上団体料金。長崎県内在住の小・中学生は無料。学校行事の一環として、県内の小・中・高・盲学校・聾学校・養護学校が利用する場合は引率の先生を含め無料。障害者手帳(身体障害者手帳・療養手帳・精神障害者保健福祉手帳)保持者及び介護者1名は無料。認定を受けた観光客ボランティアの観光客を伴う入館は無料。

●企画展示 別料金

4) 交通案内

アクセス・駐車場台数

- 路面電車「桜町」電停下車、徒歩5分。
 - 路面電車「市民会館」電停下車、徒歩7分。
 - 路面バス「桜町公園前」バス停下車、徒歩3分。
 - 県営バス(風頭町～夢彩都線)「歴史文化博物館」バス停下車。
 - 長崎自動車道(長崎芒塚IC)より、諏訪神社方面へ10分。
- 駐車場 一般車62台、大型バス5台

5) お問い合わせ

〒850-0007 長崎県長崎市立山1丁目1番1号
TEL. 095-818-8366 FAX. 095-818-8407
<http://www.nmhc.jp>

【長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム】

1) 開館時間

ミュージアム	9:00~17:00
多目的ホール	9:00~17:00 (日中) 18:00~21:00 (夜間)

2) 休館日

毎月第3月曜日(祝日の場合は翌日) ※その他、メンテナンスのため休館する場合あり。

3) 観覧料

●常設展示

高・大・一般 300円〔240円〕 小・中学生 150円〔90円〕

※〔 〕内は15名以上団体料金。長崎県内在住の小・中学生は無料。学校行事の一環として、県内の小・中・高・盲学校・聾学校・養護学校が利用する場合は引率の先生を含め無料。障害者手帳(身体障害者手帳・療養手帳・精神障害者保健福祉手帳)保持者及び介護者1名は無料。認定を受けた観光客ボランティアの観光客を伴う入館は無料。

4) 交通案内

アクセス

- 路面電車「大浦天主堂」電停下車、徒歩3分。
- 路線バス「グラバー園入口」バス停下車、徒歩1分。
- 長崎自動車道(長崎IC・ながさき出島道路)より、グラバー園方面へ3分。
- 駐車場なし

5) お問い合わせ

〒850-0921 長崎県長崎市松ヶ枝町4番27号

TEL / FAX. 095-827-8746

<http://www.nmhc.jp>

令和2年度（2020年度）
長崎歴史文化博物館年報

令和3年（2021年）7月発行

編集・発行 長崎歴史文化博物館
〒850-0007 長崎県長崎市立山1-1-1
TEL 095-818-8366 FAX 095-818-8407
印刷 株式会社インテックス